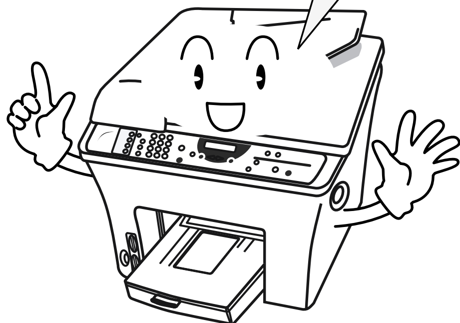
有効にご活用いただくために必ずお読みください。

brother At your side.

ファクシミリ
取扱説明書
MFC-9200J

基本の準備と設定だけですぐ使えます。

まず
使ってみましょう。



やりたいこと
目　次

やりたいこと別の一覧があります。

※ ⓫ ページをご覧ください。

MFC-9200J専用　0120-143410

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、上記フリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前10:00～11:45　午後1:00～5:00　　営業日　月曜日～金曜日

（土日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

添付ソフトウェア（Presto!™PageManager/MaxReader）お客様窓口

ニューソフトジャパン株式会社　ニューソフトカスタマーサポートセンター

TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009

受付時間　午前10:00～12:00　午後1:00～5:00　　（土日・祝日を除く）

※本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。


注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない禁止事項		分解してはいけません		水に濡らしてはいけません		火気に近づけてはいけません
	特定しない義務行為		電源プラグを抜いてください		アースをつないでください		
	特定しない危険通告		感電の危険があります		火災の危険があります		

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、フリーダイヤル0120-143410へお申し付けください。

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

このファクシミリの設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもとになりますので絶対にお止めください。

取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

本機をいつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、次の点にご注意ください。
「警告・注意事項」をよくお読みいただき、お守りください。

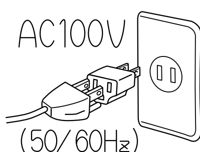
◆電源について

火災や感電、やけどの原因になります。



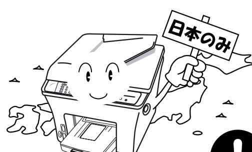
警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。





国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。



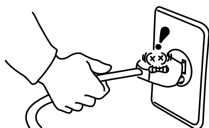


ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。



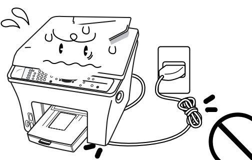


電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。



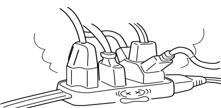


電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。





タコ足配線はしないでください。





感電や火災防止のため、電源コード及び３極-2極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。



感電防止のため必ず保護接地を行ってください。付属の電源コードは、保護接地端子のある３極の電源コンセントに接続するか、付属の３極-2極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）を使用して、電源コンセントの保護接地端子に変換アダプタのアース線を確実に接続してください。



保護接地線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。

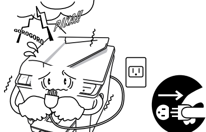




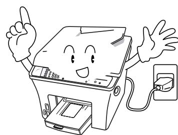
注意

お願い

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードを本機から抜いてください。

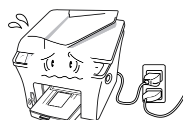


電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。





電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。



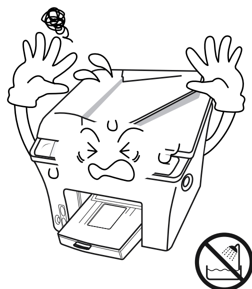
◆このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。



警告

湿度の高い場所
ふろ場や加湿器のそばなど。



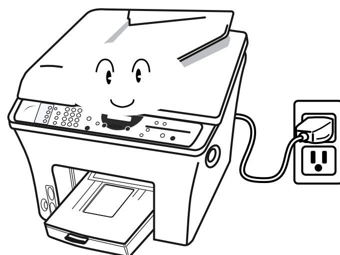
アース線を取り付けてください
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、できるだけアース線を取り付けてください。取り付け方については、9 ページの「本体を接続する」を参照してください。

■取り付けられるところ

●電源コンセントのアース端子
●銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
●設置工事（第３種）がおこなわれている設置端子

■絶対に取り付けてはいけないところ

●電話専用アース線
●避雷針

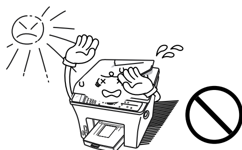






注意

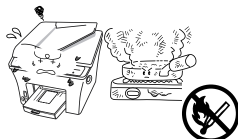
温度の高い場所
直射日光の当たるところ、暖房設備のそばなど



不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど



油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

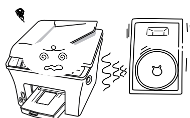


お 願 い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など



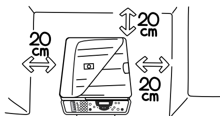
磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど



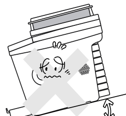
高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度： 10～35℃
湿度：20～80%
（結露なし）

壁のそば
このファクシミリを正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。



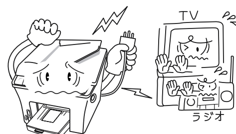
傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。



◎**急激に温度が変化する場所**
◎**風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）**
◎**ホコリ、鉄粉や振動の多い場所**
◎**換気の悪い場所**
◎**揮発性可燃物やカーテンに近い場所**

電波障害時の対処
近くに置いたラジオへ雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから 1 度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

・本体をテレビから遠ざける。
・本体またはテレビなどの向きを変える。
・本体をコードレス電話の親機から遠ざける。



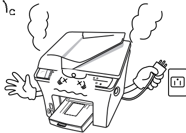
◆もしもこんなときには

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

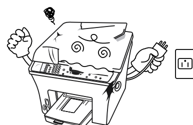
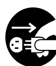


警告

煙が出たり、へんなにおいがしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にお止めください。




本機を落としたり、キャビネットを破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。




内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



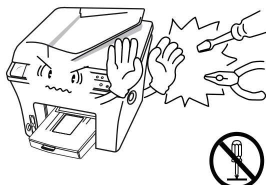

◆その他のご注意

故障や火災、感電の原因となります

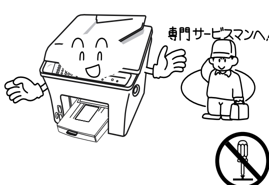


警告

分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。




改造しないでください。
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。





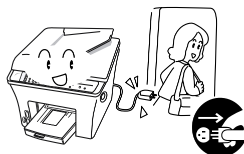
本機の上に水、薬品などを置かないでください。





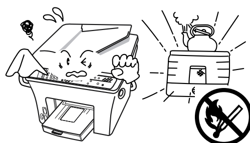

注意

長期不在するときは電源コードをコンセントから抜いてください。



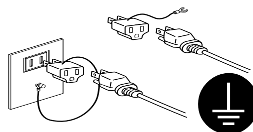
火気を近づけないでください。

故障や火災・感電の原因となります。



アース線について

万一漏電した場合の感電防止や外部から雷などの電圧がかかったときに本機を守るため、アース線を取り付けてください。



お願い

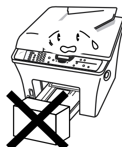
落下、衝撃を与えないでください。



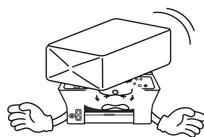
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



原稿および用紙排出の妨げになりますので本体前方には物を置かないでください。



このファクシミリの上に重い物を置かないでください。

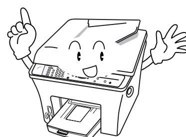


室内温度を急激に変えないでください。

装置内部が結露するおそれがあります。



指定以外の部品は使用しないでください。

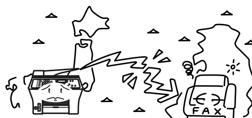


本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

海外通信をご利用になるとき

回線の状況により正常な通信ができない場合があります。



NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店、営業所へご相談ください。（116 番）



◆停電がおきたときは

お　願　い

停電時にはデータの種類によってただちに消去されるデータがあります。

消去されないデータ
- ・ワンタッチダイヤル
- ・短縮ダイヤル
- ・グループダイヤル
- ・各種登録・設定の内容

消去されるデータ
- ・送信メモリー文書
- ・通信管理レポート
- ・受信メモリー文書

無停電復旧時について

1 時間以上停電が続いた場合は、日付の再設定をしてください。

停電中はファクスの送受信ができません。

外付電話機は機器によって使用できます(外付電話機の取扱説明書をご覧ください)。本機の機能はすべて使用できなくなります。

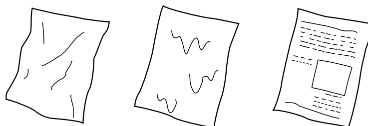


◆記録紙について

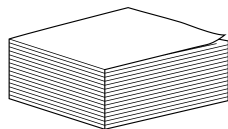
お　願　い

使用する記録紙にはご注意ください

しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。



保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。



MEMO

本書の使い方

本書の上手な使い方

このページは本書を有効にご活用いただくためのご案内のページです。実際の操作とは関係ありませんのでご注意ください。

検索が簡単です。

音量を調節する

このページで案内する内容です。

具体的な操作内容です。

キータッチ音量を変える〔キータッチ&ブザー音量〕

1. 機能 ア 1 ア 1 タGHI 4 を押します。

4.キータッチオンリョウ

●お買い上げ時は「ショウ」になっています

2. ◁ ▷ で音量を選択します。

キータッチオンリョウ:ダイ

●キータッチ音量は、3種類（OFF、ショウ、ダイ）の内から選びます。

実際に操作する内容です。

左側の操作をすると表示されるディスプレイです。

操作に関連する補足説明です。

4. を押して操作は終了です。



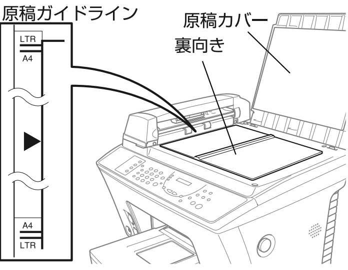
●ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とキータッチ音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクシミリに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時にピーというブザー音が鳴ります。そのときの音量を調整します。

文中に番号がある項目は番号順に操作してください。

ファクスを送信する（原稿台ガラス使用時）

関連する項目への参照ページの案内です。

1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことを確認して原稿カバーをもちあげます。
2. 原稿台ガラスの左端にあるマークに原稿の中心をあわせ、〔裏向き〕にセットしてカバーを閉じます。送信先をダイヤルし、「セット」ボタンを押します。



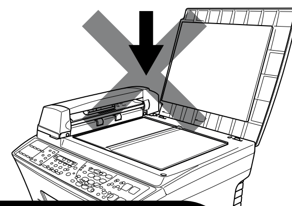
●ファクス受信の詳細は下記を参照してください。

受信モードを選択する。……… P. 73

親切受信する。……………… P. 75

ポーリング受信する。……… P. 83

●厚手の物をおくときは、原稿台を上から強く押さえないでください。



ご利用になる上で必ず実行して頂きたい項目です。【重要】

注意すべき点、制限事項等の情報です。



●送信できる用紙についての詳細は P. 41 をご参照ください。

守ってください

原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。

おぼえておきましょう ●音量の設定は大き… ●一般的に青い色の原…

直接操作には関係が少ないが覚えておきたい情報です。



こんな時には…………

★送信できないときは

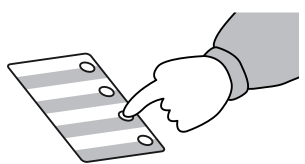
実際の操作上で起こりうる問題点を解決するヒントです。

やりたいこと目次 -1

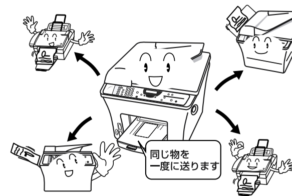
あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

ファクス

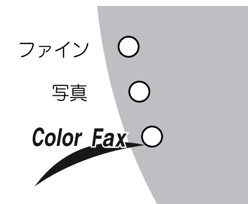
●簡単に送信したい。
（短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳） P. 47



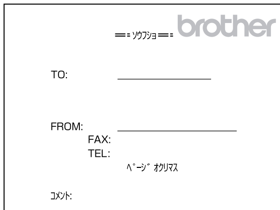
●複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。
（順次同報送信） P. 65



●画質を調整したりカラーで送信したい。 P. 57



●送付書を付けて送信したい。 P. 63



●きちんと送信できたか確認したい。
（通信管理レポート） P. 99

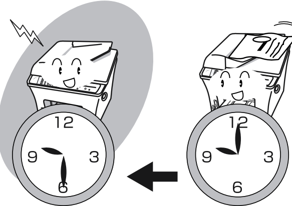
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 00-05-15-15:25

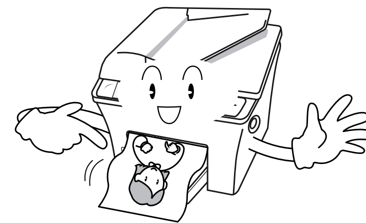
No.	ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾍﾟｰｼﾞ	ｹｯｶ	ｺﾒﾝﾄ
#01	05-15	12:04	ﾀﾅｶ ﾖｳｺ	24	01	OK	TX ECM
#02	05-15	12:07	ｲﾉｳｴ ﾀﾂﾔ	24	01	OK	TX ECM
#03	05-15	12:26	ｻｶｲ ﾋﾃﾞｵ	24	01	OK	TX ECM
#04	05-15	12:27	ｲﾄｳ ｻﾄｺ	24	01	OK	TX ECM
#05	05-15	12:31	ｽｽﾞｷ ｴｲｲﾁ	24	01	OK	TX POL ECM
#06	05-15	13:45	ﾀﾅｶ ﾏｺﾄ	27	01	OK	TX ECM
#07	05-15	13:47	ｶﾄｳ ﾏﾘｺ	25	01	OK	TX ECM
#08	05-15	13:55	ﾀﾅｶ ｲﾁﾛｳ	25	01	OK	TX ECM
#09	05-15	14:52	ｻﾄｳ ｺｳｼﾞ	25	01	OK	TX ECM

SO : ｿｳﾌｼｮ
ME : ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ
POL : ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
RET : ﾘﾄﾘｰﾊﾞﾙ
TX : ｿｳｼﾝ
RX : ｼﾞｭｼﾝ

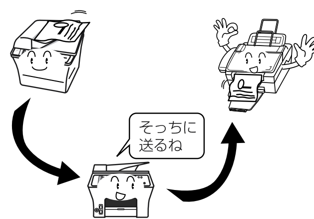
●指定した時刻に送信したい。
（タイマー送信） P. 69



●自動で受信したい。 P. 71



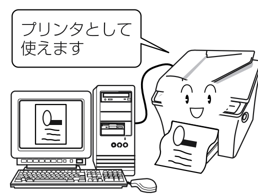
●外出先で受信したい。
（ファクス転送） P. 85



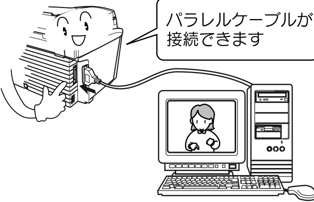
プリンタ

（プリンタ、スキャナとしてご利用になるにはドライバのインストールが必要です。） P. 151

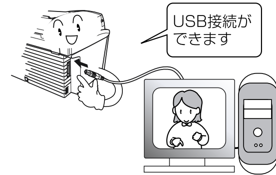
●プリンタとして使いたい。 P. 177



●パラレルケーブルを接続したい。 P. 149



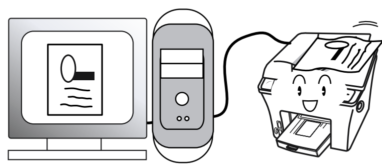
● USB ケーブルを接続したい。
Windows の方 P. 149
Macintosh の方 P. 149



スキャナ

（スキャナとしてご利用になるにはドライバのインストールが必要です。） P. 151

●文字や写真をそのまま PC データにしたい。（PC スキャン） P. 199



おぼえておきましょう ●プリンタ、スキャナとしてご利用になるにはお使いのコンピュータにドライバのインストールが必要です。

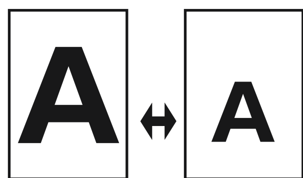
こんなときは……

★各機能をご利用になる前に「ご使用前の準備」を必ずお読みください。

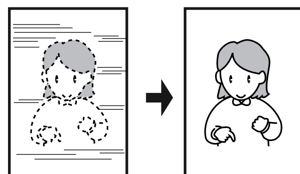
やりたいこと目次 -2

コピー

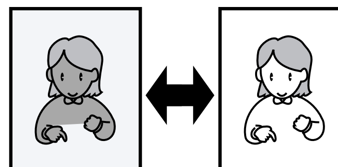
●縮小 / 拡大コピーしたい。
P. 107



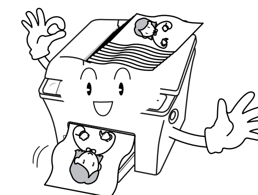
●画質をきれいにコピーしたい。
P. 111



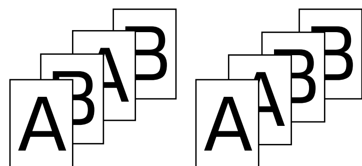
●画質を明るく（暗く）したい。
P. 111



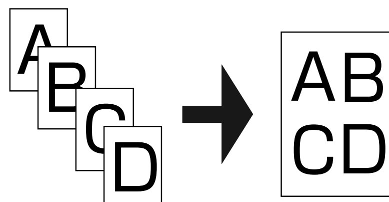
●たくさんの文書を連続コピーしたい。
（ADF 自動原稿送り装置）P. 105



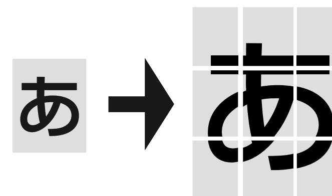
●効率よく複数部コピーしたい。
ソートコピー P. 113
スタックコピー P. 113



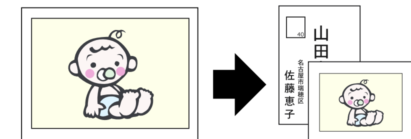
●複数の文書を 1 枚にコピーしたい。
（2in1,4in1）P. 113



●ポスターサイズにコピーしたい。
P. 114

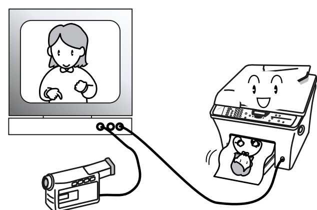


●ハガキにコピーしたい。P. 115



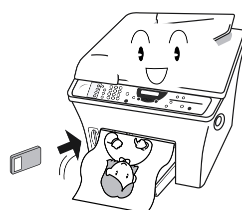
ビデオプリント

●ビデオの画像をプリントしたい。
P. 119



フォトキャプチャープリント

●デジタルカメラのメディアカード
からプリントしたい。P. 129



おぼえておきましょう ●コピーが禁止されているものがあります。ご注意ください。P. 103



こんなときは…
★各機能をご利用になる前に「ご使用前の準備」を必ずお読みください。

目　次

序章

安全にお使いいただくために………❶
本書の使い方………❾
やりたいこと目次（あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。）………⓫
目次………⓯

1章　操作パネル

各部の名称とはたらき………1

2章　ご使用前の準備

1. 商品を確認する………3
2. スキャナーロックを解除する………5
3. 用紙をセットする………5
4. 記録紙の種類と規格………7
5. 本体を接続する………9
6. 回線種別の自動設定………11
7. 手動で回線設定をする………11
8. インクカートリッジを取り付ける………13
9. 文字入力をする………15
10. 日付・時刻を合わせる（時計セット）………17
11. 名前と電話番号を登録する。（発信元登録）………17
12. 受信モードを選ぶ………19
13. 外付電話機を接続する………19
本機の接続イメージ………21

3章　使ってみましょう

ファクスを送信する（ADF 使用時）………25
ファクスを送信する（原稿台ガラス使用時）………25
ファクスを受信する（自動受信時）………25
ADF（自動原稿送り装置）からコピーをとる………27
原稿台ガラスからコピーをとる………27
ビデオからプリントする………27
メモリーカードからプリントする………29
プリンタとして使う………29
スキャナとして使う………29

4章　ご使用前の基本設定

ディスプレイの特徴
ディスプレイついて 31
登録・設定の基本操作 31
MFC-9200J の登録・設定
1. ファクス機能 33
2. プリンタ機能 35
3. コピー機能 35
4. ビデオプリント機能 36
5. フォトメディアキャプチャー機能 36
音量を調節する
キータッチ音量を変える〔キータッチ＆ブザー音量〕 37
スピーカー音量を調節する 37
呼び出しベル音量を調節する 39
デイスプレイの表示言語を切り替える
英語・日本語を切り替える 39

5章　ファクス送信

ファクスを送信する
原稿について 41
ADF（自動原稿送り装置）から送信する 43
原稿台ガラスから送信する 43
ファクスを送信する 45
便利にダイヤルする
ダイヤルのしかた 47
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 47
電話帳の使い方 49
ワンタッチダイヤルを登録する 51
短縮ダイヤルを登録する 53
グループダイヤルを登録する 55
ファクスを便利に送信する
本機からの送信の特長 57
画質を選択する 57
ページごとに画質を設定する 59
カラーファクスをする 59
原稿濃度の設定をする 61

目　次

送付書を付けて送信する 63
同じ原稿を数箇所に送信する〔順次同報送信〕........ 65
原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕........ 67
海外へ送信する〔海外送信モード〕........ 67
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕........ 69
メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕........ 69
通信待ち確認・通信待ちファクス解除 69

6章　ファクス受信

ファクスを受信する

受信モードについて 71
受信モードを選ぶ 73
着信ベル回数の設定をする 73
親切受信で受信する 75
外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕........ 77
自動的に縮小受信する 79

7章　ファクスの応用機能

ポーリング

ポーリング送信の設定 81
機密ポーリング送信の設定 81
ポーリング受信の設定 83
機密ポーリング受信の設定 83
時刻指定ポーリングの設定　〔タイマーポーリング〕........ 83

電話呼び出し機能とファクス転送

電話呼び出し機能とファクス転送について 85
電話呼び出し機能とファクス転送を設定する 87

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定する 89
メモリーに入ったファクス出力のしかた 89

外出先から 本機を操作する〔リモコンアクセス〕

リモコンアクセスについて 91
リモコンアクセス操作例 93
リモコンアクセスコードの設定 95
リモコンアクセスコマンド 95

8章　レポート・リストについて

レポートの作成

レポートとリストの種類……97
送信レポートをプリントする……97
通信管理レポートをプリントする……99
各種リスト、消耗品オーダーシートのプリントのしかた……101

9章　コピー

コピーをする

本機のコピー機能について……103
ADF を使ってコピーをする……105
原稿台ガラスからコピーする……107
拡大・縮小コピーをする……107

コピー設定

オプションボタンを使って、設定を一時変更する……109
コピーの初期設定を変更する……117

10章　ビデオプリント

ビデオプリントする

ビデオ映像のプリント……119
カラー・モノクロのビデオプリント……119

ビデオ設定

オプションボタンを使って、設定を一時変更する……121
ビデオプリントの初期設定を変更する……127

11章　フォトメディアキャプチャー

フォトメディアキャプチャーを使う

フォトメディアキャプチャーについて……129
DPOF プリント……131
インデックスプリント……133
写真をプリントする……133

目　次

フォトメディアキャプチャー設定
オプションボタンを使って、設定を一時変更する.. 135
フォトメディアキャプチャーの初期設定を変更する.................................... 141
フォトメディアキャプチャーのエラーメッセージと制限事項.................... 143

12章　本機をコンピュータと接続する

コンピュータと接続する
接続の前に.. 145
コンピュータ環境.. 147
本機とコンピュータを接続する.. 149
パラレルケーブルで本機とコンピュータを接続する.............................. 149
USB ケーブルで本機とコンピュータを接続する.................................... 149
インストールするソフトウェアの選択.. 151
ドライバをインストールする〔Windows®〕
Windows® にインストールする.. 153
パラレル接続でのインストール
Windows®95/98/98SE/Me にインストールする......................... 153
Windows®2000Professional にインストールする........................ 156
WindowsNT®Workstation4.0 にインストールする....................... 159
USB 接続でのインストール
Windows®/98/98SE/Me にインストールする............................... 163
Windows®2000Professional にインストールする........................ 167
ソフトウェアをインストールする〔Windows®〕
MFL-ProJ をインストールする.. 170
MFC リモートセットアップ... 171
Presto!™PageManager と
Presto!™MaxReader をインストールする.. 172
Automatic E-mail Printing をインストールする..................................... 173
TrueType フォントをインストールする... 174
ドライバをインストールする〔Macintosh®〕
Macintosh® にインストールする.. 175
ソフトウェアをインストールする〔Macintosh®〕
TrueType フォントをインストールする... 176

13章　プリンタとして使う

プリンタとしての特長

プリンタについて 177

プリンタとして使う

アプリケーションからの印刷 179

手差しスロットを利用してプリントする 181

特殊な用紙にプリントする

厚用紙にプリントする 183

プリンタヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニング 183

プリンタの設定を変更する

プリンタの設定変更 185

プリンタドライバの設定 187

プリンタドライバでの設定変更 189

14章　スキャナとして使う

スキャナとして使う

Presto !™ PageManager について〔Windows® 環境のみ〕.......... 199

Presto !™ PageManager の特長 201

画像をテキストに変換する〔OCR 機能〕.......... 201

原稿のスキャニング 203

原稿をコンピュータにスキャンする 203

TWAIN のダイアログボックスでの設定 205

イメージをプレスキャンする 207

ビデオから画像を取り込む 209

Macintosh で TWAIN ドライバを使う 211

スキャナウインドの設定 213

15章　メディアドライブを使う

メディアカードを外付けメディアドライブとして使う 215

目　次

16 章　日常のお手入れ

インクカートリッジの交換
- インクカートリッジ交換の警告 217
- インクカートリッジ交換のしかた 219

紙づまりについて
- 原稿がつまったときは 221
- 記録紙がつまったときは 221

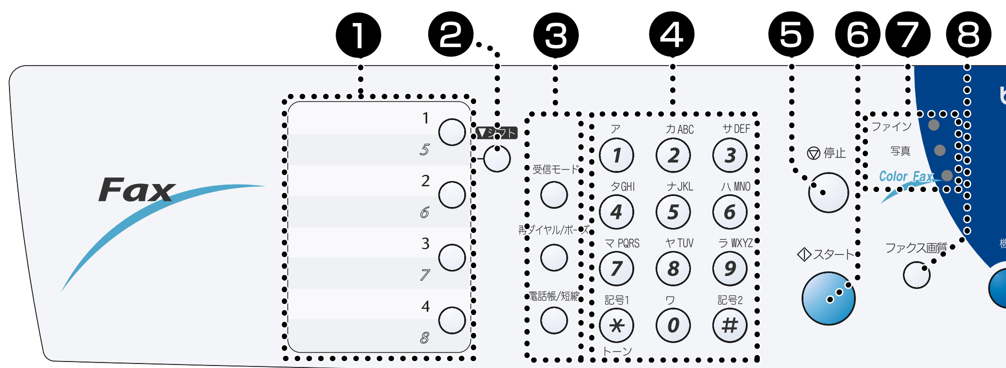
本体の掃除
- 原稿台ガラスのお手入れ 223
- キャビネット内部のお手入れ 223

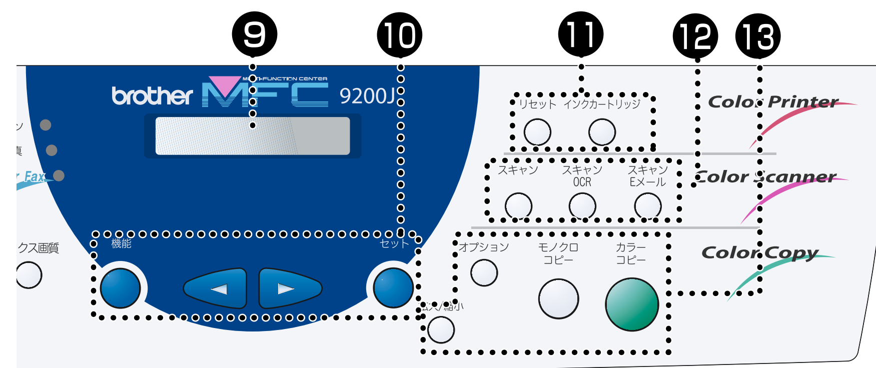
17 章　困ったときには

こんな時には……
- エラーメッセージ 226
- Q&A 228
- 故障かな？と思ったら 231
- 規格 234
- 主な仕様 235
- 索引 237
- 用語集 241
- リモコンアクセスコード
- ご注文シート

memo

各部の名称とはたらき





1. ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。P. 47

2. シフトボタン

ワンタッチダイヤルの5～8を登録またはダイヤルするときに、このボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

3. ファクス機能

◎受信モード

受信モードを変更するとき押します。

◎再ダイヤル / ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再びダイヤルするときに押します。P. 47

◎電話帳ボタン / 短縮ボタン

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている電話番号を検索するときに押します。P. 48

あらかじめ登録した短縮ダイヤルをダイヤルするときに押します。P. 48

4. ダイヤルボタン

ダイヤルするとき、発信元データなどの文字入力をするときに押します。

5. 停止ボタン

ファクス送信または操作を中止するとき、機能モードを解除するときに押します。

6. スタートボタン

ファクス送信または受信するときなどに押します。

7. 解像度表示ランプ

解像度を表示します。「ファイン」、「写真」、「Color Fax」の3種類があり、点灯によって状態を表示します。

8. ファクス画質ボタン

ファクス送信する原稿に合わせて、解像度を設定するときに押します。P. 57

押すごとに解像度表示ランプが「ファイン」、「写真」、「Color Fax」と点灯します。

9. ディスプレイ

月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。

10. 設定機能

◎機能ボタン

機能モードに入るときに押します。

◎←（左矢印）ボタン
◎→（右矢印）ボタン

各種登録・設定で選択するとき、ディスプレイのカーソルを左右に動かすときに押します。

◎セットボタン

各種機能の設定、各種データの登録のときに押します。

11. カラープリンタ機能

◎リセットボタン

プリンタのメモリーの中のデータをすべて削除したいときに押します。

◎インクカートリッジボタン

ヘッド・クリーニングおよびインクカートリッジ交換のとき押します。P. 183

12. カラースキャナ機能

◎スキャンボタン

コンピュータから原稿をスキャンするときに押します。P. 199

◎スキャン OCR ボタン

コンピュータから原稿をOCRスキャンするときに押します。P. 199

◎スキャン E メールボタン

スキャンしたイメージを E メールに添付するときに押します。P. 199

13. コピー機能

◎カラーコピーボタン

原稿をカラーコピーするときに押します。

◎モノクロコピーボタン

原稿をモノクロコピーするときや単色カラーコピーするときにに押します。

◎オプションボタン

コピー、ビデオプリンタ、フォトメディアキャプチャーの設定を変更するときに押します。

コピー P. 109

ビデオプリント P. 121

フォトメディアキャプチャー P. 135

◎拡大 / 縮小ボタン P. 107

拡大 / 縮小コピーをするときに押します。

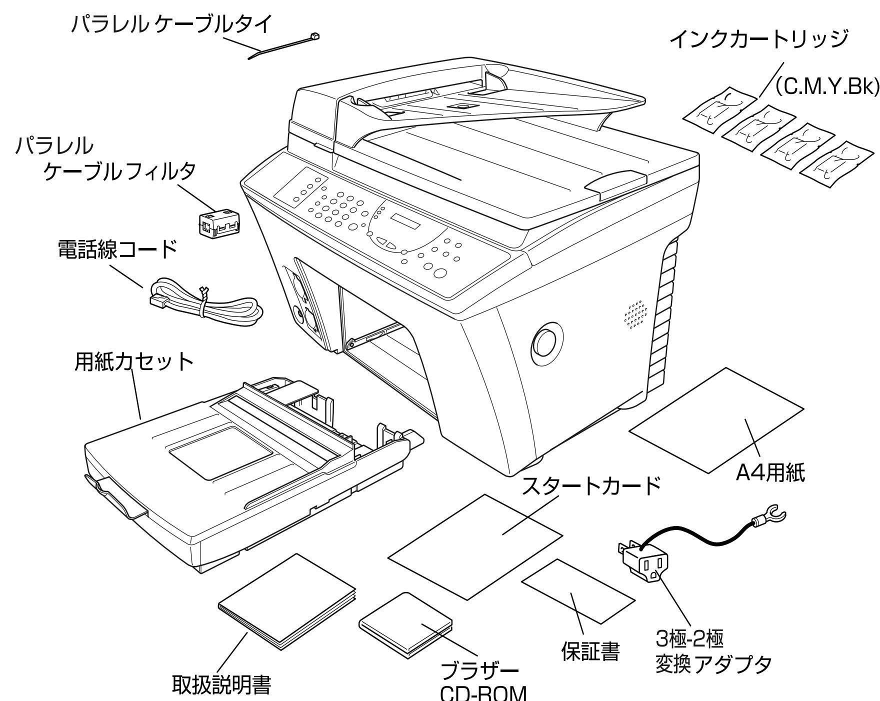


こんな時には………

★ディスプレイの表示言語を切り替えたいときは P. 39

1. 商品を確認する

次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りない物があったり、取扱説明書に落丁があったときは、
フリーダイヤル 0120-143410 にご連絡ください。



●付属品リスト

本体	1 台
用紙カセット	1 個
電話線コード	1 本
インクカートリッジ	1 セット
パラレルケーブルフィルタ	1 個
パラレルケーブルタイ	1 本
3 極 -2 極 変換アダプタ	1 個
スタートカード	1 部
取扱説明書	1 部
保証書	1 部
A 4 用紙	1 セット
ブラザー CD-ROM	1 枚



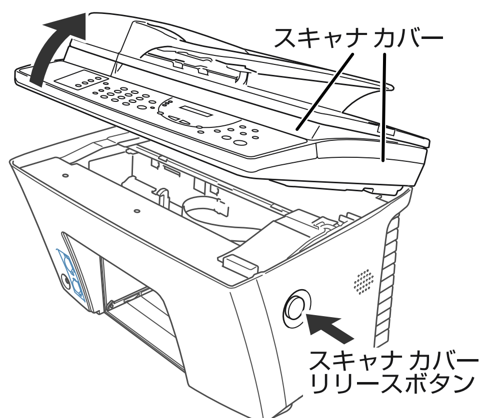
お願い

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、フリーダイヤル 0120-143410 までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

おぼえておきましょう ●スタートカードには簡単に設定できるように設定の順序、方法が記載されています。

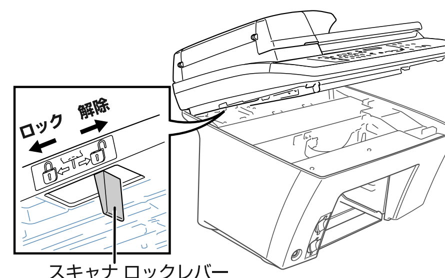
ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

2. スキャナロックを解除する



必ず電源を接続する前に実行してください。

1. 本体の右側面にある青いスキャナカバーリリースボタンを押してスキャナカバーをロックする位置まで持ち上げます。



2. スキャナカバーの左奥下部にある、青いスキャナロックレバーを手前に引いて、スキャナのロックを解除します。

3. スキャナカバーを閉じます。



●ディスプレイに「 ｽｷｬﾅｰﾛｯｸ　ｶｸﾆﾝ」が表示されたらすぐにスキャナのロックを解除して「停止」ボタンを押してください。

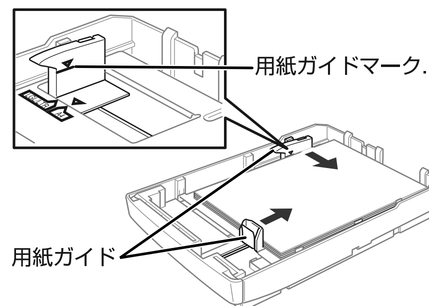
必ず実行してください

スキャナのロックは必ず解除してください。ロックの状態で動作させると重大な故障の原因となります。

3. 用紙をセットする

1. 用紙カセットのカバーをはずします。

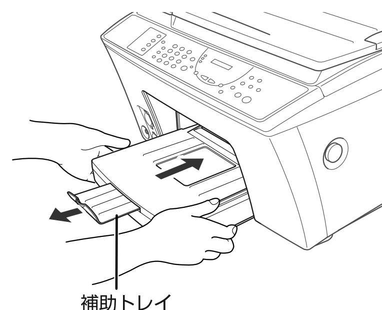
2. 用紙の長さ、幅に用紙ガイドを合わせます。用紙ガイドは指でつまんで動かしてください。



3. 用紙をよくさばいて給紙がスムーズになるようにしてから、**印字面を下にして**用紙カセットにセットします。用紙が平らになるようにします。また、用紙は用紙ガイドマークの高さを超えないようにしてください。

4. 用紙カセットのカバーをとりつけ、用紙カセットを本体にロックする位置まではめ込みます。
（強く押し込んでください。）

5. 用紙カセットのカバーは排紙トレイも兼ねています。補助トレイを手前に引き出してください。



◎用紙カセットの容量

●用紙カセット：高さ 27mm（用紙ガイドの▼マークまで）
● A4(75g/m² 紙にて）約 250 枚
● OHP50 枚
●官製はがき約 30 枚
●封筒約 10 枚
●排紙トレイ：A4(75g/m² 紙にて）約 75 枚



●用紙についての詳細は、P. 7 をご参照ください。

●用紙が重なって排出（プリント）される場合は、再度用紙をよくさばいてからセットし直してください。

おぼえておきましょう ●本体を輸送するときは、スキャナロックをして付属品と本体を同梱し、確実に固定して輸送してください。固定しないで輸送された場合、保証の対象外になることがあります。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

4. 記録紙の種類と規格

●記録紙について

プリントの印字品質は用紙によって大きく左右されます。以下の説明をよくお読みになり、目的にあった用紙を選択してください。
以下の用紙が使用できます。

推薦紙
●当社推奨
ハイクオリティコート紙（BP-72CA）
●専用光沢紙（BP-GLA）

巻末の消耗品オーダーシートでご注文ください。

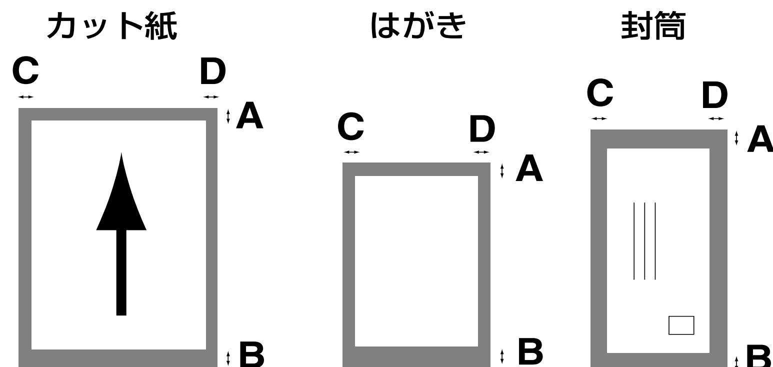
本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスはA4 サイズでのみプリントできます。A4 サイズ以外の用紙（はがき等）をプリントする場合は受信モードを TEL に変更してください。

プリンタ機能での使用可能用紙

給紙方法	種　類	サイズ
用紙カセット	普通紙 OHP用紙 官製はがき	A4、レター、JIS B5、A5 A4、レター
手差しスロット	普通紙 封筒 システム手帳用紙 OHP用紙	A4、レター、JIS B5、リーガル、A5、A6 洋形4号、洋形定形最大 バイブルサイズ A4、レター

●記録紙の印刷可能範囲について

記録紙にはプリントできない部分があります。
右の表はプリントできない部分の数値を示したものです。



はプリントできない部分です。

当社推奨紙　BP72CA は“720dpi 専用コート紙”とパッケージに記載されていますが問題なくご使用いただけます。

以下の用紙は使用できません。
誤ってご使用になると、**故障や紙づまりの原因となります。**

- 傷がついていたりカール、シワのある用紙あるいは封筒
- 特別に光沢のある用紙あるいは封筒
- 留め金の付いた封筒
- すでにレーザープリンタなどで印字された用紙あるいは封筒
- 内側に印刷がしてある封筒
- 著しく寸法にばらつきのある用紙あるいは封筒
- 表面が均一でない用紙あるいは封筒。（エンボス紙等）
- ラベル紙

単位mm

用紙のタイプ	用紙のサイズ	モード	A	B	C	D
カット紙	A4	ファクス	3	11	2	2
		モノクロコピー				
		カラーコピー			3.4	3.4
		プリンタ			3.4	3.4
	レター・リーガル	プリンタ	3	11	4	8
	エクゼクティブ	プリンタ	3	11	3.4	3.4
オーガナイザー	K,L	プリンタ	3	11	3.4	3.4
はがき	官製はがき	モノクロコピー	5	11	3.4	3.4
		カラーコピー	5	11	3.4	3.4
		プリンタ	5	11	3.4	3.4
封筒	洋形定型最大 洋形4号	プリンタ	10	20	3.4	3.4

※プリンタとしてご利用の場合お使いのプリンタドライバによっても変わってきます。



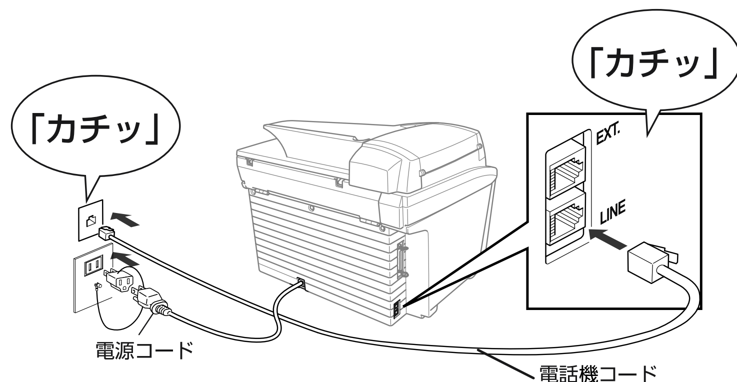
- ●当社のインクジェット用コート紙は本機用に特別に製造されたもので、優秀な印字品質を提供します。
- ●高品質な印字を要求される場合は、当社推奨品の使用をおすすめします。
- ●特別な用紙を使用中、用紙カセットからうまく給紙できない場合には、手差しスロットから 1 枚ずつ給紙を試してください。
- ●当社推奨のコート紙は片面のみコートしてあります。コート面に印字してください。
- ●一般的な光沢紙の場合、印字面には直接手をふれないようにしてください。
- ●ペーパーカセット、手差しトレイには印字面を下にしてセットしてください。
- ●特殊な用紙をご使用になる場合は、必ず印字テストを行ってください。
- ● OHP 用紙をご使用になると次に印字される用紙を汚すことがあります。重ならないように 1 枚ずつ抜きとってください。
- ●コピー機能での原稿サイズ・記録紙サイズに関する注意点は P. 104 を参照してください。

おぼえておきましょう ●インクジェット用紙は表面と裏面があります。
※オーダーシートはプリントすることもできます。P. 102

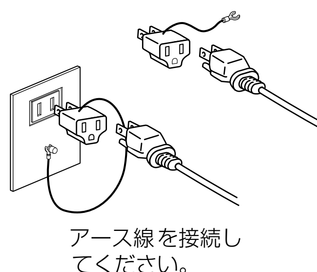
こんなときは……
★どんな用紙を使ったら良いのかわからないときは当社推奨紙をご利用ください。

5. 本体を接続する

1. 電話回線を接続します。
付属の電話機コードを本体の回線接続 (LINE) 端子と電話機コンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

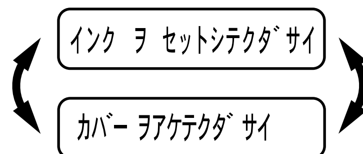


2. 本体の電源コードを電源コンセント (AC100V) に差し込みます。
電源コンセントは、保護接地端子を備えた 3 極コンセントを使用するか、付属品の 3 極 -2 極変換アダプタを使用して、アダプタから出ている緑色のアース線を電源コンセントの保護接地端子に接続してください。


アース線を接続してください。

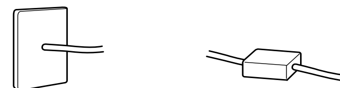
3. 本機が自動的に回線種別設定を行います。P. 11「回線種別の自動設定」を参照してください。

4. 回線種別設定が終了するとディスプレイに下記の画面が交互に表示されます。

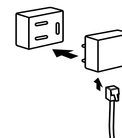


電話機コンセントのタイプについて

●直接配線の場合（ローゼット／プレート） 最寄りのNTT 窓口にご相談ください。（局番なしの 116 番）



● 3 ピンプラグ式コンセントの場合
市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。



● P. 13「インクカートリッジを取り付ける」を参照してインクカートリッジを取り付けてください。



●この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
「電波障害時の対処」を参照してください。 P. ④

スキャナロックに注意

電源を接続する前に、スキャナロックが解除されていることを確認してください。ロックされたまま電源を接続すると重大な故障の原因となります。

おぼえておきましょう ●磁気を帯びている場所には設置しないでください（ラジオ、テレビ、こたつなど）。雑音や受信障害の原因となります。

6. 回線種別の自動設定

電話回線が接続され、電源が投入されると本機は回線種別の自動設定を行います。
接続されると、ディスプレイに以下のどちらかが表示されます。

PB　ｶｲｾﾝ ﾃﾞｽ

プッシュ回線に設定されたとき

20PPS ｶｲｾﾝ ﾃﾞｽ

ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

ﾃﾞﾝﾜｷｺｰﾄﾞｦ
ｾﾂｿﾞｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ

と表示されたとき

●回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、左記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま 5 分以上放置すると、回線種別は「PB」に設定されます。

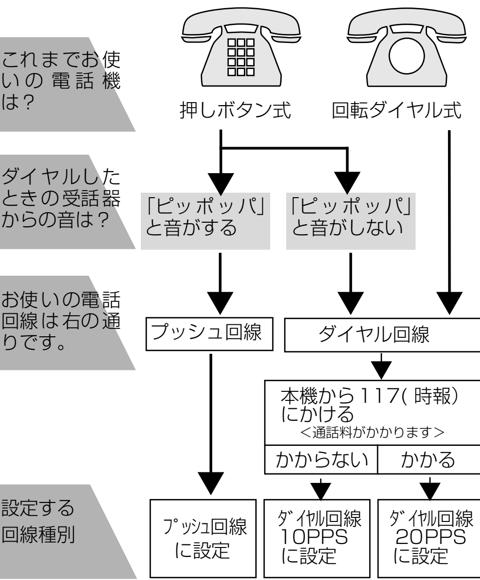
ｾｯﾃｲﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ

と表示されたとき

●回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、左記のメッセージが表示されたときは、電話回線に何らかの問題があります。自動的に回線種別を設定することができませんので、手動で設定する必要があります。

●ご利用中の電話回線の調べかた

回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りの NTT の支店･営業所または NTT 窓口（116：無料）にお問い合わせください。





メモ

●電話回線にはプッシュ（PB）回線とダイヤル（10PPS または 20PPS）回線の 2 種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。

●構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。

●通話中は自動設定できません。

●いったん、自動回線設定すると電源コードを差し込み直しても再度、自動で回線種別設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

7. 手動で回線種別の設定をする

●何らかの原因で自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、下記の手順で利用中の電話回線に合わせて設定します。

1. 機能 ア1 ア1 ア1 を押します。
2. ◀ ▶ で回線種別を選択します。※1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

1.ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ

ｼｭﾍﾞﾂ:PB

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

※1 回線種別の表示

●プッシュ回線のとき…………………PB
●ダイヤル回線 10PPS とき……10PPS
●ダイヤル回線 20PPS のとき…20PPS
●自動設定を行うとき………………ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ



メモ

●回線の種類を選ぶときディスプレイの表示は「←」または「→」ボタンで下記のように変わります。

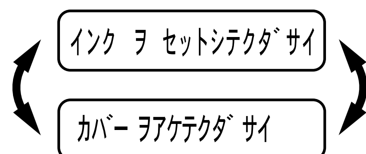
▶10PPS ↔ 20PPS ↔ ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ ↔ PB◀

●設定を間違えると、間違った相手にかかることや、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。

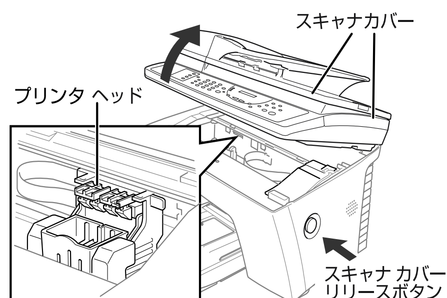
おぼえておきましょう ●移動の時などコンセントを抜いてしまったときは手動で回線設定をし直す必要がある場合があります。

8. インクカートリッジを取り付ける

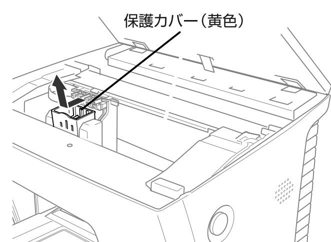
1. 回線種別の自動設定が終了するとディスプレイに下記のように表示されます。



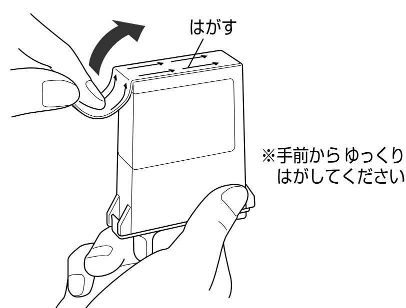
2. スキャナカバーリリースボタンを押しスキャナカバーをロックする位置まで開けます。
3. プリンタヘッドが左側のカートリッジ交換位置まで移動します。



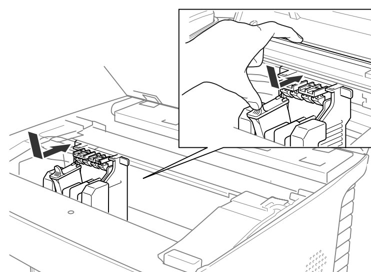
4. 輸送用の黄色の保護カバーを手前に引き、上に引き抜きます。
取り外した黄色の保護カバーの下は、インクでぬれています。衣類に付くとシミになりますのでご注意ください。



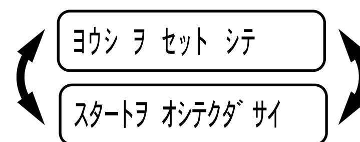
5. 付属のインクカートリッジを袋から取り出します。
カートリッジの底のテープを手前からゆっくりはがしてください。急激にはがすとインクがこぼれるおそれがあります。はがした部分にさわらないでください。



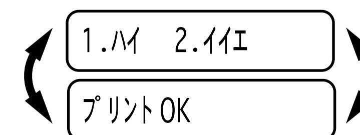
6. カートリッジホルダーの色に合わせてインクを取り付けます。
カートリッジを少し手前側に傾けて入れ、親指でロックする位置までしっかり押し込みます。
必ず４色とも取り付けてください。
黒、イエロー、シアン、マゼンタの順番で取り付けることをおすすめします。



7. インクカートリッジの取り付けが終わったら、スキャナカバーを静かに閉めます。カバーが閉じられると自動的にヘッドクリーニングを行います。（約６分）
8. ヘッドクリーニングが終了するとディスプレイに下記のように表示されます。



9. スタートボタンを押します。
テストプリントが始まります。
プリントが終了すると下記の表示が交互に繰り返されます。



10. プリント結果に問題がなければ 1 を押して手順 11 に進んでください。問題があれば 2 を押してください。2 を押した場合は、各色についてプリント結果に問題がないかどうか、下記のように表示されます。

ﾌﾞﾗｯｸ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ

各色について問題がなければ 1 を、問題があれば 2 を押してください。ディスプレイに「ｽﾀｰﾄｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されますので「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押してください。2 度目のテストプリントが始まります。

11. テストプリントに書かれている手順に従って縦罫線を調整してください。

P. 185



メモ

- 必要な時以外はインクカートリッジを交換しないでください。インク品質を損なうことがあります。さらに本機がカートリッジのインク残量を把握できなくなります。
- インクカートリッジは振らないでください。テープをはがすときに、インクが漏れる可能性があります。
- もし、間違った色のカートリッジを取り付けてしまった場合は正しい色のカートリッジを取り付けた後に、数回ヘッドクリーニングを行ってください。最初のプリントは色が混ざる場合があります。
- インクカートリッジは開封後、6ヶ月以内に使い切ってください。また、開封前の物は品質保証期限までにご使用ください。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクヘッドに障害を与える可能性があります。また、保証の対象外となります。

ご注意ください



注意

誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし炎症等の症状が表れた場合は、医師にご相談ください。

おぼえておきましょう
- インクが衣類に付着するとシミになる場合があります。
- カートリッジを取り付ける前に電源が入っていることと、用紙カセットに用紙が入っていることを確認してください。



こんなときは……

★「ｲﾝｸｷﾞﾚ」と表示されたときは、カートリッジが正しく取り付けられているか再確認してください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

9. 文字入力をする

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。入力できる文字は 20 文字までです。

●文字配列

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割りふられています。また、記号ボタンには各種の記号などが割りふられています。

押す回数 / ダイヤルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
ア (1)	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1					
カABC (2)	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2							
サDEF (3)	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3							
タGHI (4)	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4						
ナJKL (5)	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5							
ハMNO (6)	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6							
マPQRS (7)	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7						
ヤTUV (8)	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8						
ラWXYZ (9)	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9						
ワ (0)	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	0									
記号1 (*)	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	−	.	／
記号2 (#)	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_					

●基本的な文字入力のしかた

発信元データの発信元名称などの登録を行うときは、右のような手順で入力します。

おぼえておきましょう ●文字の入力は 20 文字まで入力できますので名前だけでなく他の情報も入力できます。

●例えば発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ　ケイコ」という名前を入力するときは、当ページの「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

1. 機能 ア(1) ア(1) サDEF(3) と押し、入力画面を表示させます。

   3.ハッシンモト トウロク

2. サDEF(3) を 3 回押します。

   ナマエ:ス

同じボタンを使って入力するときは

3. ▶ を押してカーソルを右へ移動します。

   ナマエ:ス_

4. サDEF(3) を 3 回、ワ(0) を 4 回押します。

   ナマエ:スズ

5. カABC(2) を 2 回押します。

   ナマエ:スズキ

6. 記号1 (*) トーン を押します。

   ナマエ:スズキ_

7. カABC(2) を4回、ア(1)を2回、カABC(2)を 5 回押します。

   ナマエ:スズキ ケイコ

8. セット を押します。

   ウケツケマシタ

9. 停止 を押して登録終了。

●文字を間違えて入力したときの修正方法

●矢印ボタンを押して、修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を入力し直します。
途中の文字を入力し忘れたときは、文字を挿入できませんので挿入する箇所までカーソルを移動し、正しい文字を上書きしてください。



●文字と文字の間に空白をあけるときは、「記号 1」ボタンを 1 回押すか、「→」ボタンを 2 回押します。

●同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、「→」ボタンを押してカーソルを移動させて、文字を入力します。移動させないと文字が上書きされてしまいます。

10. 日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はディスプレイに表示され、同時に、ファクス送信したとき相手側の記録紙にプリントされます。

1. 機能 ア1 ア1 カABC2 と押します。
2. 年号（西暦の下 2 桁）を入力して セット を押します。※ 1
3. 月を入力して セット を押します。
4. 日付を入力して セット を押します。
5. 時刻（24 時間制）を入力して セット を押します。※ 2
6. 停止 を押して登録終了。

ディスプレイ
2.トケイセット
ネン：XX
ツキ：XX
ヒヅケ：XX
ジコク：XX：XX
ウケツケマシタ

※ 1 年号は西暦の下 2 桁を入力します
【例】 2001 年　は「01」

※ 2 時刻は 24 時間制で入力してください。
【例】 午後 3 時 25 分は「15:25」

●ディスプレイは下記のように日付と時刻と受信モードを表示します。

05/15	15:25	FAX
5 月 15 日	午後 3 時 25 分	受信モード

●数字を入れ間違えたときは、「停止」ボタンを押して最初から入力し直してください。

11. 名前と電話番号を登録する〔発信元登録〕

ファクスを送信したとき、お客さまの名前と電話番号が相手側の記録紙にプリントされます。

1. 機能 ア1 ア1 サDEF3 と押します。
2. ファクス番号を入力して セット を押します。
3. 電話番号を入力して セット を押します。
4. 名前を入力して セット を押します。※ 3
5. 停止 を押して登録終了。

ディスプレイ
3.ハッシンモト トウロク
ファクス：
デンワ：
ナマエ：
ウケツケマシタ

●発信元登録の消去のしかた

1. 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン ア1 ア1 サDEF3 を押します。
2. ダイヤルボタン ア1 を押して「ヘンコウ 1.スル」を選びます。
3. 停止 ボタンを押して、登録内容を消去します。
4. セット ボタンを押します。



●ファクス番号･電話番号は 20桁まで登録できます。ファクス番号・電話番号には数字しか入力できません。

●入力した名前や番号を消すときは、手順2、3、4 でそれぞれカーソルを番号や名前の一番はじめまで「←」または「→」ボタンを使って移動させ、「停止」ボタンを押すと、あらかじめ入力してあった名前や番号を消すことができます。

●数字を入れ間違えたときは、「←」または「→」ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力し直します (上書き)。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

●発信元データ (ファクス番号、電話番号、名前) を登録しないと、送付書 P. 63 を送信することはできません。

※ 3
●文字入力のしかたについては P. 15 を参照してください。

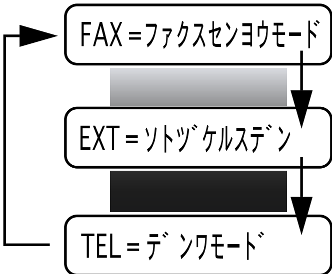
表示時刻について

長期間電源を切ったままにして、時刻が合っていないときは、もう 1 度現在の日付と時刻に合わせてください。
時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。

おぼえておきましょう ● 1 時間以上停電した場合は日付の再設定をしてください。

12. 受信モードを選ぶ

受信モード	本機の使用目的	受信モード表示
FAX専用モード	ファクスとして使いたい。（ファクスを自動で受ける）	FAX
外付留守電モード	ファクスを自動で受けたい、外付の留守番電話機で電話やメッセージを受けたい。	EXT
電話モード	同じ電話回線でコンピュータモデムを使いたい。または、主に接続した外付電話機を使いたい。（ファクスを手動で受ける）	TEL



1. 受信モード ◯ を押してモードを選択します。　2. 停止 ◯ を押して操作は終了です。

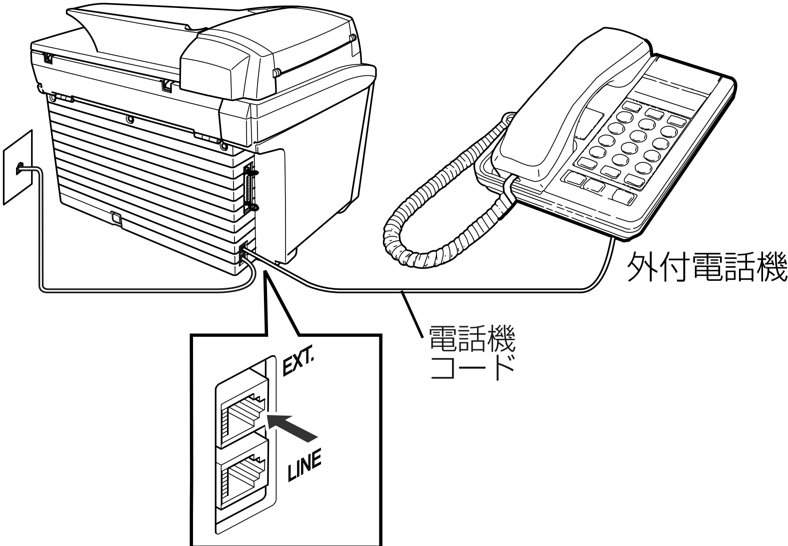
本機の使用用途に応じて、受信モードをFAX 専用モード、外付留守電モード、電話モードの中から選びます。
選択した受信モードは、ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX 専用モード」に設定してあります。

●受信モードについての詳細は P. 71 をご参照ください。



13. 外付電話機を接続する

外付電話機の電話機コードを本体の外付電話 (EXT.) 端子に接続します。外付電話機は 1 台まで接続できます。



●お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合（親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンなど）は、本機あるいは外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合配線工事が必要で、工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンの取付工事を行った販売店か、最寄りの NTT 窓口 (116 番) にご相談ください。

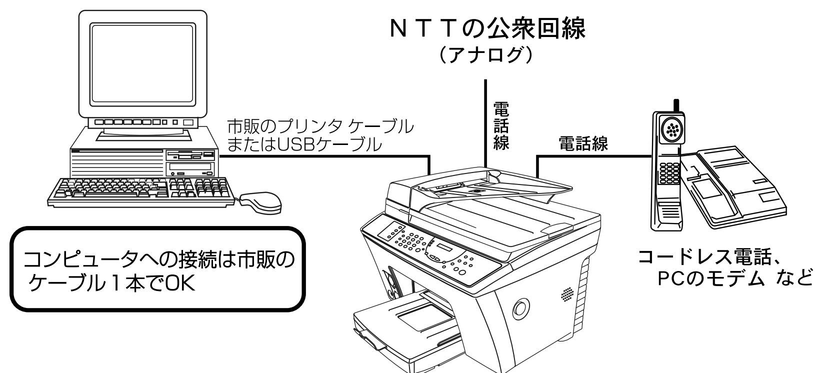


●ナンバーディスプレイ対応の電話機を外付電話機として接続する場合は着信ベル回数を長めに設定してください。また電話を受けるときは外付電話機が鳴り出してから電話に出てください。

本機の接続イメージ

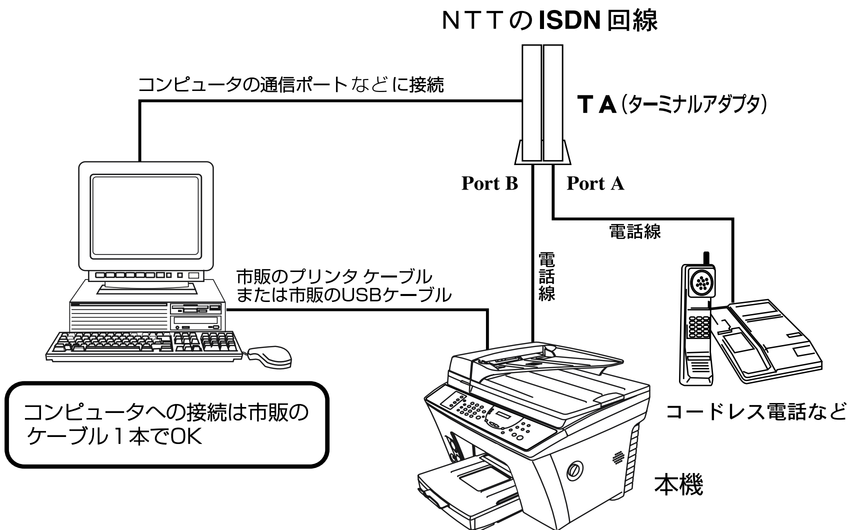
■本機ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。

◆公衆回線に接続する場合（最も代表的な方法です。）



◆ ISDN 回線に接続する場合

２回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも、通話が可能です。



おぼえておきましょう ● ISDN 回線はコンピュータを接続される場合に特にお奨めです。

各種接続を正常に動作させせるためには正しい設定が必要です。

本書をよくお読みになり、正しく接続、設定してください。

コンピュータと接続する。…… P. 145

パラレル接続

Windows®95/98/98SE/Me/2000Professional/NT®4.0 …… P. 149

USB 接続

Macintosh®G3/G4/iMac™/iBook (Mac OS 8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4) …… P. 149

Windows®98/98SE/Me/2000Professional/NT®4.0 …… P. 149

外付電話機を接続する。…… P. 19

●本機を ISDN 回線の TA に接続する場合、次のことを確認してください。

FAX 本機側：

回線種別を「PB」に設定してください。お買い上げ時の設定は、「PB」になっています。

TA 側：

本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本機が使えないときは、TA の設定を確認してください。TA の設定について詳しくは、TA の取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

●電話回線の設定の詳細については P. 11 をご参照ください。

ISDN 回線のお客様

ターミナルアダプタ、およびダイヤルアップルーターに接続してからのご利用になります。詳しくは機器をお求めの販売店にご相談ください。

●電話番号 1 つの場合

Port A/B 両方の端末が着信ベルを鳴らしますが、電話でファクスを受けてしまった場合は、Port A から B へ転送できます。

●電話番号 2 つの場合

（ダイヤルインサービスまたは i-ナンバーサービス加入時）

TA 側で TA の各アナログポートの着信電話番号を設定すると、鳴り分けすることができます。



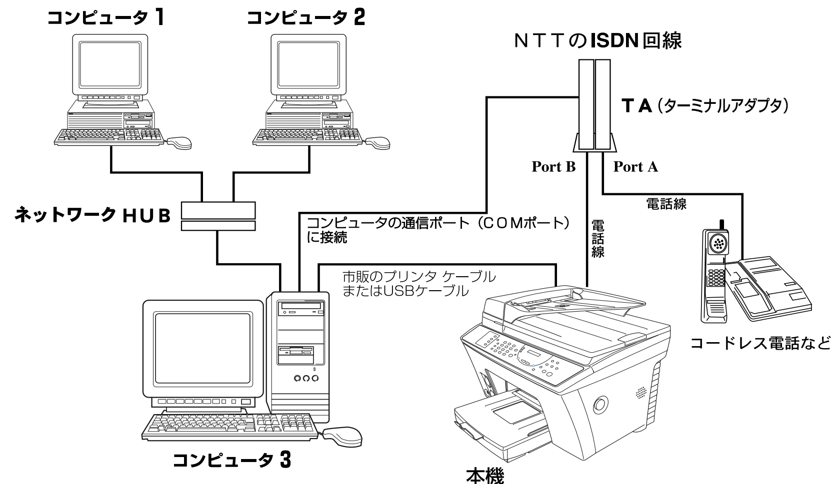
こんな時には…

上記のイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください

本機の接続イメージ

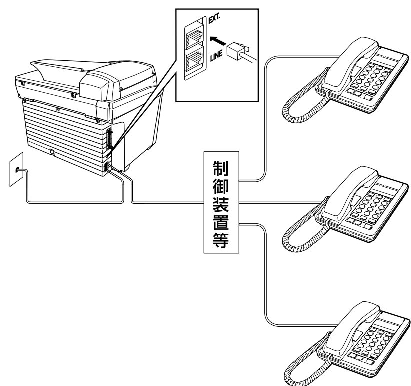
◆プリンタを共有する場合

ネットワークプリンタとして使用することができます。



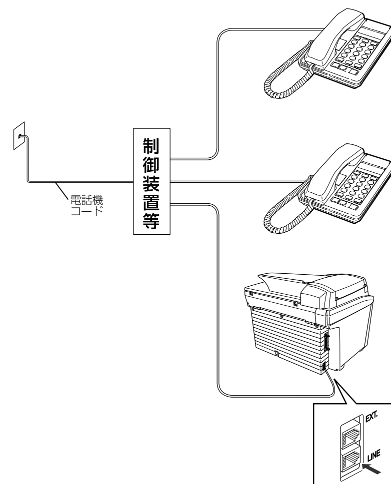
コンピュータと接続するためには､お使いのコンピュータにソフトウェアをインストールする必要があります。

◆親子電話､ホームテレホン､ビジネスホンに接続する場合



回線数が 1 つの場合の例です。

◆内線電話として接続する場合



おぼえておきましょう ●間違った接続は他の機器に影響を与える場合があります。

●プリンタ共有について　(Port Monitor)

コンピュータ 1 および 2 から、本機が接続されているコンピュータ 3 を経由して、プリントアウトすることができます。コンピュータ 3 でプリンタ共有に設定してください。

●内線電話として接続する場合

構内交換機またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定を 2 芯用に変更してください。

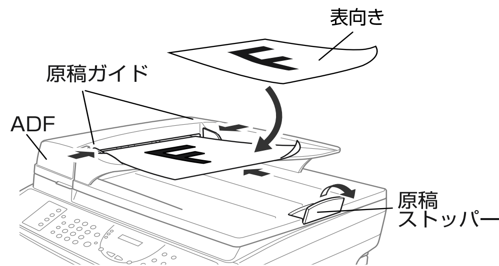
設定変更を行いませんと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、内線工事を行った販売店にご相談ください。



こんな時は…………

★お使いのコンピュータがネットワーク接続されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

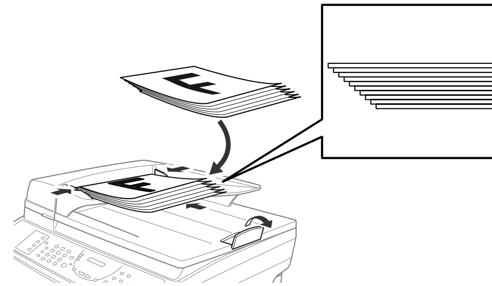
ファクスを送信する（ADF使用時）



1. ADF（自動原稿送り装置）にファクスしたい原稿を先端を揃えて〔表向き〕にセットします。
2. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
3. 原稿ストッパーを引き上げます。
4. 送信先をダイヤルし、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押します。

以上で完了です。

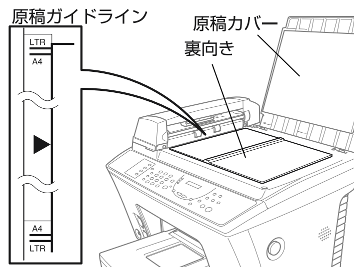
●複数枚を送信するときは下図を参考にしてください。（一度に50枚までセットできます。）





●解像度の変更は P. 59 をご参照ください。

ファクスを送信する（原稿台ガラス使用時）



1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことを確認して原稿カバーをもちあげます。
2. 原稿台ガラスの左端にあるマークに原稿の中心をあわせ、〔裏向き〕にセットしてカバーを閉じます。送信先をダイヤルし、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押します。
3. 次のページがあるときは原稿を変え、「ｾｯﾄ」ボタンを押します。
4. 最後に「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押します。

●厚手の物をおくときは、原稿台を上から強く押さえないでください。

●ファクス送信の詳細は下記を参照してください。

ファクスを送信する。………… P. 43
ダイヤルのしかた。………… P. 47
カラーファクスをする。……… P. 59
同じ原稿を一度に送信する。…… P. 65
指定時刻に送信する。………… P. 69



●送信できる用紙についての詳細は P. 41 をご参照ください。

守ってください

原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。

ファクスを受信する（自動受信時）

操作は必要ありません。
本機はお買い上げ時に自動受信に設定されています。

●本機は ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないとき、送受信、またはプリント実行時にも、次のファクス原稿の読み込みおよび、一時設定が可能です。

●ファクス受信の詳細は下記を参照してください。

受信モードを選択する。……… P. 73
親切受信する。……………… P. 75
リモート起動。……………… P. 77
ポーリング受信する。……… P. 83
メモリー受信する。………… P. 89



●デュアルアクセス機能を搭載しています。詳細は P. 45 を参照してください。

おぼえておきましょう ●原稿台のガラスは時々清掃してください。汚れがひどくなると原稿の読み取り精度が低下します。

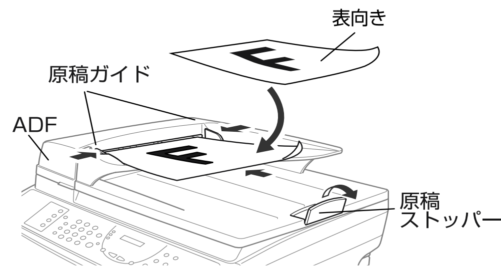


こんな時は……

★ファクスがつながらないときはディスプレイの表示を確認してから P. 226 を参照してください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

ADF（自動原稿送り装置）からコピーをとる

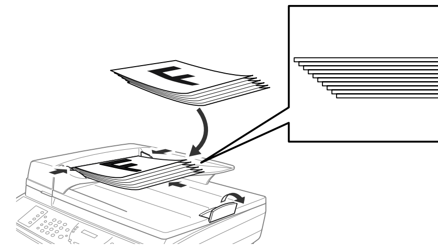


1. ADF（自動原稿送り装置）にコピーしたい原稿を〔**表向き**〕にセットします。
2. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
3. 「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」か「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。
4. テンキーでコピー枚数を設定します。
5. 最後にもう一度「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」か「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。

※　3. で押した同じボタンを押す。

●複数枚をコピーするときは下図を参考にしてください。（一度に 50 枚までセットできます）

ソートする ・・・・・・・・・・・・・・ P. 105



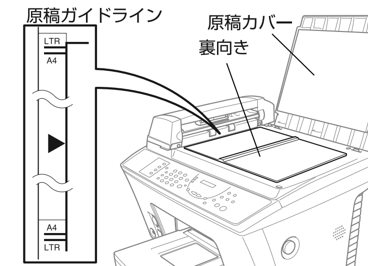


● １度にコピーできるのは 99 枚までです。100 枚以上コピーされる場合は再度設定してください。

メモリーフル表示に注意

最初のページで「ﾒﾓﾘ　ｹﾞﾝｶｲ」が表示されたときは「停止」ﾎﾞﾀﾝを押してください。
２枚目以降のときは、「ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ」を押すか、「停止」ﾎﾞﾀﾝを押して中断することができます。

原稿台ガラスからコピーをとる



1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことを確認して原稿台カバーを上げます。
2. 原稿台ガラスの左端にあるマークに原稿上端の中心をあわせ、〔**裏向き**〕にセットして原稿台カバーを閉じます。
3. 「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」か「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。
4. テンキーでコピー枚数を設定します。
5. 最後にもう一度「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」か「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。

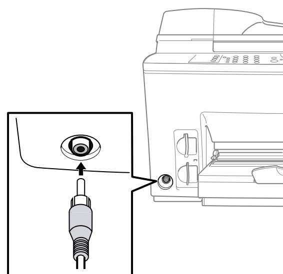
※　3. で押した同じボタンを押す。

●コピー機能の詳細は下記を参照してください。

拡大・縮小コピーをする。・・・・・・ P. 107
コピーする用紙を選択する。・・・・ P. 111
明るさを調整する。・・・・・・・・・・・・ P. 111
画質を選択する。・・・・・・・・・・・・・・ P. 111
オプションコピーをする。・・・・・・ P. 113
（ソート、2in1、4in1、Poster）
はがきへコピーをする。・・・・・・・・ P. 115
単色コピーをする。・・・・・・・・・・・・ P. 118



ビデオからプリントする



1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことを確認し、本機とビデオ、テレビゲームなどからの映像出力を接続します。
2. ビデオを再生します。ディスプレイに「ﾋﾞﾃﾞｵ：ｺﾋﾟｰｷｰｦ ｵｽ」と表示されます。
3. プリントしたい画像がでたら「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」か「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。
4. テンキーでプリント枚数を設定します。
5. 最後にもう一度「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」か「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。

●ビデオプリント機能の詳細は下記を参照してください。

ビデオプリント機能。・・・・・・・・・・ P. 119
ビデオ機器を接続する。・・・・・・・・ P. 119
用紙を選択する。・・・・・・・・・・・・・・ P. 123
画像のタイプを選択する。・・・・・・ P. 123
印刷画質を設定する。・・・・・・・・・・ P. 125
プリントサイズを選択する。・・・・ P. 125



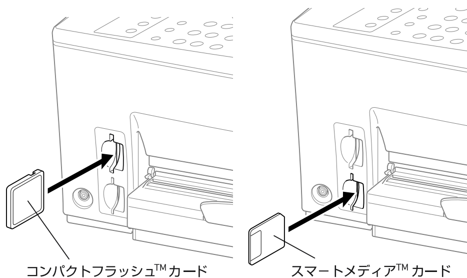
● ADF に原稿が残っているとビデオプリントはできません。ADF の原稿は必ず取り除いてください。

● NTSC 方式の映像信号を認識してプリントします。

●動画・静止画どちらもプリントできます。

おぼえておきましょう ●コピーは法律で禁止されている物があります。ご注意ください。

メモリーカードからプリントする（フォトメディアキャプチャーをつかう）



コンパクトフラッシュ™カード　　スマートメディア™カード

〈DPOF 方式以外のカードの場合〉

1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことを確認しコンパクトフラッシュカードかスマートメディアカードをおのおののスロットに挿入します。
2. 本機がメモリーカードを認識すると、ディスプレイに「ｶﾗｰｺﾋﾟｰｷｰ ｦ ｵｽ」と表示されますので「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。
3. 「1. ｲﾝﾃﾞｯｸｽ　2. ｼｬｼﾝ」と表示されます。

   インデックスをプリントする場合は 1 を押すとインデックスプリントが始まります。

   写真をプリントする場合は 2 を押します。「IMG:　」と表示されますのでプリントしたい画像の番号を入力し、「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。
4. 枚数を入力しもう一度「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。

〈DPOF 方式のカードの場合〉

P. 131 を参照してください。

●フォトメディアキャプチャー機能の詳細は下記を参照してください。

フォトメディアキャプチャー機能。P. 129
DPOF とは。 ················ P. 131
プリントの種類を選択する。 ···· P. 133
用紙を選択する。 ·············· P. 137
画質を選択する。 ·············· P. 137
プリントサイズを選択する。 ···· P. 139



●デジタルカメラなどで使用されるスマートメディア ™ カードとコンパクトフラッシュ ™ カードからコンピュータを介さずにデータをプリントできます。

● DPOF 方式に対応しています。

プリンタとして使う

※この機能をご利用になるには本機とコンピュータを接続し、適切なソフトウェアがインストールされていることが必要です。

●プリンタ機能の詳細は下記を参照してください。

コンピュータと接続し、ドライバをインストールする。···· P. 145
プリンタとして使う。································ P. 177

スキャナとして使う

※この機能をご利用になるには本機とコンピュータを接続し、適切なソフトウェアがインストールされていることが必要です。

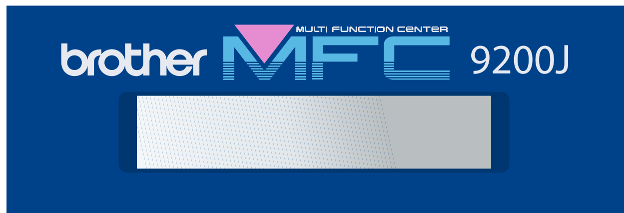
●スキャナ機能の詳細は下記を参照してください。

コンピュータと接続し、ドライバをインストールする。···· P. 145
インストールするソフトウェアを選択する。·············· P. 151
ソフトウェアをインストールする。(Windows) ·········· P. 172
スキャナとして使う。································ P. 199

ディスプレイの特徴

ディスプレイついて

本機はお客様が使いやすいよう、ディスプレイをみるだけで次に何をすれば良いかわかるようになっています。



●ディスプレイのスクロール

(機能)を押して(1)から(5)のどれかを選択すると、次々に設定することができる各機能がディスプレイに表れてきます。

(1)を押すと
ファクス機能の設定ができます。
P. 37 をご覧ください。

(2)を押すと
プリンター機能の設定ができます。
P. 185 をご覧ください。

(3)を押すと
コピー機能の設定ができます。
P. 117 をご覧ください。

(4)を押すと
ビデオプリント機能の設定ができます。
P. 127 をご覧ください。

(5)を押すと
ﾌｫﾄﾒﾃﾞｨｱｷｬﾌﾟﾁｬｰ機能の設定ができます。
P. 141 をご覧ください。



●ディスプレイは2秒たつと順次、表示が変わりますが、かまわずに自分の行いたい設定の番号を押してください。
●機能設定を途中で終了するときは、「ﾃｲｼ」ボタンを押してください。

登録・設定の基本操作

●本機の登録・設定をするためには次の３通りの方法があります。

■(機能)を押し(1)から(5)のどれかを押します。
設定したい機能が表示されたら(セット)を押します。

■(機能)を押し(1)から(5)のどれかを押し ◁ ▷ で
設定したい項目を表示させ(セット)を押します。

■(機能)を押して、ダイヤルボタンで直接設定したい機能の番号を入力して設定する。
P. 33 の「MFC-9200J の登録・設定」をご覧ください。

おぼえておきましょう ●登録の基本操作を覚えましょう。設定は繰り返し必要になります。



こんなときは……
★どの機能を使えばいいかわからないときは P. 33 を参考にしてください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

4章　ご使用前の基本設定

MFC-9200J の登録・設定

本機は機能ボタンと設定したい機能の番号を入力するだけで各種の設定ができます。

1. ファクス機能

	機能レベル1		機能レベル2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	初期登録	1	回線種別設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	「ｼﾞﾄﾞｳ」→PB	11
		2	時計セット	ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。	(2000) 01/01 00；00	17
		3	発信元登録	ファクスにプリントされる発信元の名前、ファクス番号、電話番号を設定します。		17
		4	キータッチ音量	パネルキーにタッチしたときのタッチ音の音量を設定します	「ｼｮｳ」	37
		5	スピーカー音量	スピーカー音量を設定します。	「ｼｮｳ」	37
		6	呼び出しベル音量	呼び出しベルの音量を設定します。	「ｼｮｳ」	39
		7	表示言語	ディスプレイに表示される言語を設定します。	「ニホンゴ」	39
2	受信設定	1	着信ベル回数	「FAX 専用ﾓｰﾄﾞ」のとき、自動受信するまでのベルの回数を設定します。	「04」	73
		2	親切受信	本機がファクスを自動受信する前に外付電話をとってしまった場合でも、スタートキーを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	「OFF」	75
		3	リモート番号	外付電話機からファクスを受信動作させるときに設定します。	「OFF」(#51)	77
		4	自動縮小	A4 サイズ以上の長さの原稿が送られてきたときに自動的に縮小する / しないを設定します。	「ON」	79
		5	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」	83
3	送信設定	1	送付書	送付書を付加する / しないを設定します。	「OFF」	63
		2	送付書コメント	送付書のコメントを作成、登録します。		63
		3	原稿濃度	原稿に合わせて濃度を設定します。	「ﾌﾂｳ」	61
		4	画質モード	ページごとに解像度を設定します。	「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」	59
		5	海外送信モード	海外送信を行うときに設定します。	「OFF」	67

	機能レベル 1		機能レベル 2	設定内容	初期設定	参照ページ
3	送信設定	6	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。		69
		7	ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときの設定をします。	「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」	81
		8	リアルタイム送信	メモリを使わずにリアルタイムでファクスを送信するときに設定します。	「OFF」	67
		9	取りまとめ送信	同一の相手先ごとに一括してタイマー送信を行うときに設定します。	「OFF」	69
4	通信待ち確認			メモリ送信の待ち状況を確認し、メモリ送信、タイマー送信のジョブの解除をします。		69
5	ダイヤル登録	1	ワンタッチダイヤル	ワンタッチボタン 1 ～ 8 に送信先番号、名称を登録します。		51
		2	短縮ダイヤル	2 桁の短縮番号 01 ～ 00(00 は 100 のことです。）に送信先番号、名称を登録します。		53
		3	グループダイヤル	ワンタッチボタン 1 ～ 8 にワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルを組み合わせたグループダイヤルを登録します。		55
6	リストプリント	1	送信レポート	送信後に送信結果をプリントします。	「OFF ＋ｲﾒｰｼﾞ」	97
		2	通信管理レポート（ﾌﾟﾘﾝﾄﾘｽﾄ）	送信・受信した最新の合計 50 通信分の結果をプリントします。		99
			（出力間隔）	通信記録の出力間隔を設定します。	「OFF」	99
		3	ダイヤルリスト	ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録された内容をプリントします。		101
		4	電話帳リスト	ダイヤルリストを 50 音順・アルファベット順にプリントします。		101
		5	機能案内リスト	簡単操作リストをプリントします。		101
		6	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。		102
		7	メモリ使用状況リスト	使用されているメモリ量などメモリの使用状況をプリントします。		102
		8	消耗品オーダーシート	インクカートリッジなどの消耗品をファクスでご注文いただくためのオーダーシートをプリントします。		102

4章　ご使用前の基本設定

	機能レベル1		機能レベル2	設定内容	初期設定	参照ページ
7	応用機能	1	転送	メッセージを受信したとき、「電話呼出」や「ﾌｧｸｽ転送」するための設定をします。	「OFF」	87
		2	メモリ受信	受信したファクスをメモリに蓄積する / しないを設定します。(ファクス転送、リモコンアクセスをするときに、ON に設定します。)	「OFF」	89
		3	暗証番号	外出先から本機をリモートコントロールするときの設定をします。	159*	95
		4	ファクス出力	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスをプリントアウトするときに使用します。		89

2. プリンター機能

	機能レベル1		機能レベル2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	テストプリント			プリント品質に満足できないときは、これらの機能を使って調整をします。		185
2	縦罫線調整					185
3	双方向印字				「ON」	185

3. コピー機能

	機能レベル1		機能レベル2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	用紙タイプ			カセット内の用紙の種類を設定します。	「ﾌﾂｳｼ」	117
2	画質			コピー画質を設定します。	「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」	117
3	カラー調整			赤 / 緑 / 青各色のバランスを調整します。	中間	118
4	コントラスト			コントラストを調整します。	中間	118
5	単色印字			モノクロコピー時に、単色（黒以外）でのコピーを設定します。	「OFF」	118

4. ビデオプリント機能

	機能レベル 1	機能レベル 2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	用紙タイプ		ビデオプリントする用紙の種類を設定します。	「フツウシ」	127
2	画質		画質を「ヒョウジ゛ュン」「コウガ゛シツ」から選択します。	「ヒョウジ゛ュン」	127
3	画像タイプ		動画 / 静止画を設定します。	「ト゛ウガ゛」	127
4	プリントサイズ		プリントサイズを設定します。	10 × 7.6	128
5	カラー調整		赤 / 緑 / 青各色のバランスを調整します。	中間	128
6	コントラスト		コントラストを調整します。	中間	128

5. フォトメディアキャプチャー機能

	機能レベル 1	機能レベル 2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	用紙タイプ		用紙の種類を設定します。	「フツウシ」	141
2	画質		画質を「ヒョウジ゛ュン」「コウガ゛シツ」から選択します。	「コウガ゛シツ」	141
3	明るさ		プリントする明るさを設定します。	中間	141
4	コントラスト		コントラストを調整します。	中間	142
5	カラー調整		赤 / 緑 / 青各色のバランスを調整します。	中間	142
6	画質強調		「ホワイトハ゛ランス」「シャープ゜ネス」「カラーノウト゛」を調整します。	中間	143

音量を調節する -1

キータッチ音量を変える〔キータッチ&ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とキータッチ音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクシミリに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調整します。

1. 機能 ア1 ア1 タGHI4 を押します。
2. ◁ ▷ で音量を選択します。※1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

4.キータッチオンリョウ

キータッチオンリョウ:ダイ

ウケツケマシタ

※1 ●キータッチ音量は、3 種類「OFF」、「ショウ」、「ダイ」の内から選びます。お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。

●「OFF」(キータッチ音なし)を選んでも、エラーのときは鳴ります。



スピーカー音量を調節する

手動でファクスを送信するとき、 受信側から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調整します。

1. 機能 ア1 ア1 ナJKL5 を押します。
2. ◁ ▷ で音量を選択します。※1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

5.スピーカー オンリョウ

スピーカーオンリョウ:ダイ

ウケツケマシタ

※1 ●スピーカー音量は、以下の４種類「OFF」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の内から選びます。お買い上げ時は「ショウ」になっています。



おぼえておきましょう ●スピーカーの音量は大きくしすぎるとご近所に迷惑です。適切に調節してください。

こんな時は……

★呼び出し回数を設定したいときは P. 73 を参照してください。

音量を調節する -2

呼び出しベル音量を調節する

着信時の呼び出しベルの音量を調整します。

1. 機能 ア1 ア1 ハMNO6 を押します。
2. ◀ ▶ で音量を選択します。※1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

6.ヨビダシ オンリョウ

ヨビダシオンリョウ:ダイ

ウケツケマシタ

※1 ●呼び出し音量は、以下の４種類「OFF」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の内から選びます。
お買い上げ時は「ショウ」になっています。



ディスプレイの表示言語を切り替える

英語・日本語を切り替える

本機は、ディスプレイに表示される言語を英語に切り換えることができます。

1. 機能 ア1 ア1 マPQRS7 を押します。
2. ◀ ▶ で言語を選択します。※1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

7:ヒョウジゲンゴ

コトバ:エイゴ

ACCEPTED

※1 ●「ニホンゴ」か「エイゴ」を選ぶことができます



●英語版 OS 用ドライバのインストール方法については付属 CD-ROM の「English」フォルダ内の「README.PDF」を参照してください。

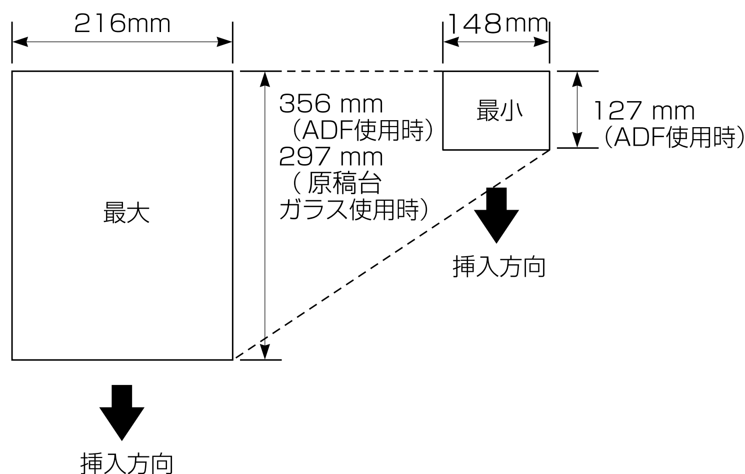
おぼえておきましょう ●表示の種類によっては英語が表示されることがあります。

ファクスを送信する -1

原稿について

●原稿サイズ

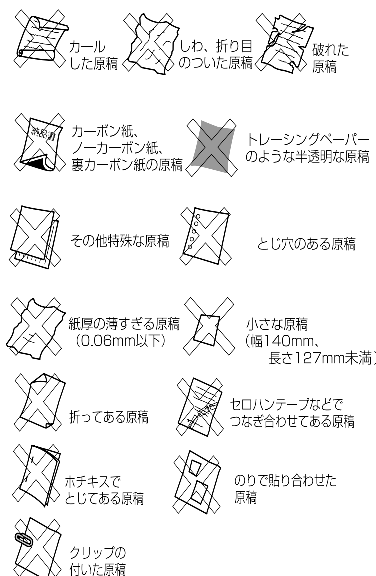
セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーしてセットしてください。小さすぎる原稿は原稿台ガラスにセットしてください。



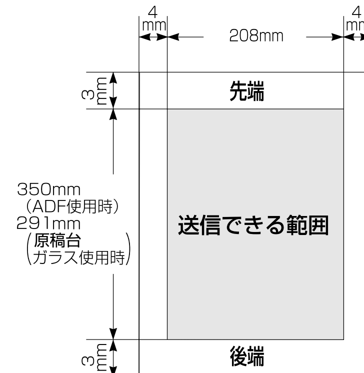
最大　幅：216mm
　　長さ：356mm（ADF 使用時）、
　　　　　297mm（原稿台ガラス使用時）
最小　幅：148mm
　　長さ：127mm（ADF 使用時）
厚さ　　：0.07mm ～ 0.12mm*1（ADF 使用時）
坪量　　：64g/m² ～ 90g/m²（ADF 使用時）
最大厚み：30mm（原稿台ガラス使用時）
最大重量：2kg（原稿台ガラス使用時）
*1：この取扱説明書の表紙が約 0.15mm、このページが約 0.07mm ですので、原稿の厚さの目安としてください。

●原稿についてのご注意

以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用して送信、またはコピーをしてください。



●原稿の読み取り範囲



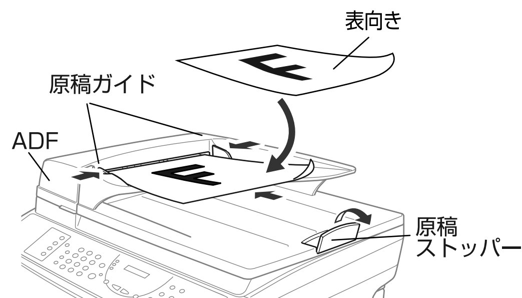


- ●原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。
- ●インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- ●原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取りはずしてください。
- ●異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- ●原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- ●原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- ●原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

ファクスを送信する -2

ADF（自動原稿送り装置）から送信する

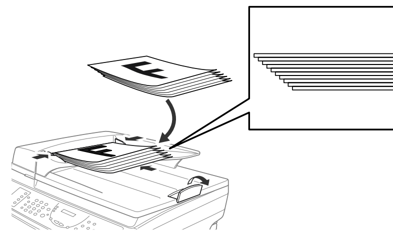
●ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットして送信する。



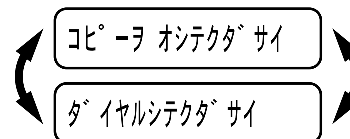
●原稿が静電気等でくっついていないことを確認してください。

●原稿をきれいに揃え、原稿の先が軽くあたるまで差し込んでください。

●原稿ストッパーを引き上げます。



1. 原稿の先端を揃え、**表向き**にしてセットし原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。（一度に 50 枚までセットできます）
2. 原稿が正しくセットされるとディスプレイに下記のように表示されます。



3. 送信先をダイヤルし、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押します。
4. 本機がダイヤルを始めます。



●原稿を強く押し込みすぎると複数枚の原稿が 1 度に送られたり、原稿づまりになることがありますので注意してください。

●異なったサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。

●原稿は 1 枚ずつ送られますので、クリップ、ホチキスの針などは必ず外してください。

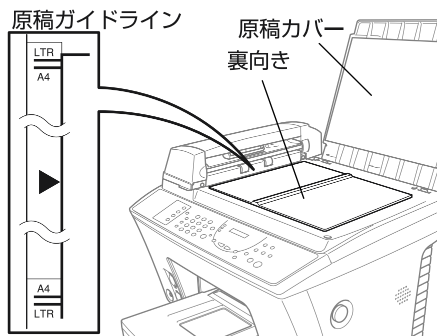
●カラーファクス送信ができます。詳しくは P. 59 をご参照ください。

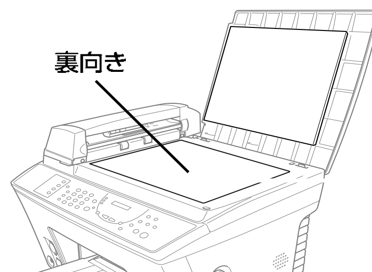
●送信を途中で止めたいときは P. 45 を参照してください。

●ダイヤルのしかたは P. 47 を参照してください。

原稿台ガラスから送信する

●原稿台ガラスに原稿をセットして送信する。





1. 原稿カバーを持ち上げます。
2. 左端の原稿ガイドラインのマークと原稿上端の中心を合わせて、原稿台ガラスに原稿を**裏向き**におきます。
3. 原稿カバーを静かに閉じます。
4. 相手の番号をダイヤルし「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押します。1 枚のみ送信するときは、手順 6 へ進んでください。
5. 複数枚送信するときは次の原稿をセットして「ｾｯﾄ」ボタンを押します。
6. 原稿の読み込みが完了したらもう一度「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押します。
7. 本機がダイヤルを始めます。



●原稿が本や厚さがあるときには、原稿カバーをパタンと閉じたり、上から押さないでください。

●送信を途中で止めたいときは P. 45 を参照してください。

●ダイヤルのしかたは P. 47 を参照してください。

おぼえておきましょう ●大きさのそろっていない原稿は原稿台ガラスを使ってください。



こんなときは…

★用紙が詰まったときは P. 221 を参照してください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

ファクスを送信する -3

ファクスを送信する

●自動送信

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。　※1

2. ファクス番号を入力して（スタート）を押します。

3.（スタート）を押して操作終了です。

●手動送信

・外付電話機が取り付けられている場合に、受信音を確認してから送信します。

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2. 外付電話機の受話器を上げファクス番号をダイヤルする。

3. 相手先の受信音（ピー）を確認してから（スタート）を押します。　※2

●デュアルアクセス

・本機のファクス送受信中やプリント中でも、原稿をセットすると、設定（今回のみ）を行いダイヤルしてから、原稿をメモリーに読み込めます。ディスプレイは新しいジョブ番号とメモリー残量を表示します。　※3

■（スタート）ボタンを押した後に送信を途中で止めるときは

原稿をどこにセットしたかによって操作は異なります。
以下を参照してください。

・ADF で送信しているとき

「停止」ボタンを押します。まだ原稿が繰り込まれていないときは原稿を取り除いてください。
原稿が繰り込まれているときは、原稿が排出されるまで待ってから原稿を取り除きます。

・原稿台ガラスで送信しているとき

「停止」ボタンを押します。「ｶｲｼﾞｮ　1.ｽﾙ　2.ｼﾅｲ　」と表示されますので「1」を選んでください。※4

※1 ●自動送信の場合、ADF から送信すると「ｽﾀｰﾄ」ボタンは 1 回押すだけで操作終了です。
●原稿台ガラスから送信する場合は 1 回目の「ｽﾀｰﾄ」ボタンで原稿の読み取りが始まり、2 回目の「ｽﾀｰﾄ」ボタンで送信を開始します。

※2 ●手動送信をする場合は、受信音を確認し「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押したら受話器を置いてください。

※4 ●メモリーに読み込んだ原稿の送信待ちが複数件ある場合、「通信待ち確認 / メモリー送信の解除のしかた」を参照にしてください。P. 69

■ ECM 通信について

ECM（Error Correction Mode の略称）とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。

●送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
●ECM通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。
● ECM 通信を行っても、回線の状況によってはエラー終了することがあります。



※3 最初のページを読み込み中に、ディスプレイに「ﾒﾓﾘ　ｹﾞﾝｶｲ」が表示された場合は、「停止」ボタンを押すと読み込みは取りやめられます。2 ページ目以降を読み込み中に、この表示がされた場合は、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押すと，読みこまれたページまでは送信します。送信を取りやめる場合は「停止」ボタンを押します。

※3 メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は、原稿の内容によって影響されます。

●海外へ送信するときは、回線の状況や地域等により正常に通信できない場合があります。このようなときは海外送信モードを設定しください。通信エラーが少なくなります。P. 67

ご注意ください

本機は通常デュアルアクセスモードになっていますが、カラーファクスモードでは、デュアルアクセス機能ははたらきません。リアルタイム送信「ON」「OFF」にかかわらずリアルタイムで送信されます。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

便利にダイヤルする -1

ダイヤルのしかた

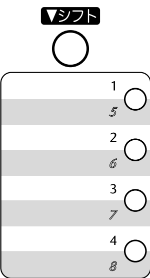
●送信するときのダイヤル方法は 4 つあります。

ダイヤルボタン



●ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルします。
●最も一般的な方法です。

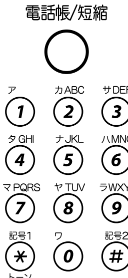
ワンタッチダイヤル



●ワンタッチボタンで登録されているファクス番号にダイヤルします。
●1回ボタンを押すだけでダイヤルできます。
●８件登録できます。

●ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P. 51 を参照してください。

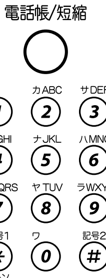
短縮ダイヤル



●電話帳/短縮ボタンを押し、⊛ボタンを押した後、00 ～ 99の2桁の短縮番号を押すだけでダイヤルできます。
●100 件登録できます。

●短縮ダイヤルの登録のしかたは P. 53 を参照してください。

電話帳



ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1

●ワンタッチ、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された名称を検索し、そのままダイヤルします。ディスプレイ上で検索します。
●名前だけで探せます。

●電話帳の使い方はは P. 49 を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2. 再ダイヤル/ポーズ を押し スタート を押します。

●最後にかけた番号が表示されダイヤルされます。

●自動再ダイヤルについて
自動送信でファクスを送信しようとしたが、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します（ 原稿送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください）。自動再ダイヤルは 30 秒間隔で 8 回繰り返します。



●自動再ダイヤルを８回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートがプリントされます。「ｹｯｶ」の欄が「ﾊﾅｼﾁｭｳ／ｵｳﾄｳﾅｼ」であることを確認し、再度送信し直してください。
●自動再ダイヤルは、自動送信時のみはたらく機能です。手動送信時は「ﾀﾞｲﾔﾙ / ﾎﾟｰｽﾞ」ボタンを押して再ダイヤルします。



こんな時は…
★自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

便利にダイヤルする -2

電話帳の使い方

あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている相手先名称をディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手にファクス送信することができます。

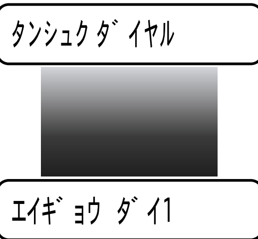
1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2. 電話帳/短縮 を押します。

3. 探したい名前の最初の 1 文字を入力します。

4. ◁ ▷ で目的の名前を表示させます。 ※1

5. 相手先が表示されたら スタート を押します。 ※2



※1 ●入力した最初の 1 文字を含む 50 音順、アルファベット順で一番最初の相手先名称が表示されます。

※2 ● ADF 使用時は、そのままファクス送信されます。

●原稿台ガラス使用時は、読み取りがはじまります。読み取り終了後、再度「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押してください。



●登録されている相手先名称を 50 音順・アルファベット順に並べ換えた電話帳リストをプリントすることができます。プリントのしかたは、P. 101 を参照してください。

●文字入力のしかたについては P. 15 をご参照ください。

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P. 51 を参照してください。



こんな時は……

★電話帳をプリントするには P. 101 を参照してください。

電話帳を作成する -1

ワンタッチダイヤルを登録する

20 桁までの電話番号と 15 文字までの相手先名称を、ワンタッチボタンの 1 ～ 8 の 8 箇所に登録することができます。

1. 機能 ア 1 ナJKL 5 ア 1 を押します。　[1.ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ]
2. （ワンタッチボタン）で登録する番号を選択します。 ※1　[#01:]
3. 相手先の電話番号を入力し セット を押します。 ※2　[ﾅﾏｴ:]
4. 相手先の名前を入力し セット を押します。 ※3
5. ◀ ▶ で番号の種別を選択します。 ※4　[ｼｭﾍﾞﾂ:ﾌｧｸｽ]
6. セット を押します。 ※5　[ｳｹﾂｹﾏｼﾀ]
7. 停止 を押して操作は終了です。

■ワンタッチダイヤルを変更するには
1. 上記手順 1、2 で変更するワンタッチダイヤルを表示させます。
2. 登録されている内容が表示されたら「ﾍﾝｺｳ ; 1 ｽﾙ .2 ｼﾅｲ」と表示されますので ア 1 を押します。
3. 上記手順 3 から繰り返してください。変更しない場合はそのまま「ｾｯﾄ」ボタンを押して、次の項目に進みます。
4. 変更が受け付けられたら最後に 停止 ボタンを押します。

※1 ●ワンタッチダイヤルの 5 ～ 8 に登録するときはシフトボタンを押したままワンタッチボタンを押してください。
【例】 ワンタッチダイヤルの 7 に登録するときは「ｼﾌﾄ」ボタンを押したままワンタッチボタンの 3 を押してください。

※1 ●すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

※2 ●電話番号は 20 桁まで登録できます。

※3 ●名前は 15 桁まで登録できます。

※4 ●番号の種別は下記の 3 種類から選択できます。
・ファクス
・デンワ
・ファクス／デンワ

※5 ●続けて登録するときは手順 2 ワンタッチボタン番号の選択から繰り返してください。

ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。



●ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録するときダイヤル回線をお使いの場合は必ず最初に＊（トーン）ボタンを押してください。

●番号の種別
ワンタッチダイヤルに電話番号を登録するとき、その番号がどういった種類の番号か登録することができます。登録された内容は電話帳リストにプリントされ、種別が一目でわかって便利です。

●数字を入れ間違えたときは、矢印ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい数字を上から入力します (上書き)。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

●文字の入力のしかたについては P. 15 をご参照ください。

間違えないでください

電話番号を間違って登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 101 をプリントして確認してください。

おぼえておきましょう ● 1 つのワンタッチボタンにはワンタッチダイヤルかグループダイアル P. 55 どちらかしか登録できません。



こんなときは……
★ダイヤルのしかたは P. 47 を参照してください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

電話帳を作成する -2

短縮ダイヤルを登録する

電話番号と相手先名称を、ワンタッチダイヤルとは別に 2 桁の短縮番号 00 ～ 99 の 100 箇所に登録することができます。

1. 機能 ア① ナJKL⑤ カABC② を押します。　タンシュクダ゛イヤル？＊
2. ①～#（ダイヤルボタン）で登録する短縮番号を入力します。※1　＊05:
3. セット を押します
4. 相手先の電話番号を入力し セット を押します。※2　ナマエ:
5. 相手先の名前を入力し セット を押します。※3　シュベ゛ツ:デ゛ンワ
6. ◀▶ での種別を選び、セット を押します。※4　ウケツケマシタ
7. 続けて登録するときは手順 2 から続けます。
8. 停止 を押して操作は終了です。

■短縮ダイヤルを変更するには
1. 上記手順 1、2 で変更する短縮ダイヤルを表示させせます。
2. 登録されている内容が表示されたら「ﾍﾝｺｳ；1 ｽﾙ　.2 ｼﾅｲ」と表示されますので ア① を押します。
3. 上記手順 4 から繰り返してください。
変更しない場合はそのまま セット を押して次の項目に進みます。
4. 変更が受け付けられたら最後に 停止 ボタンを押します。

●短縮ダイヤルに登録してある電話番号は「電話帳 / 短縮」ボタンを押し、＊ボタンを押した後 00 ～ 99 の 2 桁の短縮番号を押すだけでダイヤルできます。

※1●すでに短縮ダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

※2●電話番号は 20 桁まで登録できます。
カッコは登録できません。

●スペースを入力するには、「→」ボタンを押します。

※3●名前は 15 桁まで登録できます。

●文字入力のしかたについては P. 15 を参照してください。

※4●番号の種別は下記の 3 種類から選択できます。
・ファクス
・デンワ
・ファクス／デンワ



間違えないでください

電話番号を間違って登録しますと自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 101 をプリントして確認してください。



こんな時は……
★短縮ダイヤルを忘れてしまったときはダイヤルリストをプリントします。
P. 101 を参照してください。

電話帳を作成する -3

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、最大６つまで１グループとしてワンタッチボタン１～８に登録できます。グループダイヤルとして登録し、順次同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。

1. 機能 ア① ナJKL⑤ サDEF③ を押します。
2. ワンタッチボタン で登録するワンタッチボタンを選択します。 ※１
3. テンキー でグループ番号を入力し セット を押します。
（グループは 01 ～ 06 の６つまで登録できます。） ※２
4. グループに登録するワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを入力し セット を押します。 ※３
5. グループ名を入力し セット を押します。 ※４
6. 停止 を押して操作は終了です。

グﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ :GO

G01:

ﾅﾏｴ:

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

■グループダイヤルを変更するには
1. 上記手順 1.2 で変更するグループダイヤルを表示させます。
2. 登録されている内容が表示されたら「ﾍﾝｺｳ；1 ｽﾙ．2 ｼﾅｲ」と表示されますので ア① を押します。
3. 上記手順４から繰り返しワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを入れ直してください。変更しない場合は セット を押し次の項目に進みます。
4. 変更が受け付けられたら最後に 停止 ボタンを押します。

●グループダイヤルを登録する前にワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録してください。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

※１ ●ワンタッチダイヤルの５～８に登録するときは「ｼﾌﾄ」ボタンを押したままワンタッチボタンを押してください。
【例】
ワンタッチダイヤルの７に登録するときは「ｼﾌﾄ」ボタンを押したままワンタッチボタンの３を押してください。

※１ ●すでにグループダイヤルが登録されているワンタッチボタンに登録するときは下記の「グループダイヤルを変更するには」を参照してください。

※２ ●すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ﾔﾘﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

※２ ●１つのグループダイヤルには、最大 107 箇所まで登録でき、15 文字までの名前が登録できます。
グループダイヤルは６グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を１度に指定することができます。

※３ ●ワンタッチダイヤルは、登録するワンタッチボタンを、短縮ダイヤルは、「電話帳／短縮」ボタンを押した後に２桁の番号を入力します。

※４ ●グループ名は 15 文字まで登録できます。文字入力のしかたについては P. 15 を参照してください。



●グループダイヤルとして使用されているワンタッチボタンをさらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

１つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

間違えないでください

電話番号を間違って登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 101 をプリントして確認してください。

おぼえておきましょう ●取引先別、部署別等でグループ分けすると便利です。



こんなときは…
★登録したグループがわからなくなったときはダイヤルリストをプリントします。P. 101 を参照してください。

ファクスを便利に送信する -1

本機からの送信の特長

本機は原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらから送信するのか選択できます。また、送信するときに各種設定の組み合わせができます。各種設定（送付書添付、送付書のコメント選択、濃度、画質、海外送信モード、タイマー送信、リアルタイム送信）がされると、ディスプレイは右記の表示となります。

他にも設定する場合は ア1 を押してください。ディスプレイは「ｿｳｼﾝｾｯﾃｲ」のメニューになります。設定しない場合は カABC2 を押して次の手順へ進んでください。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

メモ

画質を選択する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定し送信します。
通常の原稿を送信するときには「標準」モードに設定されていますので、特にこの設定をする必要はありません。
ファクス画質 ボタンを押すごとに右図のようにモードが変わります。

Color Fax
ファクス画質
写真モード
ファイン

●操作パネル上のインジケーターは選択されているモードが点灯します。標準モードのときは点灯しません。

●標準モード
大きくはっきり見える文字のとき

●ファインモード
小さな文字のとき
送信スピードは「標準」モードよりも遅くなります。

●写真モード
写真原稿のとき
送信スピードは「ファイン」モードよりも遅くなります。

●カラーファクスモード
カラー原稿のとき
送信スピードは「写真」モードよりも遅くなります。

メモ

- ●「標準」モードに比べ、「ファイン」、「写真」、「カラーファクス」モードで送ると送信時間が長くかかります。
- ●「写真」モードの送信で相手機が「標準」モードしかない場合は、画質が劣化します。
- ●「カラーファクス」モードで送信しようとしても、相手機が「カラーファクス」モードに対応していないときはモノクロで送信されます。
- ●画質モードの設定は1回の送信が終わると自動的に「標準」モードに戻ります。

おぼえておきましょう ●画質はスーパーファインモードにも設定できます。
P. 59 の「ページごとに画質を設定する」を参照してください。

こんなときは
★写真と文字が混在する原稿の場合は P. 59 を参照してください。

ファクスを便利に送信する -2

ページごとに画質を設定する 《カラーファクスモードでは使用できません。》

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2.機能 ア1 サDEF3 タGHI4 を押します。

4.ｶﾞｼﾂﾓｰﾄﾞ

3.1 ﾍﾟｰｼﾞ目の画質を ◀ ▶ で選択し セット を押します。

4.2 ﾍﾟｰｼﾞ目以後も同様に設定します。 ※1

ﾍﾟｰｼﾞ01:ﾌｧｲﾝ

5. すべてのﾍﾟｰｼﾞの設定が終わったら 停止 を押します。

6. 他の設定を続ける時は ア1 を、

終了するには カABC2 を押します。

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

7. 相手先の番号を入力して スタート を押します。※2

●1ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときなど、ページごとに画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

※1●画質モードを選びます。

●標準モード
　大きくはっきり見える文字のとき
●ファインモード
　小さな文字のとき
●スーパーファイン（S.ﾌｧｲﾝ）モード
　新聞のように細かい文字のとき
●写真モード
　写真を含む原稿のとき

●ファクス送信されたあと画質モードは自動的に標準モードにもどります。

メモ

※2 スタートボタンを押すと…

● ADF に原稿がセットされている場合は送信が始まります。

●原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は原稿が読み取られます。次の原稿がある場合は原稿台ガラスにセットして、「ｾｯﾄ」ボタンを押し、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押すと送信が始まります。

カラーファクスをする

本機ではカラーでファクスを送信することができます。
（相手先がカラーファクスの時のみカラーで送信されます。）

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2. ファクス画質 を押して「カラーファクスモード」にします。

●操作パネルの解像度表示ランプの Color Fax が点灯します。

3. 相手先の番号を入力して スタート を押します。

●カラーファクス送信時はメモリーに読み込まれずに送信します。

●モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合はすべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。

●原稿台ガラスからカラーファクスを送信する場合は 1 枚ずつ送信してください。

メモ

●ファクス送信されたあと画質モードは自動的に標準モードにもどります。

●相手先のファクスがモノクロの場合はカラーで送信してもモノクロで受信されます。

ご注意ください

カラーファクスはメモリーを使う送信（タイマー送信、デュアルアクセス、ポーリング送信）ができません。

おぼえておきましょう ●カラーファクスは送信に時間がかかることがあります。

こんなときは…

★「ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲ」と表示されたときは P. 89 を参照してメモリー内のデータを出力してください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

ファクスを便利に送信する -3

原稿濃度の設定をする

送信するときの原稿濃度を設定します。

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2.（機能）（ア 1）（サDEF 3）（サDEF 3）を押します。

3.（◀）（▶）で原稿濃度を選択し（セット）を押します。※1

4.他の設定を続ける時は（ア 1）を、終了するには（カABC 2）を押します。

ゲンコウノウド：フツウ

ホカノ セッテイ？

1.スル 2.シナイ

※1 ●フツウ……常に普通の文字の原稿が多いときに設定します。

●ウスク……常に濃い色の原稿が多い場合に設定します。

●コク……常にえんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。



●ファクス送信されたあと原稿濃度は自動的に「フツウ」にもどります。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

おぼえておきましょう ●原稿濃度を濃く設定すると全体に黒っぽくなることがあります。



こんなときに……

★相手先から「原稿が読みにくい。」と言われたら調整してみてください。

ファクスを便利に送信する -4

送付書を付けて送信する

相手先の名前、電話番号、発信元データや通信日時などが記載された送付書を、自動的に原稿と一緒に送信することができます。

■送付書送信の設定のしかた

1. ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. 機能 ①ア ③サDEF ①ア を押します。
3. ◀ ▶ で選択し セット を押します。 ※１
4. コメントを選択し セット を押します。 ※２
5. 送信枚数（2 桁）を入力し セット を押します。 ※３
6. 他の設定を続ける時は ①ア を、終了するには ②カABC を押します。
7. 電話番号を入力し スタート を押します。

1.ｿｳﾌｼｮ

ｺﾝｶｲﾉﾐ:ON

2.ｵﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ

ﾏｲｽｳ?:02

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

送付書のコメント欄に載せる2種類のオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

■送付書のコメントを登録するには ※４

1. 機能 ①ア ③サDEF ②カABC を押します。
2. ◀ ▶ でコメントを登録する箇所を選び セット を押します。
   - ●コメントは **5** か **6** に登録できます。
3. コメントを入力して セット を押します。※５
4. 他の設定を続ける時は ①ア を、終了するには ②カABC を押します。

2:ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ

5:

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

書式を確認するときは、左記の「送付書送信の設定のしかた」手順 3 で「ﾌﾟﾘﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙ」を選びプリントしてください。

※１ ●手順 3 では以下の 5 つから選択します。

「ｿｳﾌｼｮ :ON」　：毎回送付書を付ける。
「ｿｳﾌｼｮ :OFF」：毎回送付書を付けない。
「ｺﾝｶｲﾉﾐ :OFF」：今回のみ送付書を付けない。
「ｺﾝｶｲﾉﾐ :ON」：今回のみ送付書を付ける。
「ﾌﾟﾘﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙ」：ﾌﾟﾘﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙを出力する。

●「ﾌﾟﾘﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙ」を選んだ場合は「ｾｯﾄ」ボタンを押して「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押します。
●「ｺﾝｶｲﾉﾐ」を選んだ場合は「ｾｯﾄ」ボタンを押して「ON」「OFF」を選択します。
●「ｿｳﾌｼｮ :ON」を選んだ場合は手順 4 へ進んでください。
●「ｿｳﾌｼｮ :OFF」を選んだ場合は手順 6 へ進んでください。
●「ｺﾝｶｲﾉﾐ :OFF」を選んだ場合は手順 7 へ進みます。

※３ ●「ｺﾝｶｲﾉﾐ :ON」を選んだ場合のみ送信枚数の設定ができます。

●送付書の、「TO: 」の名前はあらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで登録されていないと表示されません。また順次同報送信の場合にはこの欄の名前は表示されません。P. 51

※５ ●コメントは 27 文字まで入力できます。文字入力のしかたについては P. 15 を参照してください。

発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと「送付書送信の設定のしかた」ができません。
P. 17 **をごらんください。**



※２
●送付書のコメントについて
下記の 6 種類のコメントから選べます。2 種類のオリジナルコメントが登録できます。

1.（コメント　ナシ）
2. オデンワ　クダサイ
3. シキュウ
4. シンテン
5.（オリジナル　コメント）※４
6.（オリジナル　コメント）

※ 2.3
●送付書の自動送信について
送付書送信を「ON」に設定したときには、送信枚数は送付書にプリントされません。また、選んだコメントは、すべての送付書にプリントされます。

※４
●コメント５または６を入れて送付書を送信したいときは、「送付書送信の設定のしかた」の手順４で、コメント５または６を選択することを忘れないでください。

●コメントを変更したいときは、最初から操作して、再登録してください。

おぼえておきましょう ●送付書のコメントは簡潔に（例　ｺﾞｸﾋ､ｶｲﾄｳ　ｸﾀﾞｻｲ）しておきましょう。

ファクスを便利に送信する -5

同じ原稿を数箇所に送信する〔順次同報送信〕

同じ原稿を、複数の送信先を設定して 1 度に送信させることができます。送信先は、個別に入力されたダイヤル番号 50 箇所と、あらかじめ登録されている、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルを含む最大 158 箇所までを指定できます。

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2. ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルや、電話帳からの検索で送信先を選択します。 ※1
●ダイヤルボタンで普通にダイヤルもできます。

3. セット を押します。

4. 次の送信先を上記手順 2. のように選択します。 ※2

5. セット を押します。

6. すべての送信先を入力したら スタート を押します。

7. 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。 ※3

8. すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートがプリントされ、待機状態に戻ります。

9. 同報送信レポートを確認し、「ｴﾗｰ」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

●短縮ダイヤル、グループダイヤル、電話帳に登録されている送信先はすべて送信できます。

●登録されていない番号も50件まで同時に送信できます。

●グループ送信をするためには、あらかじめグループダイヤルの登録が必要です。
詳細は、P. 55 を参照してください。

※1 ●送信先の入力のしかたについては、P. 47「ダイヤルのしかた」を参照してください。

※2 ●指定した順番に送信されます。

※3 ●送信途中でキャンセルするには「停止」ボタンを押してください。ディスプレイに送信先をキャンセルするかを選択する画面が表示されます。
ディスプレイの表示に従ってください。
すべての送信先をキャンセルしたい場合は 機能 ①④ で通信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。
P. 69



●送信先を間違えたときは、「停止」ボタンを押して最初から入力し直してください。

●この機能はカラーファクスでは利用できません。

●送信できる件数はメモリーの残量によっても制限されます。

●何らかの理由で同報送信が中断された場合でも本機は自動的に再送信を行います。

●送信先を重複して指定したときは、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押すと自動的に重複している部分を削除します。



こんなときは……

★設定中に「ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲ」と表示されたら「停止」ボタンを押して中止するか「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押して登録された分だけ送信してください。

ファクスを便利に送信する -6

原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2.（機能）（1）（3）（8）を押します。

3.◀▶で選択して（セット）を押します。※1

4. 他の設定を続ける時は（1）を、終了するには（2）を押します。

5. 相手先の番号を入力して（スタート）を押します。

8.リアルタイム ソウシン

ウケツケマシタ

ホカノ セッテイ?

1.スル 2.シナイ

急いで送信したいときや、送信している相手先を確認したいときに便利です。また、メモリーに送信待ち原稿がたくさんある場合にリアルタイム送信で優先して原稿を送信できます。

※1 ●手順3では以下の3つから選択します。
「リアルタイム ソウシン :ON」:
「リアルタイム ソウシン :OFF」:
「コンカイノミ」:
「コンカイノミ」を選んだ場合は「セット」ボタンを押して「コンカイノミ :ON」「コンカイノミ :OFF」を選択します。



●原稿はメモリーに蓄積されません。指定できる相手先は 1 件です。

●原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は 1 枚のみしか送信できません。

●カラーファクスでは常にリアルタイム送信を行います。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「ON」に設定してから送信を行うと、通信エラーになることが少なくなります。

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2.（機能）（1）（3）（5）を押します。

3.◀▶で「ON」を選択して（セット）を押します。

4. 他の設定について（1）「スル」か（2）「シナイ」を押します。

5. 相手先をダイヤルし（スタート）を押します。

5.カイガイソウシン モード

ウケツケマシタ

●海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は、手動送信で相手の「ピー」という音を聞いてから「スタート」ボタンを押して送信してみてください。



●海外送信モードは 1 回の送信が終了すると自動的に「OFF」にもどります。

●海外送信モードを「ON」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

おぼえておきましょう ●本機は通常、メモリー送信をしています。

ファクスを便利に送信する -7

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24 時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1. ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. 機能 ア1 サDEF3 ハMNO6 を押します。
3. 送信時刻を入力して セット を押します。 ※1
4. 他の設定を続ける時は ア1 を、終了するには カABC2 を押します。
5. 相手先の番号を入力して スタート を押します。

6.ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ｼﾃｲｼﾞ ｺｸ=15:25
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

※1 ●入力する時刻は 24 時間制で入力してください。



●タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。

●メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容に影響されます。

●この機能はカラーファクスでは利用できません。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読みこまれているタイマー送信用のメッセージの中から、同一の相手先ごとにまとめてタイマー設定された時間に、1 回の通信で送信することができます。

1. 機能 ア1 サDEF3 ラWXYZ9 を押します。
2. ◀ ▶ で「ON」を選択して セット を押します。
3. 停止 を押します。

9.ﾄﾘﾏﾄﾒ ｿｳｼﾝ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ



●この機能はカラーファクスでは利用できません。

通信待ち確認・通信待ちファクス解除

メモリー送信の待ち状況を確認し、メモリー送信、タイマー送信のジョブを解除します。

1. 機能 ア1 タGHI4 を押します。
2. 解除する内容を ◀ ▶ で選択し セット を押します。
3. ア1「ｽﾙ」か カABC2「ｼﾅｲ」を押します。
4. 停止 を押します。

4.ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ
ｶｲｼﾞｮ 1:ｽﾙ 2:ｼﾅｲ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

●待機中の設定がないときには「ｾｯﾃｲｶﾞ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」と表示されます。



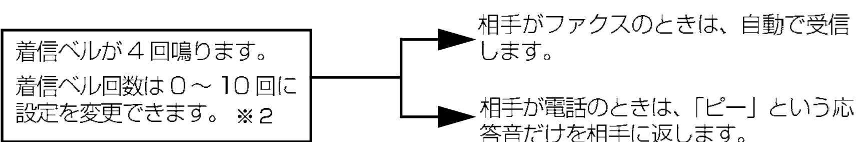
おぼえておきましょう ●本機は通常、メモリー送信をしています。

ファクスを受信する -1

受信モードについて

● FAX モード　「ファクスを自動で受ける」※1

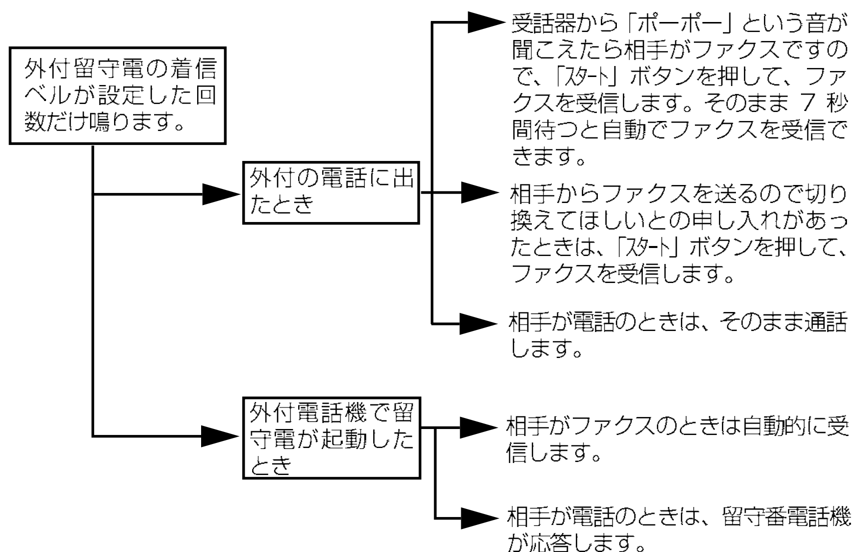
本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。



●外付留守電モード

「ファクスを自動で受けたい、外付けの留守番電話機で電話やメッセージを受けたい」

本機の外付電話機用（EXT.）端子に留守番電話機が接続されていることが前提のモードです。留守中のファクスやメッセージに対応できる受信モードです。P. 19



●マニュアルモード

本機とコンピュータモデムを同じ電話回線で共有してお使いになる場合、また、主に接続した外付電話機を使う場合に適したモードです。

■外付留守番電話機の設定について ※3

1 留守モードにしておいてください。
2 応答するまでのベル回数は短め（1 ～ 2 回）に設定してください。
3 応答メッセージは、最初に 4-5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。
4 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。
5 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

●親切受信を「ON」に設定しておくと，ファクスを自動で受信します。「 OFF 」に設定している場合は、外付電話機で電話に出て、受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押して受信します。

P. 75



※ 1
● FAX モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。外付電話機をお使いになるときは、 FAX モードに設定しないでください。

※ 2
●着信ベル回数は、0 ～ 10 回まで変更することができます。0 回に設定すると着信ベルを鳴らさずに自動受信 (ノンコール着信) することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出ベル回数を 0 回か 1 回に設定してください。(着信ベル回数の設定のしかたは、P. 73 を参照してください。)

※ 3
●メッセージがいっぱいで留守番電話機が自動的に応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。

●留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

ファクスを受信する -2

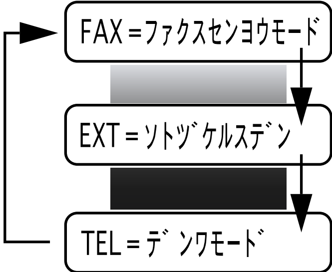
受信モードを選ぶ

本機の使用用途に応じて、受信モードを FAX 専用モード、外付留守電モード、電話モードの中から選びます。また、この選択した受信モードは、ディスプレイに日付と時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX 専用モード」に設定してあります。

受信モード	本機の使用目的	受信モード表示
FAX専用モード	ファクスとして使いたい。（ファクスを自動で受ける）	FAX
外付留守電モード	ファクスを自動で受けたい、外付の留守番電話機で電話やメッセージを受けたい。	EXT
電話モード	同じ電話回線でコンピュータモデムを使いたい。または、主に接続した外付電話機を使いたい。（ファクスを手動で受ける）	TEL

1. 受信モード でモードを選択します。

2. 停止 を押して操作は終了です。



●「受信モード」ボタンを押すことで「ファクス」→「ソトズケルスデン」→「デンワ」と表示が変わります。



●メモリー代行受信について
・用紙がなくなったとき
「キロクシ　カクニン」と表示
・インクカートリッジがなくなったとき
「インク ギレ」と表示
・用紙が詰まったとき
「キロクシ ツマリ」と表示
送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します（メモリー代行受信）。
ディスプレイの指示に従い処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的にプリントします。プリントされたファクスはメモリーから消去されます。
メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

着信ベル回数の設定をする

「FAX 専用モード」のとき、自動受信するまでの着信ベル回数を設定します。

1. 機能 1 2 1 を押します。
2. ◀ ▶ でベル回数を選択します。※1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

1.チャクシン ベルカイスウ

ベル カイスウ：10

ウケツケマシタ

※1 ●着信ベル回数は 10回まで設定できます。着信ベル回数を 0 回に設定すれば、着信ベルを鳴らさずファクス受信することができます。

●お買い上げ時は4回に設定されています。



●「FAX 専用モード」のとき、外付電話機や並列接続された電話機の着信ベルも同様に、ここで設定された回数だけ着信ベルが鳴ります。

おぼえておきましょう ●ファクス専用機としてご利用の場合は着信ベル回数を「0」か「1」にしてご利用になるとすばやく着信します。

こんなときは……
★着信ベルの音量を設定するには P. 39

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

ファクスを受信する -3

親切受信で受信する

相手から自動送信でファクスが送られてきた場合、本機が自動受信を開始する前に外付電話機をとってしまったときでも、何も操作しなくてもファクスを受信できる便利な機能です。
お買い上げ時は、「OFF」に設定してあります。

1. 機能 ア1 カABC2 カABC2 を押します。
2. ◀▶ で選択します。
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

2.シンセツ ジュシン
シンセツジュシン:ON
ウケツケマシタ

外付電話機に出て「ポー、ポー」という音が聞こえた場合は、黙って約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。ディスプレイに「ジュシン」と表示されたら受話器を戻します。 ※1



※1
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り換わらないときがあります。そのときは「スタート」ボタンを押してください。
- 通話中の声をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り換わってしまうことが度々あるときは、親切受信の設定を「OFF」に設定してください。
- 親切受信の設定が「OFF」に設定してある場合でも、外付電話機から操作をしてファクス受信を開始させることができます。P. 77

おぼえておきましょう ●外付電話を接続したらこの機能は大変便利です。



どんなときに使うの？
★本機に外付電話機を接続してファクス、電話兼用機としてご使用の場合に設定するのが一般的です。

ファクスを受信する -4

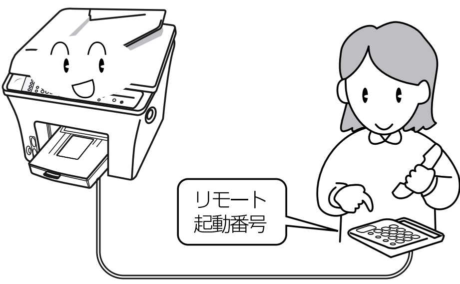
外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕

親切受信がうまくはたらかないか、設定が OFF になっているときに本機に接続されている外付電話機から操作をしてファクス起動を開始させることができます。

リモート起動番号について

本機の「EXT.」端子に接続されている外付電話機から、本機をリモート起動させるときに使用するものです。**お買い上げ時は「#51」**に設定されています。

1. 外付電話機の受話器を持ったまま「ﾀﾞｲﾔﾙ」ボタンでリモート起動番号「＃ 51」を入力します。受話器は約 5 秒後に戻します。
2. 本機がファクス受信を始めます。



●リモート起動設定のしかた

リモート起動を使用するときは、リモート起動設定を「ON」にする必要があります。下記の手順で設定してください。また、リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することもできます。

1. 機能 ア1 カABC2 サDEF3 を押します。 　3.ﾘﾓｰﾄ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
2. ◀ ▶ で「ON」を選択し、セット を押します。 　ﾘﾓｰﾄ ｷﾄﾞｳ:ON
3. リモート起動番号が表示されます。※ 1 　ｷﾄﾞｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:#51
4. セット を押します。 　ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
5. 停止 を押して操作は終了です。

※ 1 ●リモート起動番号（3 桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで入力します。

●変更しないときは次に進みます。

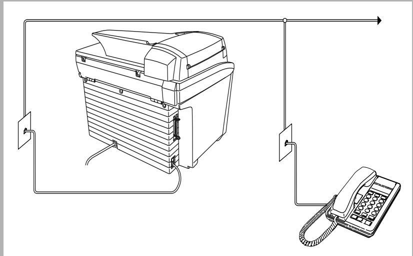


● この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。

●外付電話機の接続方法は P. 19 を参照してください。

●並列接続ではリモート起動は行えません。

●並列接続とは、別の電話機（またはファクシミリ）を同じ回線上の別の電話機コンセントに接続する電話のひき方です。（下図参照）



ファクスを受信する -5

自動的に縮小受信する

A4 サイズ以上の原稿が送信されてきたときは、A4 サイズの用紙に入りきらず 2 枚に分かれてしまうため、自動的に A4 サイズの用紙に収まるように縮小してプリントする機能です。

●お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1. 機能 ア1 カABC2 タGHI4 を押します。
   4.ジドウ シュクショウ
2. ◀▶ で選択します。
   ジドウ シュクショウ:ON
3. セット を押します。
   ウケツケマシタ
4. 停止 を押して操作は終了です。

●送信原稿の長さに応じ自動的に縮小率を決め、約 355mm までの原稿を 1 枚に縮小受信します。約 355mm を超えた原稿は縮小せずに2枚に分けて受信します。



●自動縮小受信しない「OFF」に設定したときに受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小受信する「ON」に設定してください。

●原稿の長さは目安です。
回線の状況によって変わります。

●メモリー残量が少ないときや、原稿が複雑な場合は自動縮小されない場合があります。

ポーリング　相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕

ポーリング送信の設定

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2.（機能）（ア 1）（サDEF 3）（マPQRS 7）を押します。

3.◀ ▶ で「ヒョウジュン」を選択して（セット）を押します。

4. 他の設定を続けるときは（ア 1）を、
終了するには（カABC 2）を押します。

5.（スタート）を押すと原稿がメモリーに読み込まれます。

7.ポーリングソウシン
ウケツケマシタ
ホカノ セッテイ?
1.スル 2.シナイ
スタートヲ オシテクダサイ

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリのメモリーに入っている原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が送信側のときはポーリング送信といいます。※1

機密ポーリング送信の設定

機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と 4 桁のパスワードを決めます。

1.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

2.（機能）（ア 1）（サDEF 3）（マPQRS 7）を押します。

3.◀ ▶ で「キミツ」を選択して（セット）を押します。

4.4 桁のパスワードを入力して（セット）を押します。※2

5. 他の設定を続けるときは（ア 1）を、
終了するには（カABC 2）を押します。

6.（スタート）を押すと原稿がメモリーに読み込まれます。

7.ポーリングソウシン
ポーリング:XXXX
ウケツケマシタ
ホカノ セッテイ?
1.スル 2.シナイ
スタートヲ オシテクダサイ

受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用してポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする機密ポーリング送信を行うことができます。

※2 ●パスワードを忘れてしまったときは再度設定しなおしてください。



※1
●相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。

●ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートがプリントされ送信結果を知らせてくれます。

●カラーファクスはポーリング送信できません。

おぼえておきましょう ●ポーリング通信の場合、通話料は受信側の負担となります。

ポーリング　本機の操作で相手の原稿を受信する〔ポーリング受信〕

ポーリング受信の設定

1. 機能 ア① カABC② ナJKL⑤ を押します。
2. ◀ ▶ で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択し セット を押します。
3. 相手先の電話番号を入力して スタート を押すと受信を開始します。

5.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が受信側のときポーリング受信といいます。ポーリング方式のファクス情報サービスも一種のポーリング受信です。



●相手先のファクスにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。
●相手先のファクスがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

機密ポーリング受信の設定

1. 機能 ア① カABC② ナJKL⑤ を押します。
2. ◀ ▶ で「ｷﾐﾂ」を選択し セット を押します。
3. 4 桁のパスワードを入力し セット を押します。※１
4. 相手先の電話番号を入力して スタート を押すと受信を開始します。

5.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ :XXXX

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用して受信する機密ポーリング受信を行うことができます。

※１ ●機密ポーリング受信を設定するときには、送信側と 4 桁のパスワードを決めます。
送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。
●パスワードを忘れてしまったときは再度設定しなおしてください。



●本機に原稿がセットされていないことを確認してから行ってください。

時刻指定ポーリングの設定 〔タイマーポーリング〕

1. 機能 ア① カABC② ナJKL⑤ を押します。
2. 「ﾀｲﾏｰ」を選択し セット を押します。
3. ダイヤルボタン で指定時刻を入力し セット を押します。※１
4. 相手先の電話番号を入力して スタート を押します。※２

5.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

ｼﾃｲｼﾞｺｸ＝19:45

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクスにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

※１●指定時刻は24時間制で入力してください。

※２●指定時刻になると自動的にポーリング受信します。



●本機に原稿がセットされていないことを確認してから行ってください。

●時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P. 69 の「通信待ち確認・送信待ちファクスの解除」を参照してください。

電話呼び出し機能とファクス転送 -1

電話呼び出し機能とファクス転送について

本機のメモリー受信機能を「ON」に設定すると受信したファクスをメモリーに蓄積することができます。ファクスメッセージがメモリーに記憶されると、外出先の電話に知らせる（電話呼び出し機能）か、ファクスメッセージを転送（ファクス転送）することができます。

◆電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

●電話呼び出し機能とファクス転送について

●電話呼び出し機能がどのようにはたらくか

ファクスを受信します。

ファクスメッセージをメモリーに記憶します。

登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルします。

電話に出ると、「ポッポッ」という音でメッセージが記憶されたことを知らせます。

●ファクス転送がどのようにはたらくか

留守中にファクスを受信します。

ファクスメッセージをメモリーに記憶します。

登録したファクス転送番号にダイヤルします。

メモリーに記憶したファクスメッセージを転送先のファクシミリに送信しま

電話呼び出し機能とファクス転送を使用するにはメモリー受信を「ON」に設定する必要があります。P. 89を参照してください。

◆電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は外出先から変更することはできません。

◆ファクス転送先の電話番号は外出先から変更することができます。P. 94



おぼえておきましょう ●他の場所で本機に送信されたメッセージを受信できます。

電話呼び出し機能とファクス転送 -2

電話呼び出し機能とファクス転送を設定する

ファクス転送を働かせたい場合は、下記の手順で「ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ」を選び、転送先番号を登録してください。その後、メモリーにファクスメッセージが記憶されると自動的にファクス転送を始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

●ファクス転送の設定と転送先番号を登録する

1. 機能 ア 1 マPQRS 7 ア 1 を押します。　［1.ﾃﾝｿｳ］
2. ◀ ▶ で「ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ」を選択します。　［ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ］
3. セット を押します。　［ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ #:］
4. 転送先番号を入力して セット を押します。※1　［ｳｹﾂｹﾏｼﾀ］
5. 停止 を押して登録と設定は終了です。

●電話呼び出し機能の設定と呼び出し先番号を登録する

電話呼び出し機能をはたらかせたい場合は、下記の手順で「ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ」を選び、呼び出し先番号を登録してください。その後、メモリーにファクスメッセージが記憶されると自動的に電話呼び出しを始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

1. 機能 ア 1 マPQRS 7 ア 1 を押します。　［1.ﾃﾝｿｳ］
2. ◀ ▶ で「ﾃﾞﾝﾜﾖﾋﾞﾀﾞｼ」を選択します。　［ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ］
3. セット を押します。　［ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ#:］
4. 呼び出し先番号を入力して セット を押します。※2　［ｳｹﾂｹﾏｼﾀ］
5. 停止 を押して登録と設定は終了です。

●電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

●ファクス転送先の電話番号は外出先から変更することができます。

※1 ●転送先と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。

●転送先は最大 20 桁まで入力できます。

●電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は外出先から変更することはできません。



●ファクス転送が終了すると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。

●送付書送信の設定 P. 63 が「送付書を付加する（ON)」に設定されていても、ファクス転送時は送付書は付加されません。

●メモリーにファクスを受信後、ファクス転送の設定を「ON」にしてもファクスは転送されません。

●電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせます。外出先のファクスからリモコンアクセスコードを使用してファクスメッセージを取り出すことができます。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定する

メモリー受信を「ON」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積すると共にプリントアウトします。また、電話呼び出し機能・ファクス転送機能 P. 87・リモコンアクセス P. 91 が使用できます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

1. 機能 ア1 マPQRS7 カABC2 を押します。
2. ◁▷ で選択します。
3. セット を押します。
4. 停止 を押して設定は終了です。

2.ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝ
ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝ:ON
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

●メモリー受信は最大60件までできます（ただしメモリー残量によります）。

●用紙がないとき、メモリー受信の設定が「メモリー受信しない（OFF)」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。

●メモリー受信を「ON」に設定すると、カラーファクスは受信できません。



●メモリー受信したファクスが蓄積されているとき「メモリー受信しない（OFF)」に設定すると「ﾌｧｸｽｼｮｳｷｮ? 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ」が表示されます。ダイヤルボタン「1」を押すとまだ一度もプリントされていないファクスメッセージがすべてプリントされた後、メモリーから内容が消去されます。

●メモリー受信を「ON」に設定してもメモリー受信ができなくなったときは、受信用メモリがいっぱいです。メモリー受信の設定を「メモリ受信しない（OFF)」に設定して、メモリーからファクスメッセージを消去してください。

メモリーに入ったファクス出力のしかた

メモリー受信の設定がONに設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスをプリントアウトするとともに、メモリーから消去します。

1. 機能 ア1 マPQRS7 タGHI4 を押します。
3. スタート を押すとプリントを開始します。
4. プリント終了後 停止 を押します。

4:ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ
ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ



●メモリーに何も蓄積されていないとディスプレイに「ﾃﾞｰﾀｶﾞｱﾘﾏｾﾝ」と表示されますので「停止」ボタンを押してください。

外出先から本機を操作する〔リモコンアクセス〕-1

リモコンアクセスについて

外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている､またトーン(PB)信号が送出できるファクシミリを使い、リモコンアクセスコードやリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

●基本的なリモコンアクセスのしかた

1. 外出先のプッシュ (PB) 回線に接続されている、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。

2. 本機が応答し、約 4 秒間無音状態になりますので、その間にリモコンアクセスコードをダイヤルボタンで入力します。※1

3. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示します。
   - 「ポー」(1 回)：ファクスメッセージを蓄積しています。メモリーに蓄積されていないとき「ポー」という音はしないので、そのまま手順4に進みます。

4. 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンドをダイヤルボタンで入力します。※2
   - 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返しリモコンアクセスコードを入力してください。回線状態などによりリモコンアクセスコードを受けられないことがあります。
   - 1 つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。

5. リモコンアクセスを終了するときは、ダイヤルボタンで ラWXYZ ⑨ 、ワ ⓪ を入力します。

※1 リモコンアクセスコードをいつ入力するのか

●外付留守電モードのとき
外付留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（外付の留守番電話に応答メッセージを録音する際にあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください)。

● FAX 専用モードのとき
本機が応答すると約 4 秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。

●電話モードのとき
呼出ベルが約 35 回鳴るまで待った後約 30 秒無音状態になりますので、この間に入力してください。



※1
●リモコンアクセスコードは、外出先から本機をリモートコントロールさせるための番号です。

※1
●リモコンアクセスコードは、お買い上げ時は「159 *」に設定されていますが、自分専用の番号に変更することにより、本機への接続相手を限定することができます。変更のしかたは、「リモコンアクセスコードの設定のしかた」を参照してください。P. 95

●リモコンアクセスコードを使用するときは、3 桁の数字と「*」を押してください。

※2
●リモコンアクセスコマンドは、いろいろな操作を指示するための番号です。P. 95 リモコンアクセスコマンドの表を参照してください。

●メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。

●トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。

●間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。(正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が 1 回聞こえます)

●「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに 30 秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

外出先からファクスを取り出す〔リモコンアクセス〕-2

リモコンアクセス操作例

●外出先からファクスを取り出すとき

1. 外出先のプッシュ (PB) 回線に接続されている、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。
2. 本機の電話番号をダイヤルします。
3. 本機が応答したら、最初の無音4秒間に 1 5 9 * (リモコンアクセスコード) を入力します。
4. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリーに記憶していることを示しています。
5. 取り出したいファクスメッセージが記憶されているときは、「ピピッ」という音が鳴り終わったときに、9 6 2 を入力します。
6. 続けて外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に # を2回押します。
7. 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。
8. 本機からファクスが転送されます。

※1

- ＊や＃は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、＃を1回押します。＃を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順3の操作を行ってください。

●外出先からファクス転送番号を変更したいとき

1. 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されている、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。
2. 本機の電話番号をダイヤルします。
3. 本機が応答したら、最初の無音4秒間に 1 5 9 * (リモコンアクセスコード) を入力します。
4. 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、9 5 4 を入力します。
5. 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力します。
   - 転送番号は最大20桁まで入力できます。
6. 新しい転送番号の入力が終わったら、# を2回押します。
7. 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、9 6 1 を入力します。
8. 続けて外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に # を2回押します。※1
9. 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。
10. 本機からメモリー使用状況リスト P. 102 が転送されます。リストを見て、新しい転送番号が正しく入力されているか確認します。
11. 転送番号が間違っているときは、最初からやり直します。転送番号が正しければ、本機はファクス転送を行う準備が整っています。
    - 転送番号を登録すると、自動的にファクス転送が ON になります。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

外出先からファクスを取り出す〔リモコンアクセス〕-3

リモコンアクセスコードの設定

外出先から本機をリモートコントロールするリモコンアクセスコード（3 桁の数字と＊）を設定します。お買い上げ時は「159 ＊」に設定されています。

1. 機能 ア1 マPQRS7 サDEF3 を押します。

2. ダイヤルボタンで新しいリモコンアクセスコードを入力します。【例】 160 ＊に設定するとき

3. セット を押します。

4. 停止 を押して設定は終了です。

3.ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ

ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ:160*

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ



●リモコンアクセスコードは「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の＊は変えることができません。また、01 ＊、02 ＊などは設定できません。

リモコンアクセスコマンド

リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機を下記のようにリモートコントロールすることができます。

機　　能	コマンド
電話呼び出し、ファクス転送の設定をOFFにします。	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません。）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません。）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、#を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定がＯＮになります。	954
メモリー受信をONに設定します。	956
メモリー受信をOFFに設定します。	957
メモリー使用状況リストを取り出します。	961

機　　能	コマンド
メモリーが記憶したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーが記憶したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「ｿﾄﾂﾞｹﾙｽﾃﾞﾝ」モードに変更します。	981
受信モードを「ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ」モードに変更します。	982
リモコンアクセスを終了します。	90

レポートの作成 -1

レポートとリストの種類

1. 送信レポート
●送信後に送信結果をプリントします。お買い上げ時は OFF ＋イメージに設定してあります。

1. ソウシン レポート

2. 通信管理レポート
●送信・受信した最新の合計 50 通信分の結果をプリントします。

2.ツウシン カンリ レポート

3. ダイヤルリスト
●ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録された内容をプリントします。

3.ダイヤル リスト

4. 電話帳リスト
●ダイヤルリストを 50 音順・アルファベット順にプリントします。

4.デンワチョウ リスト

5. 機能案内リスト
●簡単操作リストをプリントします。

5.キノウアンナイ

6. 設定内容リスト
●各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。

6.セッテイナイヨウ リスト

7. メモリー使用状況リスト
●使用されているメモリー量などメモリーの使用状況をプリントします。

7.メモリ シヨウジョウキョウ

8. 消耗品シート
●インクカートリッジなどの消耗品をファクスでご注文頂くためのオーダーシートをプリントできます。

8.ショウモウヒン シート

■自動的にプリントされるレポート

●タイマー通信レポート
タイマー通信が終了するとプリントされます。
●ポーリングレポート
ポーリング送信が終了するとプリントされます。
●同報送信レポート
順次同報送信が終了するとプリントされます。

電源を抜くときのご注意
電源を抜くと管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

送信レポートをプリントする

ファクス送信後に送信レポートをプリントするかしないかを設定します。

1. 機能 ア1 ハMNO6 ア1 を押します。
2. ◀ ▶ で選択します。 ※ 1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して設定は終了です。

1. ソウシン レポート

ソウシン:ON

ウケツケマシタ

※ 1●「ON」
送信後に毎回自動的にプリントします。

●「ON ＋イメージ」
「ON」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。

●「OFF」
通信エラーが発生したときや上手く送信できなかったときに、自動的にプリントします。

●「OFF ＋イメージ」
「OFF」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。



●お買い上げ時は、「OFF ＋イメージ」に設定してあります。

●リアルタイム送信時には画像は出力されません。

レポートの作成 -2

通信管理レポートをプリントする

送受信した最新の合計 50 通信分の通信結果をプリントします。

■すぐに通信管理レポートをプリントするとき

1. 機能 ア1 ハMNO6 カABC2 を押します。
2. ◁ ▷ で「ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾘｽﾄ」を選択します。
3. セット を押し スタート を押します。
4. プリント終了後 停止 を押して終了です。

2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

■通信管理レポートの出力間隔を設定してプリントするとき

1. 機能 ア1 ハMNO6 カABC2 を押します。
2. ◁ ▷ で「ｼｭﾂﾘｮｸ　ｶﾝｶｸ」を選択します。
3. セット を押します。
4. ◁ ▷ で間隔を選択し セット を押します。※1
5. ◁ ▷ で曜日を選択し セット を押します。
6. 開始時間を入力し セット を押します。※2
7. 停止 を押して操作は終了です。

2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
ｼｭﾂﾘｮｸ ｶﾝｶｸ
ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ
ｹﾞﾂﾖｳﾋﾞ ｺﾞﾄ
ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ:00:00
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

●通信管理レポートの出力間隔は好みの間隔に設定できます。

※1●出力間隔は、
OFF/1 時間ごと /3 時間ごと /
6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと
2 日ごと /4 日ごと /7 日ごとに設定することができます。

●お買い上げ時の設定は、プリントしない「OFF」です。

● OFF に設定したときは、必要なときに「ﾌﾟﾘﾝﾄﾘｽﾄ」を選ぶとすぐにプリントすることができます。

※1●「7 日ごと」以外に設定したときは、「ｾｯﾄ」ボタンを押し手順 6 に移ります。

※2●「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」以外に設定したときは、開始時間を基準にしてプリントします。

●定期的にレポートを出力しない（「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」）に設定したときは、「ｾｯﾄ」ボタンを押し手順 7 に移ります。



レポートの作成 -3

各種リスト、消耗品オーダーシートのプリントのしかた

■ダイヤル登録をプリントする〔ダイヤルリスト〕

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録された内容をプリントします。

1. 機能 ア1 ハMNO6 サDEF3 を押します。

3.ダ イヤル リスト

2. スタート を押します。

プ リント チュウ

3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

■ダイヤルリストを50音順にプリントする〔電話帳リスト〕

ダイヤルリストを50音順・アルファベット順にプリントします。

1. 機能 ア1 ハMNO6 タGHI4 を押します。

4.デ ンワチョウ リスト

2. スタート を押します。

プ リント チュウ

3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

●相手先名称の登録されていないワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルやグループダイヤルは、
「アイテサキ　メイショウ」の欄が空欄になり、リストの最後にプリントされます。

■簡単操作シートをプリントする〔機能案内リスト〕

簡単操作のリストをプリントします。

1. 機能 ア1 ハMNO6 ナJKL5 を押します。

5.キノウアンナイ

2. スタート を押します。

プ リント チュウ

3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

■登録・設定状況をプリントする〔設定内容リスト〕

各種機能に登録･設定されている内容を確認するときにプリントします。

1. 機能 ア1 ハMNO6 ハMNO6 を押します。

6.セッテイナイヨウ リスト

2. スタート を押します。

プ リント チュウ

3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

■メモリーの使用状況をプリントする〔メモリー使用状況リスト〕

メモリー使用状況リストはメモリー送信、タイマー送信、ポーリング送信待機中などで使用されているメモリー量と使用可能なメモリーがパーセントで表示されます。また、メモリー受信したファクスメッセージの総数が確認できます。

1. 機能 ア1 ハMNO6 マPQRS7 を押します。

7.メモリ シヨウジ ョウキョウ

2. スタート を押します。

プ リント チュウ

3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

■消耗品オーダーシートをプリントする〔消耗品シート〕

インクカートリッジなどの消耗品をファクスでご注文いただくためのオーダーシートをプリントします。

1. 機能 ア1 ハMNO6 ヤTUV8 を押します。

8.ショウモウヒン シート

2. スタート を押します。

プ リント チュウ

3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

コピーをする

本機のコピー機能について

●本機には以下のコピー機能が備わっています。ご利用目的にあわせてお使いください。

● ADF（自動原稿送り装置）を使用して、連続コピーをすることができます。……………… P. 105
●拡大・縮小コピーができます。……………………… P. 107
●高品質なカラーコピーがとれます。………………… P. 111
●大きなポスターが作れます。………………………… P. 114
●ソートコピー・スタックコピーができます。……… P. 114
●はがきへのコピーができます。……………………… P. 115

コピーが禁じられています。!!

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

●法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
・未使用の郵便切手や官製ハガキ
・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●著作権のある物
・著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁止されています。

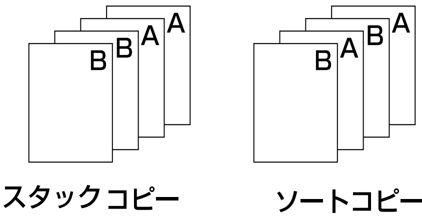
●その他の注意を要する物
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
・政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

原稿を ADF（自動原稿送り装置）もしくは原稿台ガラスにセットしてコピーします。

●特に濃い、または薄い文字の原稿をコピーするときは、原稿濃度を変更してからコピーしてください。

●原稿のセットのしかたは P. 27 を参照してください。

●複数部のコピーには、スタックコピーとソートコピーの２通りがあります。



スタックコピー　　ソートコピー

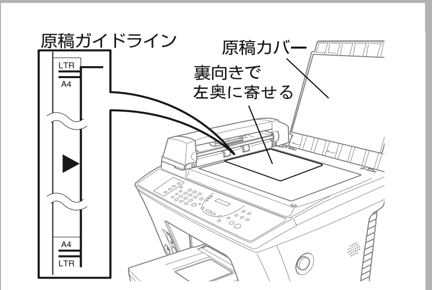


●コピー（特にカラーの場合）をする場合は用紙の選択が品質に大きな影響を与えます。当社の推奨紙をお使いください。用紙の詳細 P. 7

●コピーの読みとり範囲の詳細は P. 42 を参照してください。

●通常、コピー用紙は A4 サイズをお使いください。はがきにコピーするときは「ｵﾌﾟｼｮﾝ」ボタンで設定が必要です。P. 115 を参照してください。

● ADF（自動原稿送り装置）からコピーできる原稿サイズは A4 のみです。B5 原稿を ADF から読み込んで、B5 用紙にコピーすることはできません。
B5 原稿を B5 用紙にコピーする場合は、原稿台ガラス面の奥側の A4 原稿ガイドラインに、B5 原稿の上端を合わせてコピーしてください。





こんなときは……

★用紙のセットのしかたがわからないときは P. 5

コピーをする -1

ADF を使ってコピーをする

1.ADF に原稿をセットします。

2. (カラーコピー) か (モノクロコピー) を押します。

コピー マイスウ:01

3. 枚数を入力し (カラーコピー) か (モノクロコピー) を押します。※1 ※2

コピーが開始されます。

※1●「コピー」ボタンを押さずにそのまま 5 秒間放置すると、自動的にコピーを開始します。

※2●コピーの枚数は 99 枚まで設定できます。1 枚コピーの場合は枚数を設定せずに「コピー」ボタンを押してください。

※2●コピー枚数を間違えて入力した場合は、「停止」ボタンを押して手順 2 からやり直してください。

※2●途中で止めるときは、まだ繰り込まれていない原稿を取り、「停止」ボタンを押します。

●ソートコピーのしかた
（ソートコピーをするときは ADF をご利用ください。）

1.ADF に原稿をセットします。

2. (オプション) を押します。※3

3. ◀ ▶ で「コピー：オプション」を選択し (セット) を押します。

コピー： オプション

4. ◀ ▶ で「オプション：ソートコピー」を選択し (セット) を押します。

オプション：ソートコピー

ソート コピー：01

5. (カラーコピー) か (モノクロコピー) を押します。

6. 枚数を入力し、もう 1 度 (カラーコピー) か (モノクロコピー) を押すか、そのまま 5 秒待ちます。

コピーが開始されます。

※3●オプション（用紙のタイプ、解像度、明るさ、ソート、拡大 / 縮小等）が個別に指定できます。くわしくは P. 109 を参照してください。

●コピーの読みとり範囲の詳細は P. 42 を参照してください。



● 1 枚の原稿がメモリーに入りきらないときは、複数部コピーはできません。1 枚コピーを繰り返してください。

●原稿の読み込み途中でメモリーがいっぱいになったときは「停止」ボタンを押してコピーを停止させて、キャンセルするか、「コピー」ボタンを 1 回押して、メモリーに読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう 1 度コピーし直してください。

●コピー中に用紙がなくなったときは、用紙をセットすれば、コピーは続けられますが、用紙がなくなったまま 5 分間放置すると、それ以降のコピーは無効になります。用紙をセットし、あらためてコピー操作を行ってください。

おぼえておきましょう ●メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。



こんなときは……

★ ADF に原稿が詰まったときは P. 221 を参照してください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

コピーをする -2

原稿台ガラスからコピーする

1. 原稿カバーを上げます。原稿の中心を左端の原稿ガイドラインの中心に合わせ**裏向き**にセットします。
2. 原稿カバーを閉じます。
3. カラーコピー か モノクロコピー を押します。※1
4. コピー枚数を入力します。※2
5. カラーコピー か モノクロコピー を押します。※3

コピー　マイスウ:01

コピー　マイスウ:05

コピーが開始されます。

※1●コピー枚数を入力せずに5秒たつと自動的に1枚コピーを始めます。

※2●コピー枚数は99部まで設定できます。

※3●「コピー」ボタンを押さずにそのまま5秒間待つと、自動的にコピーを開始します。



●コピー枚数を間違えたときは「停止」ボタンを押して手順1からやり直します。

コピー設定 -1

拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーできます。

1. ADFか原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. 拡大/縮小 を押し ◀ ▶ で倍率を選びます。※1
3. セット を押し カラーコピー か モノクロコピー を押します。
4. 枚数を入力し、カラーコピー か モノクロコピー を押します。**コピーが開始されます。**

ヘンバイリツ:100%

コピー　マイスウ:05

※1●設定できる倍率は…………
縮小：25%、50%、75%、87%、93%
拡大：120%、125%、150%、200%、400%
ズーム：25%～400%の間で1%ごとの設定

■ズーム設定のしかた

1. 「拡大/縮小」ボタンを押します。
2. 「←/→」ボタンで「ズーム」を選択し「セット」ボタンを押します。
3. 「ダイヤル」ボタンで倍率を入力し「セット」ボタンを押します。
4. 「カラーコピー」ボタンか「モノクロコピー」ボタンを押します。
5. 枚数を入力し「カラーコピー」ボタンか「モノクロコピー」ボタンを押します。



● B5あるいはA5からA4サイズへの拡大率は下記の倍率を目安にしてください。
B5 → A4：拡大率120%
A5 → A4：拡大率150%

●はがきにコピーする場合は「オプション」ボタンを使って設定します。P. 115 を参照してください。

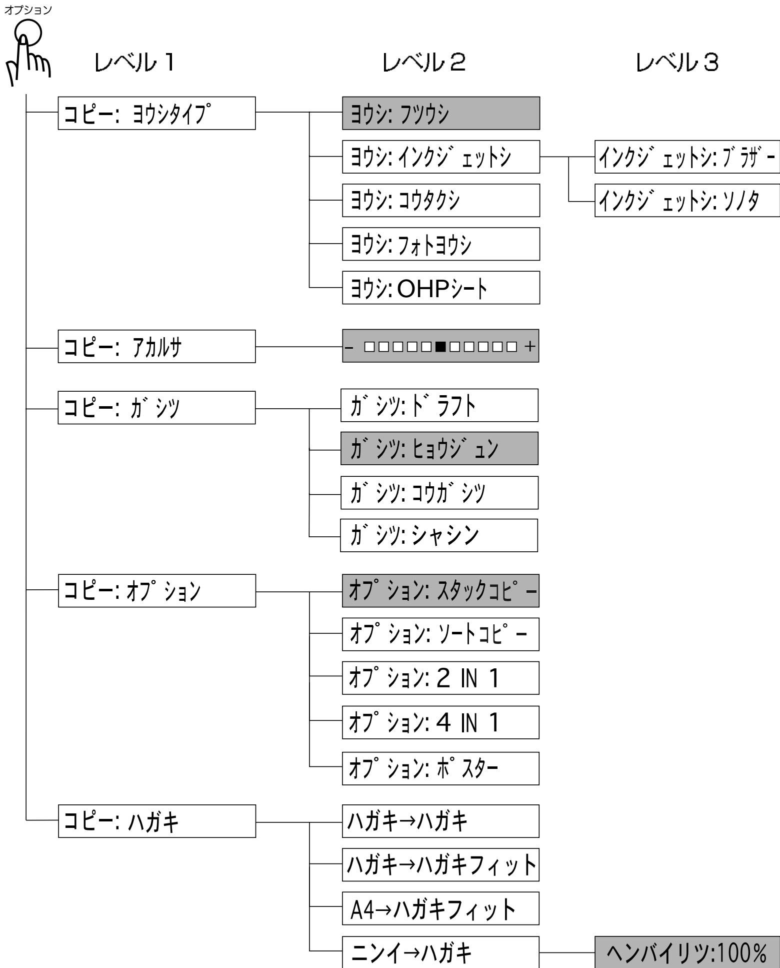
おぼえておきましょう ●原稿によっては画像がかける場合があります。

★ハガキからハガキにコピーする場合は P. 115 を参照してください。

コピー設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -1

「オプション」ボタンを使って、コピーの用紙や画質の設定を必要に応じて簡単に変更できます。



「オプション」ボタンでの設定は一時的なものであり、本機はコピーが終了すると初期設定に戻ります。
最適なコピーをするために様々な設定の組み合わせができます。

オプションボタンを使った設定方法

1. 原稿をセットして（オプション）を押します。
2. ◀ ▶ でレベル 1 のいずれかの項目を選択し、（セット）を押します。
3. レベル 2、3 についても ◀ ▶ で設定内容を選択し、（セット）を押します。
4. ディスプレイはレベル 1 に戻りますので他の設定をする場合は手順 2-3 を繰り返してください。
   ●他の設定をしない場合は手順 5 に進みます。
5. （カラーコピー）か（モノクロコピー）を押します。
6. 枚数を入力しもう一度（カラーコピー）か（モノクロコピー）を押します。



●コピーの初期設定を変更するには P. 117 を参照してください。

おぼえておきましょう ●毎回、同一のオプションを設定しなければならないような場合は初期設定を変更してください。P. 117



★ハガキからハガキにコピーする場合は P. 115 を参照してください。

コピー設定 -2

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -2

●用紙のタイプを設定するには

本機は用紙のタイプに合わせて 5 種類の設定ができます。

1. 原稿をセットして オプション を押します。
2. ◀ ▶ で「ｺﾋﾟｰ：ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ」を選択します。
3. セット を押し ◀ ▶ で用紙を選択します。※1
4. セット を押します。※2

ｺﾋﾟｰ：ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ

ﾖｳｼ：ﾌﾂｳｼ

※ 1●用紙は 5 種類から選ぶことができます。

※ 1●インクジェット紙を選択するとブラザー製かその他か選択できます。

●用紙についての詳細は P. 7 を参照してください。

●コピーの明るさを調整するには

コピーの明るさを変えることができます。

1. 原稿をセットして オプション を押します。
2. ◀ ▶ で「ｺﾋﾟｰ：ｱｶﾙｻ」を選択します。
3. セット を押し ◀ ▶ で明るさを調整します。
4. セット を押します。※2

ｺﾋﾟｰ：ｱｶﾙｻ

−□□□□□□■□□□□□□+

明 ◀ ▶ 暗

●コピーの画質を変更する

原稿の内容によってコピーの画質を選択できます。

1. 原稿をセットして オプション を押します。
2. ◀ ▶ で「ｺﾋﾟｰ：ｶﾞｼﾂ」を選択します。
3. セット を押し ◀ ▶ で画質を選択します。※3
4. セット を押します。※2

ｺﾋﾟｰ：ｶﾞｼﾂ

ｶﾞｼﾂ：ﾄﾞﾗﾌﾄ

※3画質の種類は下記の4種類あります。

- 「ﾄﾞﾗﾌﾄ」
  印刷コスト低い、高速印刷、確認印刷用
- 「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」
  標準の設定。良好な品質
- 「ｺｳｶﾞｼﾂ」
  高品位プリント用。やや遅い。
- 「ｼｬｼﾝ」
  より高画質。印刷スピードは遅い。



●コピーの初期設定を変更するには P. 117 を参照してください。

●設定後「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押すとコピーを開始します。

●ここでの設定は、コピーが終了すると元に戻ります。

※2
●手順 4 では「ｾｯﾄ」ボタンを押すと、手順 2 に戻ります。他のコピーオプションを設定したいときは続けて手順 2 から行ってください。　他の設定を行わない場合は「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押してください。

コピー設定 -3

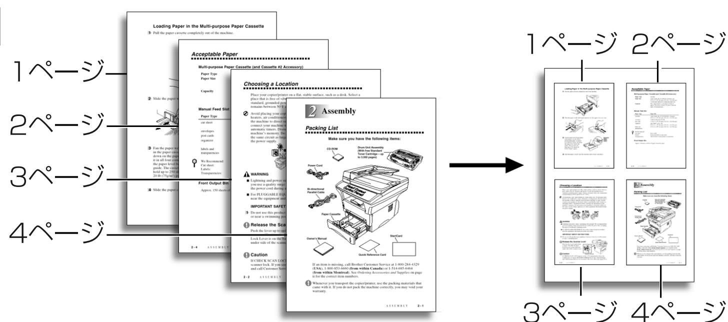
オプションボタンを使って、設定を一時変更する -3

●オプションコピー

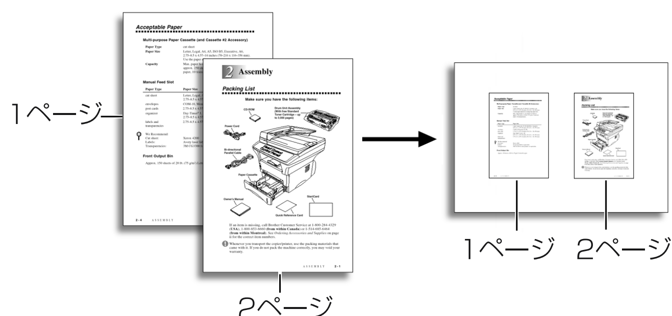
2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることも、写真をポスターサイズにコピーすることも可能です。

1. 原稿をセットして オプション ◯ を押します。
2. ◀ ▶ で「ｺﾋﾟｰ；ｵﾌﾟｼｮﾝ」を選択します。　ｺﾋﾟｰ: ｵﾌﾟｼｮﾝ
3. セット を押し ◀ ▶ で希望するｵﾌﾟｼｮﾝを選択します。　ｵﾌﾟｼｮﾝ:2 IN 1
4. セット を押します。※1　ｺﾋﾟｰ ﾏｲｽｳ:01

4 in1



2 in1



ポスター

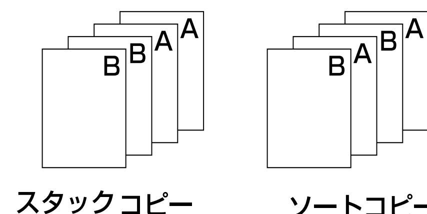
● 1枚の原稿を9分割して拡大し、それぞれを9枚の記録紙にコピーをします。つなぎ合わせると元原稿の9倍サイズのコピーを作成できます。



ソートコピー

●複数の原稿を仕分けしてコピーします。設定しない場合は、スタックコピーになります。

P. 106 を参照してください。



スタック コピー　ソートコピー



●設定後「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押すとコピーを開始します。

●ここでの設定は、コピーが終了すると元に戻ります。

※1
●手順4では「ｾｯﾄ」ボタンを押すと、手順2に戻ります。他のコピーオプションを設定したいときは続けて手順2から行ってください。　他の設定を行わない場合は「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押してください。

●はがきへコピーする場合、4 in1、2 in1，ソート、ポスターは設定できません。

おぼえておきましょう ●ポスターコピーをする場合は、カセットに用紙が9枚以上あることを確認してください。

コピー設定 -4

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -4

本機ではハガキにコピーするための設定ができます。

●ハガキにコピーする

1. 原稿台ガラスに原稿をセットして（オプション）を押します。 ※1
2. ◀▶ で「ｺﾋﾟｰ：ﾊｶﾞｷ」を選択します。
3. （セット）を押し ◀▶ で「A4 →ﾊｶﾞｷﾌｨｯﾄ」を選択します。 ※2
4. （セット）を押します。

■「ﾆﾝｲ→ﾊｶﾞｷ」を選択したときの倍率設定のしかた

1. 上記手順 3 で「ﾆﾝｲ→ﾊｶﾞｷ」を選択し（セット）を押します。
2. 「ﾍﾝﾊﾞｲﾘﾂ ：100%」と表示されますので、（ダイヤルボタン）で倍率を入力して（セット）を押します。

●設定できる倍率は 50%から 150%の 1%刻みです。

● B5 あるいは写真（L 版）への縮小、拡大率は下記のとおりです。

B5 →ハガキ	50%
写真（L 版）→ハガキ	105%

●ハガキは用紙カセットから給紙してください。

●印字面を下にしてハガキ上端が奥にくるように縦向きにセットします。用紙ガイドを合わせてください。

●ハガキは横向きにはセットできませんのでご注意ください。

●手差しスロットからは給紙できません。必ず用紙カセットから給紙してください。

●往復ハガキにはコピーできません。

※2 ●ハガキへのコピーは以下の 4 種類あります。
- ハガキ→ハガキ
  そのままの倍率でコピーします。
- ハガキ→ハガキフィット
  ハガキサイズの原稿を本機のプリント範囲内に納まるように縮小してコピーします。
- A4 →ハガキフィット
  A4 サイズの原稿をハガキサイズに縮小してコピーします。
- ニンイ→ハガキ
  任意の倍率でコピーします。

●ハガキサイズの原稿は必ず原稿台ガラスからコピーしてください。ADF からコピーすると紙詰まりの原因となります。

※1 **原稿の向きに注意**

原稿台ガラスの左端にある▲マークに原稿上端の中心を合わせ裏向きにセットします。

●「ｺﾋﾟｰ：ﾊｶﾞｷ」を選択した場合、「拡大 / 縮小」ボタンは無効になります。

●「拡大 / 縮小」ボタンで先に倍率設定してある場合、「ｺﾋﾟｰ：ﾊｶﾞｷ」は選択できません。
選択する場合は「停止」ボタンを押してから「ｺﾋﾟｰ：ﾊｶﾞｷ」を選択してください。

●はがきの印刷可能範囲については P. 7 を参照してください。

●はがきへコピーする場合、4 in1、2 in1，ソート、ポスターは設定できません。

はがき置き忘れに注意

はがきを用紙カセットにセットしたままにすると、FAX 受信した際はがきに印刷されてしまいますのでご注意ください。

コピー設定 -5

コピーの初期設定を変更する

本機のお買い上げ時の設定を変更します。変更された内容は次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更したい場合は「ｵﾌﾟｼｮﾝ」ボタンを使用して変更してください。P. 109

●用紙タイプを変更する

1. 機能 サDEF③ ア① を押します。
2. ◀ ▶ で用紙を選択し、セット を押します。※1
3. 停止 を押して終了します。

※1●設定できる用紙
- 普通紙
- インクジェット紙　ブラザー／その他
- 光沢紙
- フォト用紙
- OHP シート

●お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

●画質を変更する

1. 機能 サDEF③ カABC② を押します。
2. ◀ ▶ で画質を選択し、セット を押します。※2
3. 停止 を押して終了します。

※2●画質は「ﾄﾞﾗﾌﾄ」、「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」、「ｺｳｶﾞｼﾂ」「ｼｬｼﾝ」、のどれかが選択できます。

●お買い上げ時は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」に設定されています。

●カラー調整する

赤（R）、緑（G）、青（B）各色のバランスを調整します。

1. 機能 サDEF③ サDEF③ を押します。
2. ◀ ▶ で調整したいカラーを選択し、セット を押します。
3. ◀ ▶ でｶﾗｰﾊﾞﾗﾝｽを調整し、セット を押します。※3
4. 停止 を押して終了します。

※3【例】「赤」を選んだ場合

R:−□□□□□■□□□□□+

少 ◀　▶ 多

▶ を押すと赤の割合が多くなります。

●コントラストを調整する

1. 機能 サDEF③ タGHI④ を押します。
2. ◀ ▶ でｺﾝﾄﾗｽﾄを調整し、セット を押します。※4
3. 停止 を押して終了します。

※4

−□□□□□■□□□□□+

弱 ◀　▶ 強

▶ を押すとよりｺﾝﾄﾗｽﾄが強くなります。

●単色印字を設定する

白黒の原稿を「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタンでコピーするとき、単色カラーでコピーする機能です。

1. 機能 サDEF③ ナJKL⑤ を押します。
2. ◀ ▶ で使用するｶﾗｰを選択し、セット を押します。

●お買い上げ時は「OFF= 黒」に設定されています。

●黒を使用するときは「OFF」を選びます。

3. 停止 を押して終了します。

●使用できるカラーはシアン（青）、マゼンタ（赤）、イエロー（黄）の３色です。

ビデオプリントする

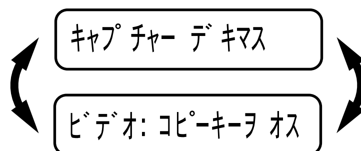
ビデオ映像のプリント

本機には以下のビデオプリント機能が備わっています。ご利用目的に合わせてお使いください。

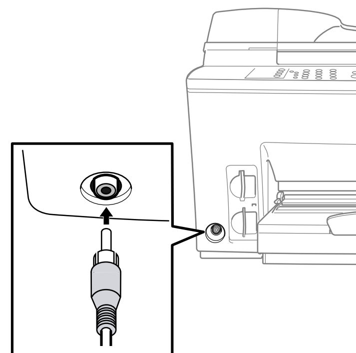
●カラー / モノクロのビデオ画像がプリントできます。
●ビデオカメラ、デジタルカメラ、テレビゲーム、ビデオカセットレコーダーの画像がプリントできます。
●動画と静止画のプリントができます。

●ビデオプリントモードを設定する（自動設定）

ビデオカメラ、デジタルカメラ、テレビゲーム、ビデオカセットレコーダーが本機に接続され、映像信号が本機に送られているときは、「ｺﾋﾟｰ」ボタンはビデオプリントの機能をします。また、ディスプレイは下記のように表示されます。



● ADF に原稿がない状態で、 ビデオカメラのアナログビデオ出力端子と本機の RCA ジャックをケーブルで接続してから、ビデオを再生してください。



●本機は NTSC 方式の映像信号にのみ対応しています。

カラー・モノクロのビデオプリント

1. ビデオカメラ等のアナログビデオ出力端子と本機の ＲＣＡ ジャックをケーブルで接続します。 ※１
2. ビデオを再生します。

ﾋﾞﾃﾞｵ: ｺﾋﾟｰｷｰｦ ｵｽ

3. コピー、印刷したい画像がでたら（カラーコピー）か（モノクロコピー）を押します。
4. 複数枚プリントしたいときは

　ダイヤルボタンで枚数を入力し（カラーコピー）か（モノクロコピー）を押します。

※１ ● ＡＤＦ（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

●「ｵﾌﾟｼｮﾝ」ボタンで画質等を変更することができます。P. 121



メモ

●ビデオカメラ、デジタルカメラ、テレビゲーム、ビデオカセットレコーダーを本機に接続中は原稿台ガラスでコピーをとることはできません。

●ビデオ機器の電源を切るか、 接続を外すと、「ｺﾋﾟｰ」ボタンは通常の「ｺﾋﾟｰ」ボタンとして機能します。

●本機のメモリー容量が不足するとビデオプリントはできません。

●本機が映像信号を受信していない場合、「ｺﾋﾟｰ」ボタンはビデオ機能用に作動しません。

●ビデオカメラ、デジタルカメラ、テレビゲーム、ビデオカセットレコーダーが本機に接続され映像信号が本機に送られると、「ｺﾋﾟｰ」ボタンは自動的にビデオプリントの機能をします。

●本機が映像信号を受信していても、ADF に原稿が置かれていると通常のコピーを行います。

ビデオが優先されます

接続されたビデオ機器に電源が入っていると、「ｺﾋﾟｰ」ボタン（カラー / モノクロ）はビデオ機能が優先されます。

おぼえておきましょう ●NTSC方式とはNational Television System Committee の略です。世界には大きく分けて３つのカラーテレビ方式があり、国によって異なります。日本やアメリカなどは NTSC 方式です。



こんなときは……
★ビデオプリントしたいのにコピーを始めてしまうときは ADF に原稿が残っていないか確認してください。

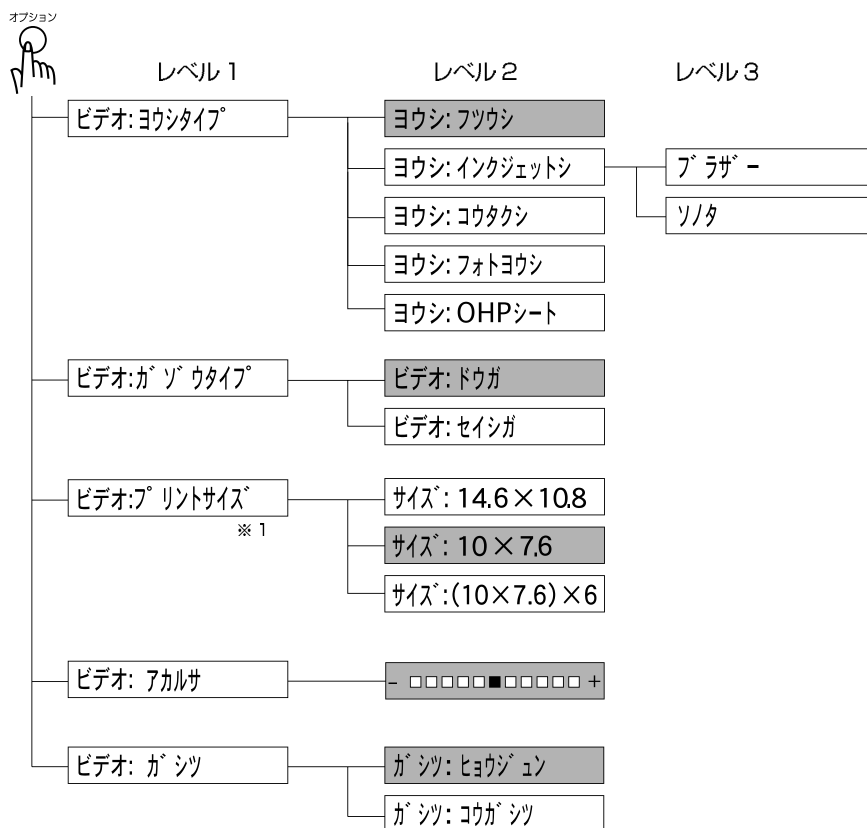
ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

ビデオ設定-1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する-1

「オプション」ボタンを使って、ビデオプリントの画像や画質の設定を必要に応じて簡単に変更できます。

これらの設定は、一時的なものであり、本機はプリントが終了すると初期設定に戻ります。
最適なプリントをするために様々な設定の組み合わせができます。



□ はお買い上げ時の設定です。

オプションボタンを使った設定方法

1. ADF に原稿がないことを確認し、ビデオカメラ等の映像機器のアナログビデオ出力端子と本機のRCAジャックをケーブルで接続します。

2. (オプション) を押し ◀ ▶ でレベル1のいずれかの項目を選択し、(セット) を押します。

3. レベル2、3についても ◀ ▶ で設定内容を選択し、(セット) を押します。

4. ディスプレイはレベル1に戻りますので他の設定をする場合は手順2-3を繰り返してください。
   ●他の設定をしない場合は手順5に進みます。

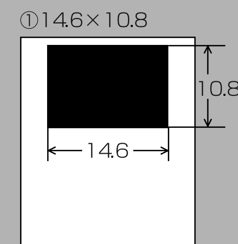
5. ビデオを再生してプリントしたい画像が出たら枚数を入力し (カラーコピー) か (モノクロコピー) を押します。



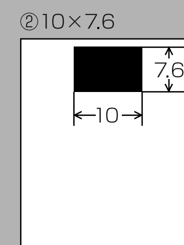
●オプションを設定しない場合は本機の初期設定でプリントされます。初期設定を変更するにはP. 127を参照してください。

※1
●ビデオプリントの割り付け
（単位:cm）

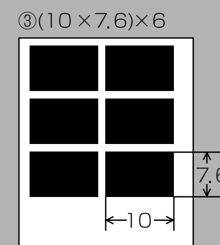
①14.6×10.8



②10×7.6



③(10×7.6)×6



おぼえておきましょう　●自分で撮影したビデオ画像をプリントするときは撮影するときに標準モードで撮影したものをお使いください。倍速モードの場合、画像が荒れることがあります。



こんなときは……
★きれいにプリントできないときはオプションの設定を変更してみてください。

ビデオ設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -2

●用紙のタイプを設定するには

本機ではビデオプリント用に用紙のタイプが設定できます。

1. ビデオを接続して オプション を押します。
2. ◀ ▶ で「ﾋﾞﾃﾞｵ;ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ」を選択します。
3. セット を押し ◀ ▶ で用紙を選択します。※1
4. セット を押します。※2

ﾋﾞﾃﾞｵ:ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ

ﾖｳｼ:ｺｳﾀｸｼ

※1●設定できる用紙
- ・普通紙
- ・インクジェット紙　ブラザー / その他
- ・光沢紙
- ・フォト用紙
- ・OHP シート

●お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

●画像のタイプを設定するには

本機ではビデオ画像のタイプが設定できます。

本機がビデオ信号を受信する前に、動画、もしくは静止画のどちらを受信するか本機で設定してください。

1. ビデオを接続して オプション を押します。
2. ◀ ▶ で「ﾋﾞﾃﾞｵ;ｶﾞｿﾞｳﾀｲﾌﾟ」を選択します。
3. セット を押し ◀ ▶ で画像を選択します。※3
4. セット を押します。※2

ﾋﾞﾃﾞｵ:ｶﾞｿﾞｳﾀｲﾌﾟ

ﾋﾞﾃﾞｵ:ｾｲｼｶﾞ

※3●画像タイプは「ｾｲｼｶﾞ」「ﾄﾞｳｶﾞ」のどちらかが選択できます。

●お買い上げ時は「ﾄﾞｳｶﾞ」に設定されています。



※1
●インクジェット紙を選択するとブラザー製か、その他かを選択できます。

●ここでの設定は「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押してプリントが終了すると元に戻ります。

※2
●手順4では「ｾｯﾄ」ボタンを押すと、手順2に戻ります。他のビデオオプションを設定したいときは続けて手順2から行ってください。　他の設定を行わない場合は「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押してください。

ご使用の前に | 準備をしましょう | ファクスをする | レポート・リスト | コピーをする | ビデオプリントをする | フォトメディアキャプチャー | コンピュータと接続する | プリンタを使う | スキャナを使う | 日常のお手入れ | こまったときには | 用語集・索引

おぼえておきましょう ●選択したビデオイメージをプリントするのに充分なメモリーがない場合、静止画像であっても画像のプリント品質は悪くなります。

ビデオ設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -3

●プリントサイズを変更するには

本機ではプリントサイズの選択ができます。

1. ビデオを接続して オプション ◯ を押します。
2. ◀ ▶ で「ﾋﾞﾃﾞｵ;ﾌﾟﾘﾝﾄｻｲｽﾞ」を選択します。　ﾋﾞﾃﾞｵ:ﾌﾟﾘﾝﾄｻｲｽﾞ
3. セット を押し ◀ ▶ でサイズを選択します。※1　ｻｲｽﾞ:14.6X10.8
4. セット を押します。※2

※1●設定できるプリントサイズは以下のとおりです。(単位 cm)
- 14.6 × 10.8
- 10 × 7.6
- 10 × 7.6 × 6 枚（同一画像）

●お買い上げ時は 10 × 7.6 に設定されています。

●選択したサイズの割り付け状態については P. 122 を参照してください。

●プリントの明るさを調整するには

本機ではプリントの明るさを選択できます。

1. ビデオを接続して オプション ◯ を押します。
2. ◀ ▶ で「ﾋﾞﾃﾞｵ;ｱｶﾙｻ」を選択します。　ﾋﾞﾃﾞｵ:ｱｶﾙｻ
3. セット を押し ◀ ▶ で明るさを調整します。※3　−□□□□□■□□□□□+　明 ◀　▶ 暗
4. セット を押します。※2

※3●調整できる明るさは 11 段階です。

●お買い上げ時は中間に調整されています。

●プリントの画質を調整するには

本機ではプリントの画質を選択できます。

1. ビデオを接続して オプション ◯ を押します。
2. ◀ ▶ で「ﾋﾞﾃﾞｵ;ｶﾞｼﾂ」を選択します。　ﾋﾞﾃﾞｵ:ｶﾞｼﾂ
3. セット を押し ◀ ▶ で画質を選択します。※4　ｶﾞｼﾂ:ｺｳｶﾞｼﾂ
4. セット を押します。※2

●「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」、「ｺｳｶﾞｼﾂ」のどちらか選択できます。

●お買い上げ時は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」に設定されています。



●ここでの設定は「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押してプリントが終了すると元に戻ります。

※2
●手順４では「ｾｯﾄ」ボタンを押すと、手順２に戻ります。他のビデオオプションを設定したいときは続けて手順２から行ってください。　他の設定を行わない場合は「ｺﾋﾟｰ」ボタンを押してください。

おぼえておきましょう ●プリント品質はビデオの再生機器によっても左右されます。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

ビデオ設定 -2

ビデオプリントの初期設定を変更する

本機のお買い上げ時の設定を変更します。変更された内容は次にビデオプリントをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更したい場合は「ｵﾌﾟｼｮﾝ」ボタンを使用して変更してください。P. 123

●用紙タイプを変更する

1. 機能 4(タGHI) 1(ア) を押します。
2. ◀ ▶ で用紙を選択し、(※1) セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※1●設定できる用紙
- 普通紙
- インクジェット紙　ブラザー その他
- 光沢紙
- フォト用紙
- OHP シート

●お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

●画質を変更する

1. 機能 4(タGHI) 2(カABC) を押します。
2. ◀ ▶ で画質を選択し、(※2) セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※2●画質は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」、「ｺｳｶﾞｼﾂ」のどちらかが選択できます。

●お買い上げ時は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」に設定されています。

●画像タイプを変更する

1. 機能 4(タGHI) 3(サDEF) を押します。
2. ◀ ▶ で画像タイプを選択し、(※3) セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※3●画像タイプは「ﾄﾞｳｶﾞ」、「ｾｲｼｶﾞ」のどちらかが選択できます。

●お買い上げ時は「ﾄﾞｳｶﾞ」に設定されています。

●プリントサイズを設定する

1. 機能 4(タGHI) 4(タGHI) を押します。
2. ◀ ▶ でプリントするサイズを選択し、(※4) セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※4●設定できるプリントサイズは以下のとおりです。(単位 cm)
- 14.6 × 10.8
- 10 × 7.6
- 10 × 7.6 × 6 枚

●お買い上げ時は 10 × 7.6 に設定されています。

●選択したサイズのプリントの割り付け状態については P. 122 を参照してください。

●カラー調整する

赤（R)、緑（G)、青（B）各色のバランスを調整します。

1. 機能 4(タGHI) 5(ナJKL) を押します。
2. ◀ ▶ で調整したいｶﾗｰを選択し、セット を押します。
3. ◀ ▶ でﾊﾞﾗﾝｽを調整し、(※5) セット を押します。
4. 停止 を押して終了します。

※5【例】「赤」を選んだ場合

R:−□□□□□□■□□□□□□+

少 ◀　▶ 多

▶ を押すと赤の割合が多くなります。

●コントラストを調整する

1. 機能 4(タGHI) 6(ハMNO) を押します。
2. ◀ ▶ でｺﾝﾄﾗｽﾄを調整し、(※6) セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※6 −□□□□□□■□□□□□□+

弱 ◀　▶ 強

▶ を押すとよりｺﾝﾄﾗｽﾄが強くなります。

フォトメディアキャプチャーを使う -1

フォトメディアキャプチャーについて

デジタルカメラなどで使用されるコンパクトフラッシュ ™、スマートメディア ™ カードを、本機のスロットに挿入することにより、カードに保存されている高画質な画像を、パソコンを介さずに直接プリントできます。

● DPOF プリントができます。……… P. 131
●インデックスをプリントできます。……… P. 133
●気に入った画像だけをプリントできます。……… P. 133

DPOF(デジタルプリントオーダーフォマット）とは…

●イーストマン・コダック社、富士写真フィルム（株）、松下電器産業（株）、キャノン（株）が参画、制定したプリントフォーマットに関する規定です。デジタルカメラからの印刷を簡単に行える方式で、プリントしたい画像や枚数を簡単に指定できます。
この方式でプリントするためには DPOF 方式をサポートする機器で撮影する必要があります。（※ DPOF1 のみ対応しています）

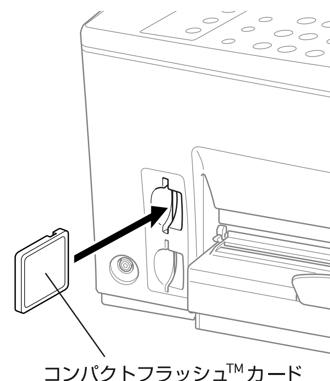
●メディアカードからプリントする

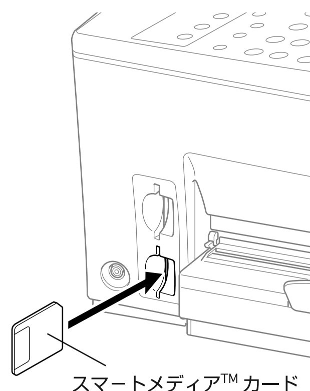
本機でコンパクトフラッシュ ™、スマートメディア ™ カード（以下メディアカードとします。）からプリントするためには以下のような流れで行います。
各操作の詳細については後述の説明を参照してください。

1. メディアカードを対応するスロットに挿入します。
2. データの読み込み（書き込み）が始まりランプが点滅します。
3. 転送が終わるとランプが点灯したままになります。
4. インデックスプリントを行います。
   インデックスプリントでイメージプリントする画像を選択します。
5. 選択した画像をプリントします。
   複数選択も可能です。プリント部数も指定できます。

 ●メディアカードは磁気の強いところに置かないでください。

コンパクトフラッシュ™ カード の挿入口は上側です。※ 1
スマートメディア ™ カード ※ 2 の挿入口は下側です。


コンパクトフラッシュTMカード


スマートメディアTMカード



●同時にカードを挿入したときはどちらか一方が選択されます。別のメディアに変更する場合は必ず、先に挿入済みのカードを取り出してから次のカードを挿入してください。

●メディア確認用ランプは、それぞれのカードが正しく挿入されているときに点灯します。

●点灯していない場合は、正しく挿入されているかどうか確認してください。

メディアカードについて

※ 1 本機に対応しているスマートメディアカードは 3.3V 専用です。
※ 2 コンパクトフラッシュ ™ についてはタイプ 2 のメディアへの対応はしておりません。

ランプ点滅中の注意

ランプ点滅中は、データの読み込み（書き込み）中です。点滅中は絶対に電源を切ったりメディアカードを抜かないでください。
（データやカードを破壊するおそれがあります。）

スロットに注意

カードの挿入口に物を入れないでください。内部を壊すおそれがあります。



こんなときは……
★カードが認識できないときは記録した機器に戻して確認してみてください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

フォトメディアキャプチャーを使う -2

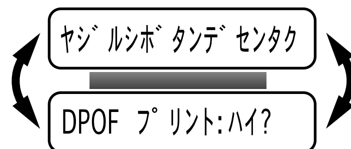
DPOF プリント

カードを挿入すると、カード内のデータが本機に送られ、選択した画像を自動的に印刷できるようになります。DPOF 方式をサポートするメディアカードから、直接印刷することができます。

1. カードをスロットに確実に挿入します。
   ●カードが確実に挿入されランプが点灯していることを確認します。



2. カラーコピー を押します。
3. 画質等の設定を変えたい場合は オプション ※1 を押します。P. 135
   ●指定しない場合はそのまま手順４へ進んでください。
4. カード上に DPOF 方式のファイルがあるとディスプレイに右のように表示します。※2



5. セット を押します。
6. 自動的にプリントが開始されます。

■インデックスプリントをするときは

1. 手順4.で ◁ ▷ を押し「DPOFﾌﾟﾘﾝﾄ:ｲｲｴ」を選び セット を押します。

1:インデックス 2:シャシン

2. ア ① を押すと、インデックスプリントを開始します。

※1●オプションボタンを使って一時設定を変更するには P. 135 を参照してください。
オプションボタンでの設定情報はカードが挿入されている限り保持します。カードを抜くと自動的に初期設定に戻ります。

※2●カード上にDPOF方式のファイルがない場合はディスプレイに「1. ｲﾝﾃﾞｯｸｽ 2. ｼｬｼﾝ」と表示されます。
・インデックスをプリントするときは「1」を選択してください。P. 133
・写真をプリントするときは「2」を選択してください。P. 133



ADF の原稿に注意

フォトメディアキャプチャー機能をご利用になる場合、ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことを確認してください。原稿が残っている状態で「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」ボタン（「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタン）を押すと、コピー機能が優先されますのでメモリーカードからの印刷がされません。必ず、ADF から原稿を取り除いてください。

ビデオの接続に注意

フォトメディアキャプチャー機能をご利用になる場合、ビデオが接続されていないことを確認してください。ビデオが接続されている状態で「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」ボタン（「ﾓﾉｸﾛｺﾋﾟｰ」ボタン）を押すと、ビデオキャプチャー機能が優先されますのでメモリーカードからの印刷がされません。必ず、ビデオコードをはずしてください。

おぼえておきましょう ●インデックスプリントをすると画像の上に番号が印字されます。

フォトメディアキャプチャーを使う -3

インデックスプリント

1. カードをスロットに確実に挿入します。
   ●カードが確実に挿入されランプが点灯していることを確認します。
2. カラーコピー を押します。
3. ア① を押します。
   インデックスプリントが開始されます。
4. プリント終了後、画像番号の入力画面が表示されます。

```
ｶﾗｰｺﾋﾟｰｷｰ ｦ ｵｽ
1:ｲﾝﾃﾞｯｸｽ 2:ｼｬｼﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ
IMG:
```

●インデックスプリントは 1 行に 4 画像プリントされます。

●プリントされた画像の上に 3 桁の画像番号がプリントされます。

●1 度にプリントできるのは 999 画像までです。それ以上は無視されます。

●インデックスプリントではオプションが設定できません。

写真をプリントする

1. カードをスロットに確実に挿入します。
   ●カードが確実に挿入されランプが点灯していることを確認します。
2. カラーコピー を押して カABC② を押します。
3. プリントしたい画像の番号を入力します。※1
4. カラーコピー を押します。
5. 画質等の設定を変えたい場合はオプションを指定して セット を押します。
   ●指定できるオプションは P. 135 を参照してください。
   ●指定しない場合はそのまま手順 6 へ進んでください。
6. ダイヤルボタン で枚数を入力し、もう一度 カラーコピー を押します。

```
ｶﾗｰｺﾋﾟｰｷｰ ｦ ｵｽ
1:ｲﾝﾃﾞｯｸｽ 2:ｼｬｼﾝ
IMG:
IMG:1,3,6
```

※1 ●写真をプリントをするときに複数の画像イメージを選択して印刷することができます。

【例 1】
001.003.006 の 3 枚を印刷したいときは、①、㊍、③、㊍、⑥と入力します。ディスプレイ上では㊍がｺﾝﾏ（,）と表示されます。

【例 2】
001 から 005 までを印刷したいときは、①、㊒、⑤と入力します。ディスプレイ上では㊒がﾊｲﾌﾝ (-) と表示されます。



●インデックスプリントをする場合はメディア上のすべてのデータが印刷されます。メディア上にあるデータに自動的に番号を割り当てます。この割り当ての名称は、カメラ上でつけた名称やパソコン上でのファイル名は認識していません。順を追って 001,002,003 のようにファイル名が付けられます。

●「ｵﾌﾟｼｮﾝ」ボタンでの設定情報はカードが挿入されている限り保持します。カードを抜くと自動的に初期設定に戻ります。

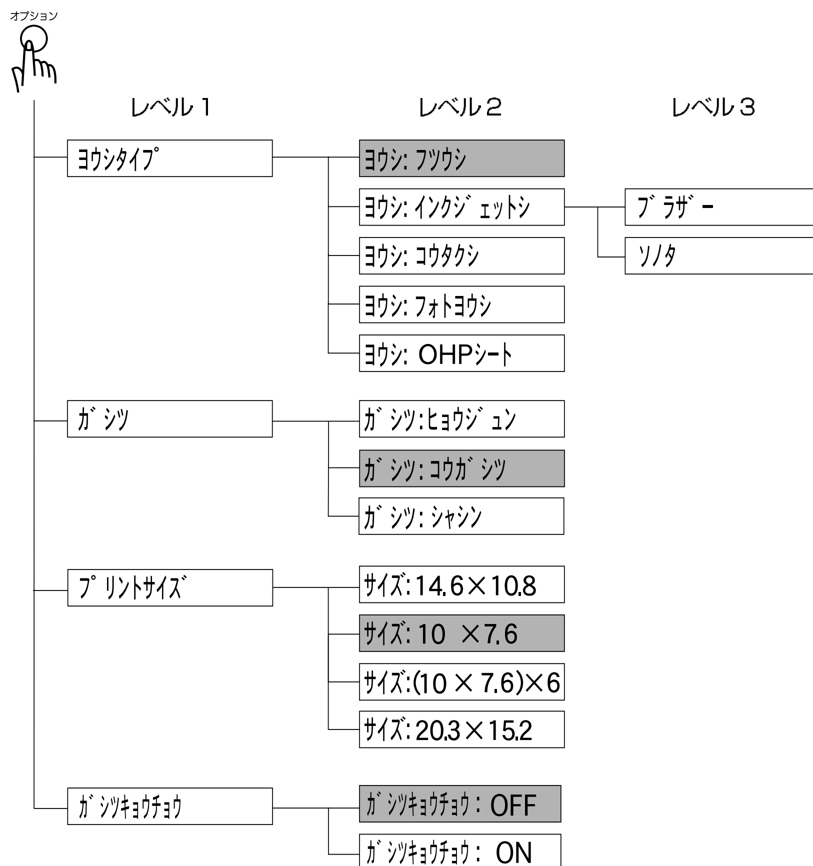
おぼえておきましょう ●インデックスプリントをして番号を確認してから自分のほしい画像をプリントします。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

フォトメディアキャプチャー設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -1

「オプション」ボタンを使って、フォトメディアキャプチャーの画像や画質の設定を必要に応じて簡単に変更できます。



これらの設定は、カードが挿入されている限り保持します。
カードを抜くと自動的に初期設定に戻ります。

オプションボタンを使った設定方法

1. オプション を押します。
2. ◀ ▶ でレベル１のいずれかの項目を選択し、セット を押します。
3. レベル２、３についても ◀ ▶ で設定内容を選択し、セット を押します。
4. ディスプレイはレベル１に戻りますので他の設定をする場合は手順2-3を繰り返してください。
   ●他の設定をしない場合は手順5に進みます。
5. カラーコピー を押します。
6. 枚数を入力しもう一度 カラーコピー を押します。


メモ

●フォトメディアキャプチャーの初期設定を変更するには P. 141 を参照してください。

●インデックスプリントする場合は設定の変更はできません。

フォトメディアキャプチャー設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -2

●用紙のタイプを設定するには

本機ではフォトメディアキャプチャー用に用紙のタイプが設定できます。

1. オプション を押します。
2. ◁ ▷ で「ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ」を選択。
3. セット を押し ◁ ▷ で用紙を選択します。※1
4. セット を押して設定終了です。

ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ

ﾖｳｼ:ｺｳﾀｸｼ

※1●設定できる用紙
・普通紙
・インクジェット紙　ブラザー
　　　　　　　　　　その他
・光沢紙
・フォト用紙
・OHP シート
●お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

●画質を設定するには

本機ではフォトメディアキャプチャー用に画質を設定できます。

1. オプション を押します。
2. ◁ ▷ で「ｶﾞｼﾂ」を選択。
3. セット を押し ◁ ▷ で画質を選択します。※2
4. セット を押して設定終了です。

ｶﾞｼﾂ

ｶﾞｼﾂ:ｼｬｼﾝ

※2 ●画質は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」「ｺｳｶﾞｼﾂ」「ｼｬｼﾝ」のどれかが選択できます。

●お買い上げ時は「ｺｳｶﾞｼﾂ」に設定されています。



●オプションを設定されない場合は本機の初期設定で印刷されます。初期設定を変更する場合はP. 141を参照してください。

●手順 4 では「ｾｯﾄ」ボタンを押すと、手順 2 に戻ります。他のフォトメディアキャプチャーオプションを設定したいときは続けて手順 2 から行ってください。

フォトメディアキャプチャー設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -3

●プリントサイズを設定するには

本機ではフォトメディアキャプチャー用にプリントサイズが設定できます。

1. オプション ◯ を押します。
2. ◀ ▶ で「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｲｽﾞ」を選択。
3. セット を押し ◀ ▶ でﾌﾟﾘﾝﾄｻｲｽﾞを選択します。※1
4. セット を押して設定終了です。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｲｽﾞ

ｻｲｽﾞ:20.3x15.2

※1 ●設定できるプリントサイズは以下の通りです。　（単位 cm）
- ・14.6 × 10.8
- ・10 × 7.6
- ・10 × 7.6 × 6 枚
- ・20.3 × 15.2

●お買い上げ時は 10 × 7.6 に設定されています。

●選択したサイズの割り付け状態については P. 122 を参照してください。

●画質強調を「ON」にするには

本機ではフォトメディアキャプチャー用に画質強調の設定ができます。画質強調を「ON」にすると、自動的に画像に対して補正がかかり、より鮮やかにプリントできるようになります。また、お好みに合わせてカスタマイズすることもできます。 ※2

1. オプション ◯ を押します。
2. ◀ ▶ で「ｶﾞｼﾂｷｮｳﾁｮｳ」を選択します。
3. セット を押し ◀ ▶ で「ON」「OFF」を選択します。※2
4. セット を押して設定終了です。

ｶﾞｼﾂｷｮｳﾁｮｳ

ｶﾞｼﾂｷｮｳﾁｮｳ : ON

※2 ●画質強調をカスタマイズするには「画質強調を設定する」P. 143 を参照してください。

●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。



●これらの設定は、カードが挿入されている限り保持します。カードを抜くと自動的に初期設定に戻ります。

●オプションを設定されない場合は本機の初期設定で印刷されます。初期設定を変更する場合は P. 141 を参照してください。

●手順 4 では「ｾｯﾄ」ボタンを押すと、手順 2 に戻ります。
他のフォトメディアキャプチャーオプションを設定したいときは続けて手順 2 から行ってください。

おぼえておきましょう ●画質強調を「ON」にすると印刷時間が長くかかります。

フォトメディアキャプチャー設定 -2

フォトメディアキャプチャーの初期設定を変更する -1

本機の初期設定を変更します。変更された内容は次にフォトメディアキャプチャーを使うときにも有効です。一時的に設定内容を変更したい場合は「ｵﾌﾟｼｮﾝ」ボタンを使用して変更してください。P. 135

●用紙タイプを変更する

1. 機能 ナJKL 5 ア 1 を押します。
2. ◀ ▶ で用紙を選択し、※1 セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※1 ●設定できる用紙
- 普通紙
- インクジェット紙　ブラザー
- 　　　　　　　　　その他
- 光沢紙
- フォト用紙
- OHP シート

●お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

●画質を変更する

1. 機能 ナJKL 5 カABC 2 を押します。
2. ◀ ▶ で画質を選択し、※2 セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※2 ●画質は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」、「ｺｳｶﾞｼﾂ」、「ｼｬｼﾝ」のどれかが選択できます。

●お買い上げ時は「ｺｳｶﾞｼﾂ」に設定されています。

●明るさを調整する

1. 機能 ナJKL 5 サDEF 3 を押します。
2. ◀ ▶ で明るさを調整し、※3 セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※3 −□□□□□■□□□□□+

暗い ◀　▶ 明るい

●コントラストを調整する

1. 機能 ナJKL 5 タGHI 4 を押します。
2. ◀ ▶ でｺﾝﾄﾗｽﾄを調整し、※4 セット を押します。
3. 停止 を押して終了します。

※4 −□□□□□■□□□□□+

弱 ◀　▶ 強

▶ を押すとよりｺﾝﾄﾗｽﾄが強くなります。

●カラーを調整する

赤（R）、緑（G）、青（B）各色のバランスを調整します。

1. 機能 ナJKL 5 ナJKL 5 を押します。
2. ◀ ▶ で調整したいｶﾗｰﾊﾞﾗﾝｽを選択し、セット を押します。
3. ◀ ▶ でカラーを調整し、※5 セット を押します。
4. 停止 を押して終了します。

※5【例】「赤」を選んだ場合

R:−□□□□□■□□□□□+

少 ◀　▶ 多

▶ を押すと赤の割合が多くなります。

おぼえておきましょう ●入力機器を調整したほうが良い場合もあります。【例】ホワイトバランス

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

フォトメディアキャプチャー設定 -2

フォトメディアキャプチャーの初期設定を変更する -2

●画質強調を設定する

ホワイトバランス、シャープネス、カラー濃度を調整する機能です。

1. 機能 ナJKL⑤ ハMNO⑥ を押します。
2. ◀ ▶ で調整する項目を選択し、セット を押します。※1
3. ◀ ▶ で調整し、セット を押します。
4. 停止 を押して終了します。

※1●画質強調の設定では以下の項目について任意に設定できます。

・ホワイトバランス
イメージ中の白色部分の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いにプリントすることができます。

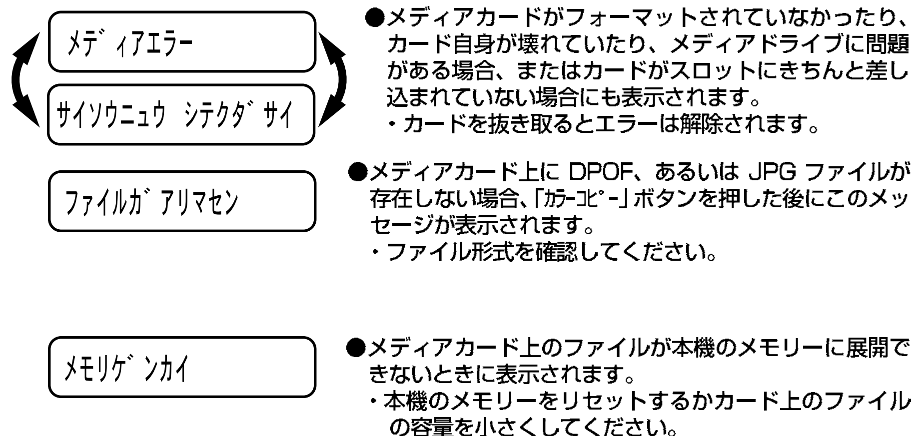
・シャープネス
イメージ中の輪郭部分のシャープさを調整します。ピントがぼけたイメージを調整して、はっきりとしたイメージに調整できます。

・カラー濃度
イメージ中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。イメージ全体をくっきりさせてプリントできます。

フォトメディアキャプチャーのエラーメッセージと制限事項

●エラーメッセージ

本機能を使用中に何らかの原因でエラーが発生すると以下のエラーメッセージが表示され、ビープ音が鳴ります。
以下の説明をよくお読みになり適切に対処してください。



●メディアカードがフォーマットされていなかったり、カード自身が壊れていたり、メディアドライブに問題がある場合、またはカードがスロットにきちんと差し込まれていない場合にも表示されます。
・カードを抜き取るとエラーは解除されます。

●メディアカード上に DPOF、あるいは JPG ファイルが存在しない場合、「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」ボタンを押した後にこのメッセージが表示されます。
・ファイル形式を確認してください。

●メディアカード上のファイルが本機のメモリーに展開できないときに表示されます。
・本機のメモリーをリセットするかカード上のファイルの容量を小さくしてください。

●制限事項

本機能をご利用になる場合、以下の事項にご注意ください。

●メディアカード上の DPOF ファイルは正しくフォーマットされたものをご使用ください。

●イメージファイルのフォーマットは JPG をご使用ください。（JPEG、TIFF その他のイメージファイルには対応しておりません。）

●メモリカード内に日本語のファイル名が付けられた JPG の画像データが含まれている場合、その画像データはプリントの対象となりません。この場合、該当する画像データのファイル名を英語に変えてください。

●PC上からデータを書き込んだ場合、本機能では4階層までしか読み込むことができません。プリントするファイルを保存する場合は 5 階層以上のフォルダ に保存しないでください。

●本機能を使ってのプリントと PC からのメディアカード操作 P. 215 は、同時には行えません。必ず片方の操作（作業）が終わってから操作（作業）してください。

コンピュータと接続する -1

接続の前に

本機とコンピュータを接続すると以下の機能がご利用になれます。

本機は同梱されている CD-ROM より、MFL-ProJ やその他のソフトウェアをインストールすると、マルチファンクションセンターとなります。

本機とコンピュータとの接続の概要

接続できるコンピュータ環境……………………………… P. 147
パラレルケーブルで接続する。……………………………… P. 149
(Windows®95/98/98SE/Me/2000Professional
WindowsNT®4.0)
USB ケーブルで接続する。………………………………… P. 149
(Windows®98/98SE/Me/2000Professional)
(MacOS8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4)

下記の機能をご利用になるにはソフトウェアが必要です。本機とコンピュータを接続後、インストールしてください。

ソフトウェアを選択する。………………………………… P. 151
Windows®にインストールする。………………………… P. 153
Macintosh® にインストールする。……………………… P. 175

マルチファンクションセンターの機能

プリンタとして使う。………………………………………… P. 177
スキャナとして使う。………………………………………… P. 199
メディアドライブとして使う。……………………………… P. 215

● OS またはお使いのプリンタケーブルによりセットアップ方法が異なりますので、お使いの OS またはお使いのプリンタケーブルの項目をお読みください。

お使いのコンピュータによっては、本機（ソフトウェア）の一部の機能が使えないことがあります。
コンピュータ環境を確認してください。P. 147



- 対応コンピュータは　PC/AT 互換機、Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機です。
- 対応 OS は Windows®95/98/98SE/Me/NT4.0/2000Professional、Mac OS 8.5 以上（Mac OS 9 対応）です。
- PC9800 シリーズには対応しておりません。
- Mac OS 8.5 をお使いの場合は、スキャナ機能が使えません。8.6 か 9.0 へバージョンアップが必要です。

ご使用の前に | 準備をしましょう | ファクスをする | レポート・リスト | コピーをする | ビデオプリントをする | フォトメディアキャプチャー | コンピュータと接続する | プリンタを使う | スキャナを使う | 日常のお手入れ | こまったときには | 用語集・索引

コンピュータと接続する -2

コンピュータ環境

本機をコンピュータとお使いいただくためには以下のコンピュータ環境が必要です。

Windows® 環境

CPU
Pentium75MHz 以上………………Windows®95/98/98SE
WindowsNT®Workstation Version4.0
Pentium133MHz 以上 …………Windows®2000Professional
Pentium150MHz 以上………………………………Windows®Me

RAM
24MB 以上……………Windows®95/98/98SE
(64MB 以上をお勧めします。)
32MB 以上……………Windows NT®Workstation Version4.0
Windows®Me
(64MB 以上をお勧めします。)
64MB 以上……………Windows®2000Professional
(128MB以上をお勧めします。)

必要ディスク容量
130MB 以上の空き容量

稼動システム
Windows®95/98/98SE/Me もしくは
WindowsNT®Workstation Version4.0SP3
Windows®2000Professional

CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須

Macintosh® 環境

CPU
Power PC G3 以上
Power PC G4 対応

RAM
32MB 以上
(64MB 以上をお勧めします。)

必要ディスク容量
100MB 以上のスペース

稼動システム
Mac　OS　8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4

インタフェース
USB（本体搭載機種）のみ

CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須



- Windows NT®3.51 または、それ以前のものをお使いであれば、下記のエラーメッセージが画面に表示されます。
「Windows NT®3.51 または、それ以前のものをお使いです。ブラザー MFL-ProJ はこの Windows NT® のバージョンではお使いになれません。Windows NT®4.0 にグレードをあげて MFL-ProJ をインストールし直してください。」
- WindowsNT®Workstation 4.0 あるいは Windows®2000Professional をお使いでアドミニストレーターとしてログインされていない場合、エラーメッセージが表示され問題を説明します。
- Mac OS 9.0.2、9.0.3 をお使いの場合は 9.0.4 へバージョンアップが必要です。
- Mac OS 8.5 をお使いの場合は、スキャナ機能が使えません。8.6 か 9.0 へバージョンアップが必要です。

おぼえておきましょう ●コンピュータの RAM 容量に余裕があると動作が安定します。



こんなときは……

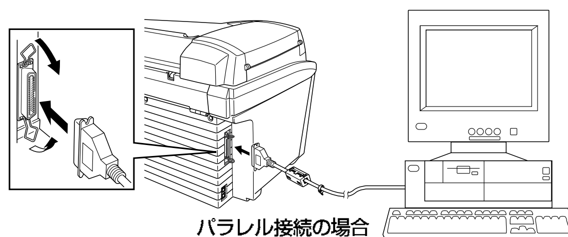
★ WindowsNT®/WS をお使いの方でアドミニストレーターとしてログインできない方はシステム管理者にお問い合わせください。

コンピュータと接続する -3

本機とコンピュータを接続する

●パラレルケーブルで本機とコンピュータを接続する。

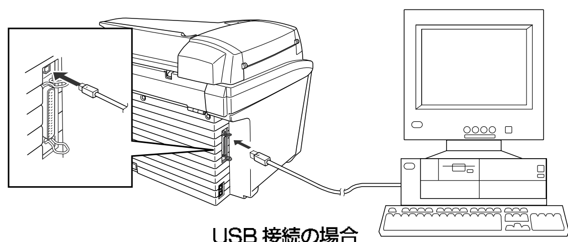
1. 本体に付属のフィルタとケーブルタイをケーブルに装着します。
   ●周辺機器への影響が軽減されます。装着をお奨めします。 ※1
2. パラレルケーブルで本機のパラレルポートと、コンピュータのパラレルポートを接続します。
   ●コネクタについているビスおよびワイヤクリップを止め忘れないでください。
3. 電源コードを接続します。



パラレル接続の場合

● USB ケーブルで本機とコンピュータを接続する。

1. USB ケーブルで本機の USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。
2. 電源コードを接続します。

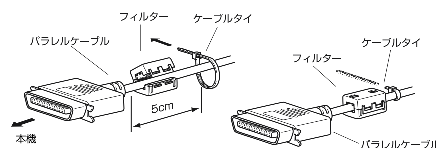


USB 接続の場合

作業を行う前に、必ず本機とコンピュータの電源コードをコンセントから抜いて、電源をオフにしてください。

※1●付属のフィルタとケーブルタイは下図を参考に取り付けてください。

パラレルケーブル



●接続が完了したらドライバとソフトウェアをインストールします。
OS またはお使いのプリンタケーブルによりセットアップ方法が異なりますので、お使いの OS またはお使いのプリンタケーブルの項目をお読みください。

ソフトウェアの選択 …………………… P. 151

パラレル接続でインストールする

Windows®95/98/98SE/Me…… P. 153

Windows®2000Professional … P. 156

WindowsNT®Workstation4.0 … P. 159

USB 接続でインストールする

Windows®98/98SE/Me ……… P. 163

Windows®2000Professional … P. 167

MacOS 8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4 …………………………………………… P. 175



●ケーブルについて
本機にはパソコン用のケーブルは付属しておりません。市販のケーブルをお求めください。接続には IEEE-1284 準拠で 1.8m 以下のインターフェイスケーブルか USB ケーブルをご使用ください。

● USB ケーブルで本機とコンピュータを接続した場合
Windows®98 CD-ROM があることを確認してから開始してください。(お使いの PC によっては、必要ない場合があります)

● Mac OS 9.0.2、9.0.3 をお使いの場合は 9.0.4 へバージョンアップしてからインストールしてください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

おぼえておきましょう ●ケーブルの接続はしっかりとコネクタに差し込んでください。接続不良の原因になります。

コンピュータと接続する -4

インストールするソフトウェアの選択

同梱の CD-ROM には以下のソフトウェアが収録されています。

お使いになりたいソフトウェアをお選びください。

●プリンタドライバ・スキャナドライバ

本機のプリンタ機能、スキャナ機能を利用するにはインストールが必要です。接続方法や、お使いのコンピュータによってインストールの方法が異なりますのでご注意ください。※1

● MFL-ProJ

本機をコンピュータから設定できるリモートセットアップをインストールします。P. 170

● Presto!™ PageManager と Presto!™ MaxReader

スキャナ機能、OCR 機能をお使いになるときに必要です。
また本機の操作パネルにあるスキャナ機能ボタン P. 1 をご利用になるにはインストールが必要です。P. 172

● Automatic E-mail Printing

E- メール を自動的にプリントしたり定期的に新着メールを確認する便利なソフトウェアです。さらに既存のメールソフトにも付加機能を提供します。P. 173

● Adobe Acrobat Reader4.0J

PDF ファイルを見るためにはインストールが必要です。
Presto!™ PageManager と Presto!™ MaxReader の取扱説明書は PDF ファイルです。

●ボーナスフォント

付属の CD-ROM には 7 種類の TrueType フォントが収録されています。ご希望のフォントをお使いのコンピュータにインストールできます。P. 174

※ 1パラレル接続でインストールする

Windows®95/98/98SE/Me…… P. 153

Windows®2000Professional … P. 156

WindowsNT®Workstation4.0 … P. 159

USB 接続でインストールする

Windows®98/98SE/Me ……… P. 163

Windows®2000Professional … P. 167

MacOS 8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4

……………………………………… P. 175

ブラザーリソースマネージャ

●本機とコンピュータを組み合わせて使用するときは、ブラザーリソースマネージャが必要となります。MFL-ProJ　ソフトウェアと Brother　MFL-Pro Printer は自動でリソースマネージャを起動します。リソースマネージャによって本機の双方向パラレルポートは、スキャン用の通信ポートと Windows GDI プリント用のパラレルポートをシミュレートします。



● WindowsNT®Workstation Version4.0 あるいは Windows®2000Professional でソフトウェアをインストールする場合、アドミニストレーターとしてログオンされる必要があります。MFL-ProJ をインストールしたら Windows NT® あるいは Windows®2000Professional を再起動させ、再度アドミニストレーターとしてログインしてください。これでリモートセットアップアプリケーションは終了です。リモートセットアップが終了したら通常のユーザーネームでログインしてください。

ドライバをインストールする〔Windows ®〕

Windows® にインストールする

●パラレル接続でのインストール -1

・Windows®95/98/98SE/Me にインストールする。

プリンタドライバ、スキャナドライバをインストールします。
インストールの前に本機とコンピュータが接続され、本機に電源が入っていることを確認してください。

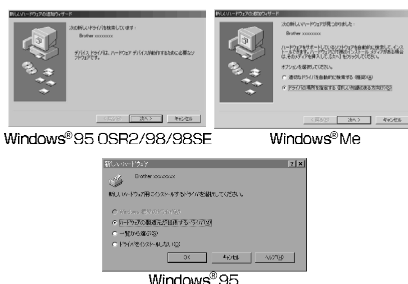
コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。

1

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されます。（お使いの OS によってウィザードが異なる表示をすることがあります。）
「次へ」をクリックします。

● Windows®95 をお使いの方
「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し「OK」をクリックします。

● Windows®Me をお使いの方
「ﾄﾞﾗｲﾊﾞの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し「次へ」をクリックします。



Windows®95 OSR2/98/98SE　　Windows®Me　　Windows®95

2

「使用中のﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、
「次へ」をクリックします。

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。



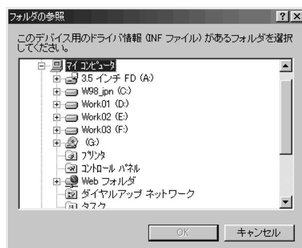
3

「検索場所の指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。次に「参照」をクリックします。



4 CD-ROM　のアイコンをダブルクリックし、「x:¥w9x¥para」フォルダを選択し「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。



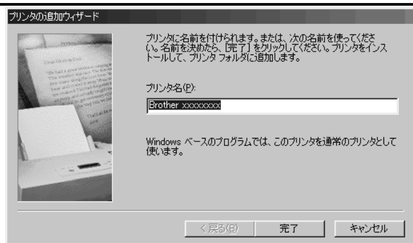
5 指定した場所が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。



6 プリンタドライバが正常に表示されているか確認して、「次へ」をクリックします。



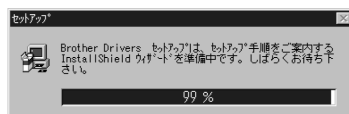
7 プリンタの名前を入力します。
表示されている名前でよければ「完了」をクリックします。

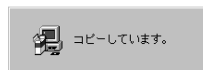


8 「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されたら「完了」をクリックします。



9 セットアップウィンドウが表示され、ステータスバーが 100%に達したら完了です。





10 右のように表示されたら「OK」をクリックします。





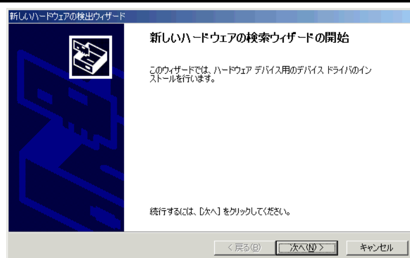
- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager」と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 172
- 「MFL-ProJ」やその他のソフトウェアをインストールする場合は P. 170 を参照してください。

●パラレル接続でのインストール -2

・Windows®2000 Professional にインストールする。

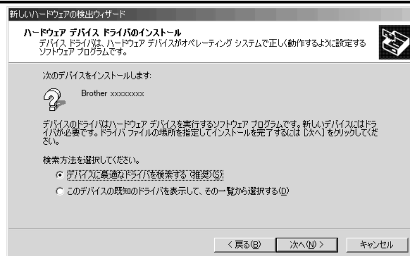
コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。
アドミニストレーターとしてログオンしてください。

1 「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

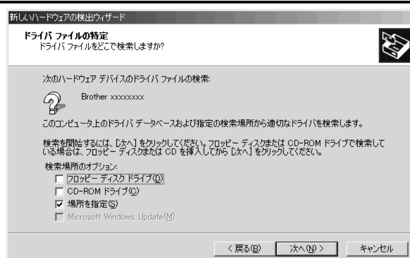


2 「ﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。

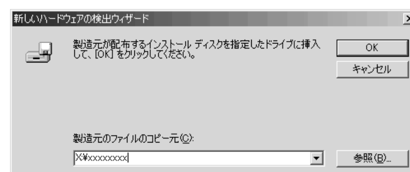
MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。



3 「場所を指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。
「次へ」をクリックします。



4 「製造元のﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」を指定します。
「参照」をクリックします。



5

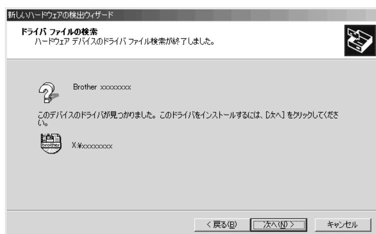
「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックして開き、「x:¥w2k¥para」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。。



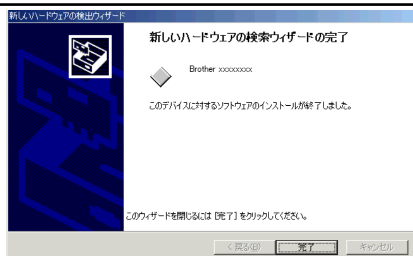
6

プリンタドライバが正常に表示されているか確認して「次へ」をクリックします。



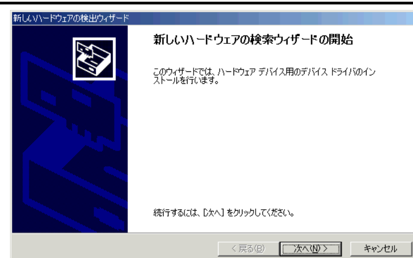
7

「完了」をクリックします。



8

手順 1 から 7 までを繰り返し、プリンタ、スキャナドライバをインストールします。

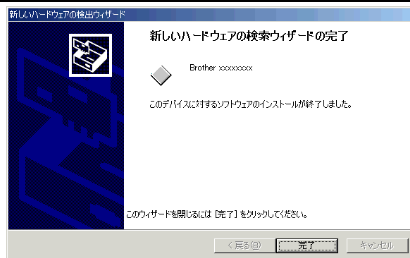


9

もし、インストールの途中に「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されても「はい」を選択して続けてインストールしてください。



10 すべてのインストールが終了したら「完了」をクリックします。



11 セットアップウィンドウが表示され、ステータスバーが 100%に達したら完了です。



12 右のように表示されたら「OK」をクリックします。





- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager」と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 172
- 「MFL-ProJ」やその他のソフトウェアをインストールする場合はP. 170を参照してください。

●パラレル接続でのインストール -3

・WindowsNT®Workstation4.0 にインストールする。

コンピュータの電源を入れ、WindowsNT® を起動します。
アドミニストレーターとしてログオンしてください。
WindowsNT® はプラグアンドプレイに対応していませんのでドライバを手動でインストールします。

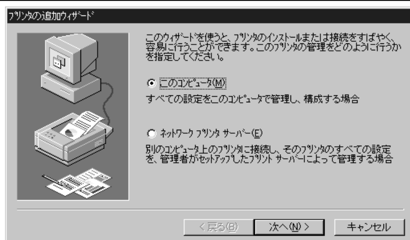
1

起動が完了したらタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「設定」－「ﾌﾟﾘﾝﾀ」を選択します。
右のように表示されたら「ﾌﾟﾘﾝﾀの追加」をダブルクリックします。



2

「このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」を選択し、「次へ」をクリックします。



3

「LPT1:」を選択し、「次へ」をクリックします。

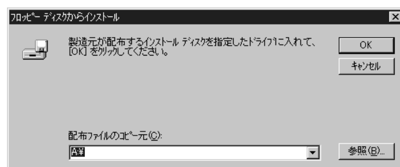


4

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットし「ﾃﾞｨｽｸ使用」をクリックします。



5 「参照」をクリックします。

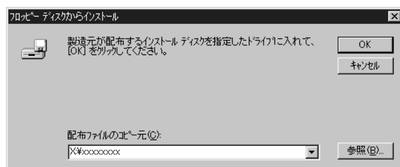


6 「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」をダブルクリックして開き「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックします。
「X:¥nt40」をクリックし、「開く」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。

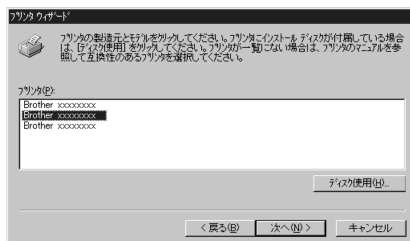


7 指定した場所が選択されていることを確認して「OK」をクリックします。



8 プリンタのモデルを選択し、「次へ」をクリックします。

●このダイアログボックスはいくつかのモデルを表示するかもしれません。ご使用になるモデルを選択してください。



9 プリンタの名前を入力します。
表示されている名前でよければ「次へ」をクリックします。



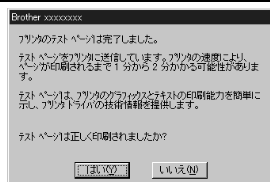
10 「共有しない」を選択し「次へ」をクリックします。



11 テストプリントを実行するために、「はい（推奨）」を選択し「完了」をクリックします。



12 テストプリントがされたあと、「はい」をクリックします。

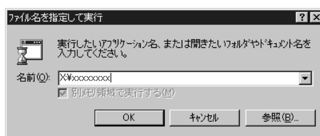


13 「ﾌﾟﾘﾝﾀ」フォルダの中に選択したプリンタが追加されます。



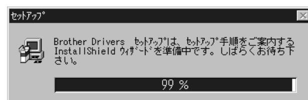
14 他のドライバ（スキャナドライバ等）をインストールするには、タスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択し「X:¥nt40¥setup¥setup.exe」と入力し、「OK」をクリックします。

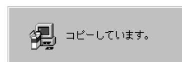
- X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。



15

セットアップウィンドウが表示され、ステータスバーが 100% に達したら、完了です。





16

右のように表示されたら「OK」をクリックします。





- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 172
- 「MFL-Pro J」やその他のソフトウェアをインストールする場合は P. 170 を参照してください。

ドライバをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

● USB 接続でのインストール -1

・Windows®98/98SE/Me にインストールする。

プリンタドライバ、スキャナドライバ、メディアドライバをインストールします。
インストールの前に本機とプリンタが接続され、本機に電源が入っていることを確認してください。

コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。

1

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されます。(お使いの OS によってウィザードが異なる表示をすることがあります。)
「次へ」をクリックします。

● Windows®Me をお使いの方
「ﾄﾞﾗｲﾊﾞの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し「次へ」をクリックしてください。



Windows® 98/98SE



Windows® Me

2

「使用中のﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。
MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。



3

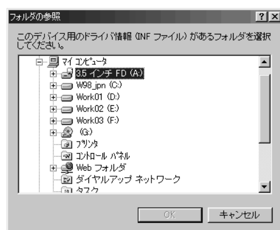
「検索場所の指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。次に「参照」をクリックします。



4

CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
Windows®98 の場合は「x:¥w98¥usb」、Windows®Me の場合は「x:¥wme¥usb」フォルダを選択し「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。



5

「検索場所の指定」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。



6

プリンタドライバが正常に表示されているか確認して、「次へ」をクリックします。

●もし、「ﾃﾞｨｽｸを挿入してください」と表示された場合は、MFL-ProJ CD-ROM を取り出し、Windows®98/98SE/Me CD-ROMを挿入し「OK」をクリックします。(Windows標準ドライバをインストールするために必要です。)



7

「完了」をクリックします。

●もし、「Windows®98/98SE/Me CD-ROM を取り出してください」と表示されたときは、MFL-ProJ CD-ROM をもう一度入れてください。



8

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が再び表示されたら「次へ」をクリックします。



9

「使用中のﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。

新しいハードウェアの追加ウィザード
検索方法を選択してください。
使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）
特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する
< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

10

「検索場所の指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。「次へ」をクリックします。

新しいハードウェアの追加ウィザード
新しいドライバは、ハード ドライブのドライバ データベースと、次の選択した場所から検索されます。検索を開始するには、[次へ] をクリックしてください。
フロッピー ディスク ドライブ(F)
CD-ROM ドライブ(C)
Microsoft Windows Update(M)
検索場所の指定(L):
X:¥xxxxxxxxx
参照(R)...
< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

11

プリンタドライバが正常に表示されているか確認して「次へ」をクリックします。

新しいハードウェアの追加ウィザード
次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します：
Brother xxxxxxxx
このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。別のドライバを選択するには、[戻る] をクリックしてください。[次へ] をクリックすると続行します。
ドライバのある場所：
X:¥xxxxxxxxx
< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

12

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」に「必要なｿﾌﾄｳｪｱがｲﾝｽﾄｰﾙされました」というメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。
引き続きその他のドライバをインストールするために手順８から12を繰り返してください。

新しいハードウェアの追加ウィザード
Brother xxxxxxxx
新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。
< 戻る(B)　完了　キャンセル

13

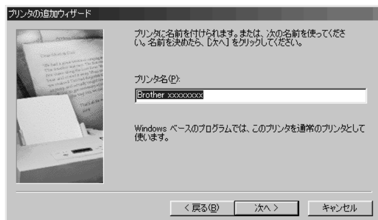
「BRUSB:USB Printer Port」をプリンタポートとし、「次へ」をクリックします。

プリンタの追加ウィザード
プリンタで使用するポートを選んで、[次へ] をクリックしてください。
利用できるポート(A):

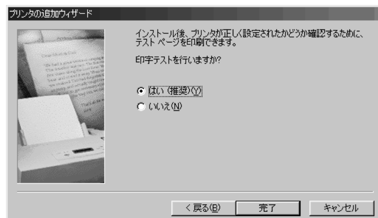
BRUSB:	USB Printer Port
COM1:	通信ポート
FILE:	Unknown Local Port
LPT1:	ECP プリンタ ポート

ポートの追加(P)...　ポートの設定(C)...
< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

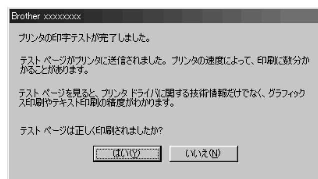
14 プリンタの名前を入力します。または画面上に表示された名前がよければ「次へ」をクリックします。



15 テストプリントを行うために「はい(推奨)」を選択し、「完了」をクリックします。



16 テストプリントがされたあと、「はい」をクリックします。



17 「新しいハードウェアの追加ウィザード」に「必要なソフトウェアがインストールされました」というメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。





- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャン、メディアドライブを利用できる準備が整います。
  スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager」と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 172
- 「MFL-Pro J」やその他のソフトウェアをインストールする場合はP. 170を参照してくだい。

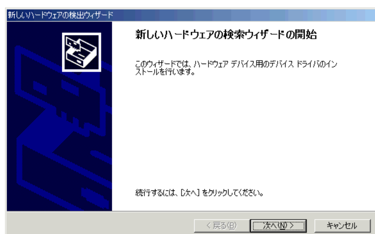
● USB 接続でのインストール -2

・Windows®2000 Professional にインストールする。

コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。
アドミニストレーターとしてログオンしてください。

1

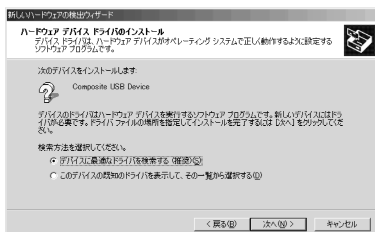
「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの検索ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されたら、「次へ」をクリックします。



2

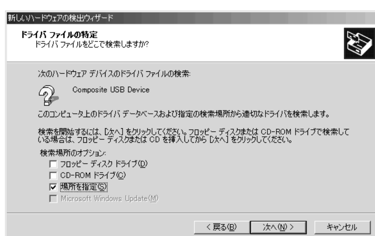
「ﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。



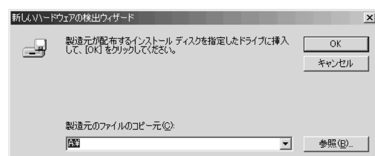
3

「場所を指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。
「次へ」をクリックします。



4

「製造元のﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」を指定します。
「参照」をクリックします。



5

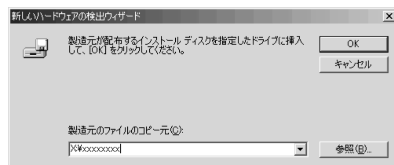
「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックして開き、「x:¥w2k¥usb」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。



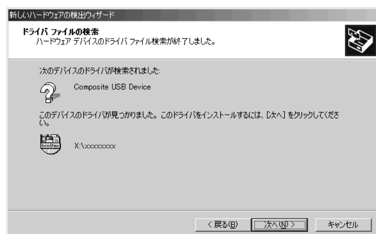
6

指定した場所が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。



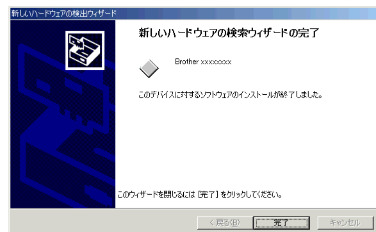
7

「 次へ」をクリックします。



8

「完了」をクリックします。
引き続きその他のドライバをインストールするために手順１から８を繰り返してください。



9 もし、インストールの途中に「インストールしようとしているソフトウェアには、Microsoft デジタル署名がありません。」と表示されても「はい」を選択し、続けてインストールしてください。





- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。
- 「MFL-ProJ」やその他のソフトウェアをインストールする場合は P. 170 を参照してください。

ソフトウェアをインストールする〔Windows ®〕

Windows® にインストールする

● MFL-ProJ をインストールする

お使いのコンピュータから本機を設定できるリモートセットアップがご利用になれます。

重要

MFL-ProJ ソフトウェアをインストールする前に必ずプリンタドライバ、あるいはスキャナドライバを先にインストールしてください。

1

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右の画面が自動的に表示されます。

●表示されない場合はタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択して「X:¥SETUP.EXE」と入力してください。（X の部分はお使いの CD-ROM のドライブ名に置き換えてください。）



2

「MFL-ProJ のインストール」をクリックします。
自動的にインストールが開始されます。
インストールが終了したらコンピュータを再起動してください。自動的にリモートセットアップの画面が立ち上がります。P. 171



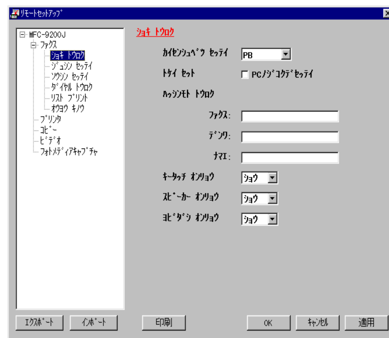


ソフトウェアをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

● MFC リモートセットアップ

MFC リモートセットアップを使用すると、コンピュータで本機の設定をすることができます。
この機能を使用するとお使いのコンピュータに本機の設定がダウンロードされて表示され、各種の設定がコンピュータ上で設定できます。変更された内容は本機に送信され有効になります。



OK
　ここをクリックすると設定された内容を本機に送信してプログラムを終了します。エラーメッセージが表示された場合は、正しく設定値を入力し直して再度クリックしてください。

キャンセル
　コンピュータ上に表示されている設定内容を本機に送信せずにプログラムを終了します。

適用
　本機に現在の設定内容を送信します。(プログラムは終了しません)

印刷
　選択された設定内容をプリントします。

インポート
　ファイルに保存されている設定を読み込みます。

エクスポート
　設定された内容をファイルに保存します。

Windows® にインストールする

● Presto !™PageManager と Presto !™MaxReader をインストールする

本機のスキャナ機能をさらに有効に使うためにインストールします。

1

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右の画面が自動的に表示されます。

●表示されない場合はタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択して「X:¥SETUP.EXE」と入力してください。(X の部分はお使いの CD-ROM のドライブ名に置き換えてください。)



2

「バンドルソフトウェア」をクリックします。



3

「インストーラ起動」をクリックすると、自動的にインストールされます。



ソフトウェアをインストールする〔Windows ®〕

Windows® にインストールする

● Automatic E-mail Printing をインストールする

電子メールを自動的にダウンロードし、指定時刻に自動受信、自動印刷できる便利なソフトウェアです。　Windows®95/98/98SE のみ

Automatic E-mail Printing の特長

主な機能

検索条件にあったメールのみを自動印刷

電子メールを印刷操作なしで受信と同時に自動で印刷します。

指定した時刻に自動アクセス

指定した時刻にサーバーに自動アクセスして新着メールをチェックできます。

マルチユーザー対応の電子メールソフト

複数のユーザーで共有できるため PC が 1 台だけでも安心です。

現在お使いのメールソフトにも付加機能が提供されます。

詳しくは付属の CD-ROM のオンラインドキュメント
Using Automatic E-mail Printing をお読みください。

1

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右の画面が自動的に表示されます。

●表示されない場合はタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択して「X:¥SETUP.EXE」と入力してください。（X の部分はお使いの CD-ROM のドライブ名に置き換えてください。）



2

「バンドルソフトウェア」をクリックします。



3

「インストーラ起動」をクリックすると自動的にインストールされます。



Windows® にインストールする

●TrueType フォントをインストールする

付属の CD-ROM には 7 書体の TrueType フォントが収録されています。
TrueType フォントをインストールするとアプリケーションで使用できるフォントの種類をふやすことができます。

1

1. 付属の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
2. タスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「設定」ー「ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ」を選択します。
3. 「ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ」ウインドウの中の「ﾌｫﾝﾄ」フォルダをダブルクリックして開きます。
4. ウインドウ内の「ﾌｧｲﾙ」メニューから「新しいﾌｫﾝﾄのｲﾝｽﾄｰﾙ」を選択します。
5. 「ﾌｫﾝﾄの追加」ダイアログの中で CD-ROM ドライブを選択し、「fonts」フォ ルダを選択します。
6. インストールしたいフォントを選択し、「OK」をクリックします。

ドライバをインストールする〔Macintosh ®〕

Macintosh® にインストールする

●ドライバをインストールする。

※ Mac OS 8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4 のみ
9.0.2、9.0.3 をお使いの場合は 9.04 へのバージョンアップが必要となります。

※ Mac OS 8.5 をお使いの場合はスキャナ機能が使えません。8.6 か 9.0 へバージョンアップしてからインストールしてください。

プリンタドライバとスキャナドライバをインストールします。
USB ケーブルは接続しないでください。
コンピュータの電源を入れ、Macintosh® を起動します。

1

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右のように自動的に表示されます。
表示されないときはデスクトップにある MFL Pro のアイコンをダブルクリックして開きます。



2

プリンタ、スキャナドライバをインストールするために、
「MFL Pro Driver Installer」アイコンをダブルクリックします。
自動的にインストールが開始されます。
インストールが完了したら 、本機と Macintosh を接続します。
新しいドライバを認識させるためにコンピュータを再起動します。



●日本語の　Mac OS をお使いの場合、ドライバをインストールする際に現れる言語選択は必ず "Japanese" を選択してください。日本語版 Mac OS での英語版ドライバの使用は動作保証の対象になりません。

ソフトウェアをインストールする〔Macintosh®〕

Macintosh® にインストールする

●TrueType フォントをインストールする

付属の CD-ROM には 7 書体の TrueType フォントが収録されています。
TrueType フォントをインストールするとアプリケーションで使用できるフォントの種類をふやすことができます。

1 **MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。**
Fonts をダブルクリックして開きます。



2 **お好きなフォントファイル（スーツケース）をシステムフォルダにドラッグコピーします。**



プリンタとしての特長

プリンタについて

本機は高品質のインクジェットプリンタとして多くの特長を備えています。

ハイスピードプリント
ドラフトモードを使用することで 1 分間に最高 10 枚のフルカラープリントができます。
※プリント時間はプリントする内容によって違います。

300dpi 出力
本機は通常 300dpi フルカラーでプリントを行います。

600dpi 出力
特殊コーティング紙や光沢紙に高解像度 600dpi でプリントします。

1200dpi 出力
特殊コーティング紙や光沢紙に最高解像度 1200dpi でプリントします。

経済的なプリントコスト
なくなったカラーのインクカートリッジだけ交換することができ、経済的です。

双方向パラレルインターフェース（IEEE1284 対応）に対応
本機のパラレルポートはコンピュータとの双方向通信に対応します。

USB(Universal Serial Bus) に対応
本機の USB ポートはコンピュータとの高速通信に対応します。

多彩な用紙対応
本機は普通紙、インクジェット用紙、光沢紙、OHP フィルムおよび、封筒にまで対応します。

画質強調
本機はプリントするイメージに対してより鮮やかに、また、よりシャープに補正を加えることができます。また、この設定はカスタマイズも可能です。

●プリント解像度の設定については P. 193 を参照してください。

●インクカートリッジの交換については P. 219 を参照してください。

●コンピュータとの接続については P. 145 を参照してください。

●用紙についての詳細は、P. 193 を参照してください。

●画質強調についての詳細は、P. 197 を参照してください。

メモ

●本機はファクスの送受信中やスキャニング中でもコンピュータからのデータをプリントすることができます。本機がコンピュータからプリント中に、コピーあるいは用紙にファクスを受信するとプリント操作が一時停止します。コピーあるいはファクス受信が完了すると、プリント操作を再開します。ファクス送信は、プリント中でも継続されます。

●本機では双方向印字と片方向印字が選択できます。片方向印字のほうが高品質に印字できますがプリントスピードは半減します。P. 185

おぼえておきましょう ●出力するソフトウェアの種類によっては出力できない場合もあります。

プリンタとして使う -1

アプリケーションからの印刷

■ Windows®、Mac OS からの印刷

Microsoft Windows®95/98/98SE/Me/2000Professional, Windows NT®Workstation Version 4.0、および Apple 社製 Macintosh の USB ポート搭載機で、MacOS 8.5 以上（MacOS 9 対応）のプリンタドライバが、付属の CD-ROM でご利用になれます。これらのドライバはインストーラプログラムを使用して、Windows®、Mac OS に簡単にインストールでき、経済的な印刷モードや用紙のカスタムサイズの設定ができます。



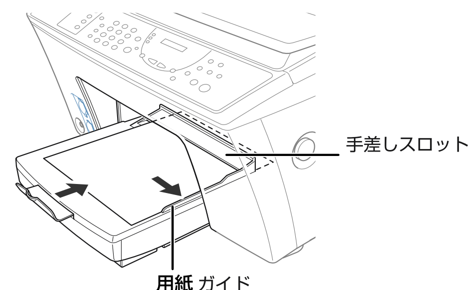
- 本機をプリンタとして使用するためにはコンピュータ側のプリンタドライバの設定が必要になります。 P. 187
- アプリケーションソフトウェアから、用紙サイズ、用紙方向などを設定できます。
- アプリケーションソフトウェアがカスタム用紙サイズをサポートしていない場合は、カスタム用紙サイズより大きめの最も近いサイズの用紙を選択して、アプリケーションソフトウェアで上下左右の余白 (マージン) を変更して、プリント範囲を調節してください。

プリンタとして使う -2

手差しスロットを利用してプリントする

本機の用紙カセットの上には手差しスロットがついています。手差しで給紙するときも用紙カセットにセットしてある用紙を取り除く必要はありません。使用できる用紙については、「使用可能な用紙」P. 7を参照してください。

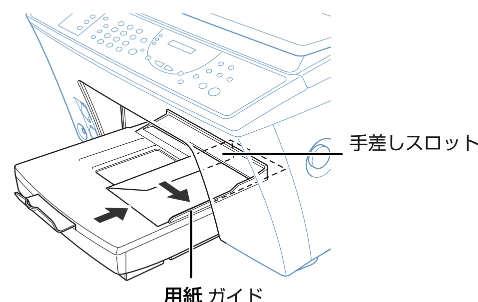
普通紙の場合



● 1 枚だけ給紙する

1. プリンタドライバの [設定] 画面から、用紙のサイズを選択します。
2. 用紙を手差しスロットにプリントする面を下にして、用紙方向 (縦／横) を確認して、用紙をまっすぐにして手差しスロットの右側の用紙ガイドに合わせて挿入します。

封筒の場合



●封筒にプリントする

1. プリンタドライバの [設定] 画面を開き、封筒のサイズを選択します。
2. 本体右側面のスキャナカバーリリースボタンを押しスキャナカバーを持ち上げます。
3. 紫色の用紙厚さ調整レバーを下げスキャナカバーを閉じます。
4. 封筒を右側の用紙ガイドに合わせて挿入します。



●ワープロなどお使いのアプリケーションソフトウェアから、給紙方法、用紙サイズ、用紙方向を選ぶことができます。

●給紙方法で「手差し」を選択していないときに手差しスロットに用紙をセットした場合は、最初のページを手差しスロットから給紙し、残りのページを用紙カセットから給紙します。

●お使いのアプリケーションソフトウェアで使用したい用紙サイズをサポートしていない場合は、それよりひとつ大きな用紙サイズを選び、上下左右の余白 (マージン) を変更して、プリント範囲を調節してください。

排紙トレイ
●本機は、プリントし終わった用紙を前面にある排紙トレイに、プリントした面を上にして排出します。排紙を受けるときは、補助トレイを使用してください。

● OHP 用紙などにプリントする場合、次に印字される用紙を汚すことがあります。用紙はすぐに排紙トレイから取り除いてください。

はがきは用紙カセットから給紙してください

はがきにプリントする場合は用紙カセットから給紙してください。手差しスロットから給紙すると紙づまりになります。

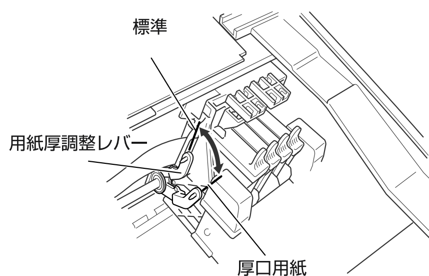
特殊な用紙をプリントする

厚用紙にプリントする

より厚い用紙をご利用になる場合は用紙厚調整レバーを調整する必要があります。封筒、厚口用紙（75g/m2）以上の用紙をご利用になるとき調整してください。

●用紙厚調整レバーを操作するには

1. ADF がきちんと閉じられていることを確認してから、スキャナカバーリリースボタンを押し、スキャナカバーをロックする位置まで持ち上げます。
2. 紫色の用紙厚調整レバーを下げます。
3. スキャナーカバーを閉じます。



●標準の用紙でプリントされるときはレバーを標準位置に戻してからプリントしてください。

●極端に厚い用紙はプリントできない場合があります。

●ご使用になれる用紙の詳細については P. 7 を参照してください。



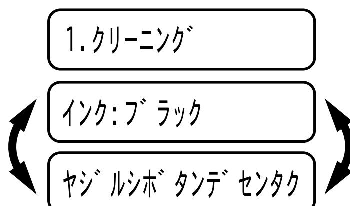
プリンタヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニング

プリントの画質に問題があるときはヘッドクリーニングをお奨めします。

●ヘッドクリーニングするには

1. インクカートリッジ ◯ を押します。
2. ◀▶で ア(1) を選択します。
3. ◀▶でクリーニングしたい色を選択し セット● を押します。※1
ヘッドクリーニングが開始されます。



※1 ●プリントした画像に横縞が目立つときなどにご利用ください。

●ヘッドクリーニングは約8分ほどかかります。

●ブラック、イエロー、シアン、マゼンタ4色同時にクリーニングすることもできます。



●ヘッドクリーニングを５回行っても問題が解決しない場合はフリーダイヤル「0120-143410」へご連絡ください。

おぼえておきましょう ●ヘッドクリーニングを行うとある程度インクが消耗します。



こんなときは…
★１回のヘッドクリーニングで問題が解決しないときは再度行ってください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / レポート・リスト / コピーをする / ビデオプリントをする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こまったときには / 用語集・索引

プリンタの設定を変更する -1

プリンタの設定変更

本機では「機能」ボタンを使って印字品質の改善をすることができます。

●テストプリントするには

印字品質が良くなかったり、各種の設定を変更したときにテストプリントをして印字品質を確認できます。

1. 機能 カABC 2 ア 1 を押します。
   1.テストプリント
2. スタート を押すとテストプリントが開始されます。
3. 停止 を押すと終了します。

●テストシートがプリントされます。印字品質の確認等にご利用ください。

●縦罫線を調整するには

縦方向のプリンタヘッドのズレを調整します。

1. 機能 カABC 2 カABC 2 を押します。
   タテケイセンチョウセイ
2. スタート を押すとテストページがプリントされます。
   300DPI チョウセイ
3. テストページの指示にしたがって 300dpi と 600dpi の該当する番号を入力します。
   2.バンゴウセンタク(1-9)
   600DPI チョウセイ
4. 停止 を押すと終了します。

●文字が左右にずれてプリントされるときなどに有効です。

● 300DPI,600DPI 両方とも番号を入力してください。

●印字方法を変更するには

1. 機能 カABC 2 サDEF 3 を押します。
   3.ソウホウコウインジ
2. ◀ ▶ で「ON」か「OFF」を選択し、
   ソウホウコウインジ:ON
   ヤジルシボタンデセンタク
   セット を押します。

●本機では片方向印字と双方向印字が選択できます。片方向印字のほうが高品質に印字できますがプリントスピードは半分になります。通常は双方向で印字することをお奨めします。

●お買い上げ時は「ON」（双方向印字）に設定されています。



プリンタの設定を変更する

プリンタドライバの設定

● Windows® でプリンタドライバの設定をする。

本機でコンピュータからプリントする際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

1

アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」メニューから「ﾌﾟﾘﾝﾄ」を選択します。
「ﾌﾟﾘﾝﾄ」ダイアログボックスの中で本機のプリンター名を選択し、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」をクリックします。
右の画面が表示され、以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 部数 / 印刷順序
- 用紙厚さ
- レイアウト
- 給紙方法



2

手順 1 の画面でダイアログ内の「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブをクリックすると右の画面が表示され、以下の項目が設定できます。

- 印刷品質
- 用紙種類
- 印刷文書
- カラー / 白黒
- 双方向印刷



3

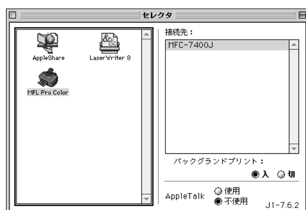
上記手順 1、2 で選択した設定を有効にするために「適用」をクリックします。
お買い上げ時の設定に戻すためには「規定値に戻す」をクリックしてから「適用」をクリックします。
「OK」をクリックすると「ﾌﾟﾘﾝﾄ」ダイアログボックスに戻ります。

●設定内容の詳細は P. 189 を参照してください。

● Macintosh でプリンタドライバの設定をする。

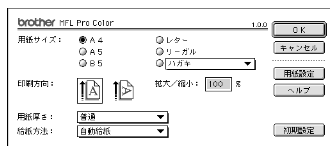
1

アップルメニューより「ｾﾚｸﾀ」を選択します。
MFL Pro Color アイコンをクリックします。(アイコンの色が強調表示されます。)
セレクタの右の欄にあるプリンタ名をクリックしてからセレクタを閉じます。



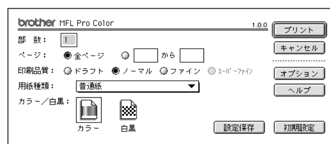
2

アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」メニューから「用紙設定」を選択します。
用紙のサイズ、厚さ、給紙口、用紙の向き、倍率等が変更できます。
設定が決まったら、「OK」をクリックします。



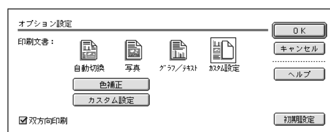
3

アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」メニューから、「ﾌﾟﾘﾝﾄ」を選択します。
ウィザードが表示されページの変更、品質、枚数、メディアタイプ、カラー / モノクロの変更ができます。
「ﾌﾟﾘﾝﾄ」をクリックしプリントします。



4

「ｵﾌﾟｼｮﾝ」をクリックすると、原稿のタイプとプリントオプションの設定ができます。
設定を変更し、「OK」をクリックするとプリントウィザードへ戻ります。





●オプションを設定する場合は「ﾌﾟﾘﾝﾄ」をクリックする前に設定してください。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -1

プリンタドライバで変更できる設定の内容は以下のとおりです。

●用紙サイズ

下記の用紙と封筒のサイズを選択するか、ユーザー定義サイズを入力します。

レターサイズ	215.9 × 279.4mm
リーガルサイズ	215.9 × 355.6mm
エクゼクティブ	184.2 × 266.7mm
A4	210.0 × 297.0mm
A5	148.0 × 210.0mm
JIS B5	182.0 × 257.0mm
官製ハガキ	100.0 × 148.0mm
封筒	
洋形定形最大	120.0 × 235.0mm
洋形４号	105.0 × 235.0mm
COM-10	104.8 × 241.0mm
DL	110.0 × 220.0mm
Monarch	98.4 × 190.5mm
バイブルサイズ	95.3 × 171.5mm
B6	128.0 × 182.0mm
ユーザー定義サイズ	最小 95.3 × 148.0mm 最大 216.0 × 355.6mm

●印刷方向

プリントする方向を設定します。「縦」か「横」が選択できます。

ユーザー定義用紙サイズの設定のしかた

1. 使用したい用紙のサイズをはかります。
2. 「ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ」を選択します。
3. 用紙サイズに名前をつけます。
4. 用紙サイズの単位（ﾐﾘまたはｲﾝﾁ）を選択します。
5. 長さと幅を入力します。
6. サイズを保存するには「保存」をクリックします。



●プリンタドライバでの設定はお使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

●アプリケーションソフトによっては用紙サイズの設定を無効にしてしまう場合があります。ご使用のアプリケーションソフトに適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。

●最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何もプリントされないことがあります。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 2

●部数 / 印刷順序

部数
　プリントする部数を入力します。
部単位で印刷
　複数のページを複数部プリントするとき、1 部ずつプリントします。
　全てのプリントデータを読みとってからプリントを開始しますので
　プリント時間は長くなります。
逆順で印刷
　最後のページからプリントを開始します。時間がかかりますのでご
　注意ください。

●用紙厚さ

用紙の厚さを選択します。以下の種類が選択できます。
　普通 / 薄紙 / 厚紙 / 極厚

●用紙の厚さは通常の普通紙をご使用の場合は「普通」を選択してください。
封筒あるいは厚い用紙をご使用の場合は「厚紙」「極厚」を選択してください。

●レイアウト

プリントする倍率を設定します。「100%」か「2 ﾍﾟｰｼﾞ」を選択するか、50%から 200%の間に設定することができます。

●「2 ﾍﾟｰｼﾞ」を選択すると 2 ページを 1 枚の用紙に自動縮小してプリントします。この機能を選択した場合は倍率を設定できなくなります。

●給紙方法

用紙の給紙方法を設定します。「自動給紙」か「手差し」を選択します。
「自動給紙」の場合は用紙カセットから給紙されます。

●「手差し」を選択した場合、用紙を 1 枚ずつ手差しスロットに給紙します。本機はプリントを開始する前にコンピュータのディスプレイに「用紙をセットします」というメッセージを表示します。
手差しスロットに用紙を挿入して「OK」をクリックするとプリントを開始します。



●プリンタドライバでの設定は
お使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。
お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

●お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となります。同時に使用しないでください。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -3

●印刷品質

プリント画質を設定します。以下の４種類から選択できます。

ドラフト ....300dpi × 150dpi
最高速印刷モードでインク消費も押さえられます。

ノーマル ....300dpi × 300dpi
通常、このモードを使用します。品質と印刷時間のバランスがとれています。

ファイン ....600dpi × 600dpi
ノーマルモードより、さらに高画質でプリントします。

スーパーファイン........................1200dpi × 1200dpi
写真のような精密なイメージをプリントするとき使用します。

●「ドラフト」モードは「ノーマル」モードの２～３倍の速度で印字します。文書を大量にプリントするときや、校正用の文書をプリントするときに使用します。

●高画質なモードになるほどプリントデータが大きくなるためプリントに時間がかかるようになります。

●用紙種類

用紙の種類を選択します。用紙の種類によって最適な印刷品質を選択することをお奨めします。

普通紙 ....ノーマル
インクジェット紙........................ファイン
光沢紙 ....スーパーファイン
フォト用紙...................................スーパーファイン
OHP フィルム ....ノーマル
OHP フィルム（左右反転）........ノーマル

●プリント品質は用紙の種類に合わせた印刷品質のモードを選択することによって向上します。



●プリンタドライバでの設定は
お使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。
お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -4

●印刷文書

プリントする文書のタイプを設定します。文書のタイプに合ったモードを選択してください。

自動切換
自動的に文書タイプを選択します。通常このモードをご使用ください。

写真
写真をプリントする場合に選択します。

グラフ / テキスト
一般のビジネス文書（ﾃｷｽﾄ、ﾁｬｰﾄ、ｸﾞﾗﾌを含む文書）の場合に選択します。

カスタム設定
カラーマッチングや画質強調を手動で設定したいときに選択します。
カスタム設定の詳細については P. 197 を参照してください。

●文字や写真が混在する文書の場合は「自動切換」を選択してください。
テキストやビジネスグラフィックは鮮やかにプリントされ、写真はやわらかな画像にプリントされます。

●カラー / 白黒

プリントするカラーを設定します。「カラー」か「白黒」を選択します。

●「白黒」を選択してカラーのイメージをプリントすると256階調のグレースケールでプリントされます。白黒のイメージを「ｶﾗｰ」でプリントしてもカラーではプリントされません。

●双方向印刷

プリントの方法を設定します。チェックマークをはずすと片方向印刷に切り替わります。プリント速度は遅くなりますがプリント品質は向上します。



●プリンタドライバでの設定は
お使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。
お使いのプリンタドライバによっては利用できない項目がある場合もあります。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -5

カスタム設定について

カスタム設定を選択すると「色補正」「カスタム設定」ができるようになります。

●色補正
・マッチモニター
カラーをお使いのモニターのカラーに最も近い色に調整します。
写真のイメージに適用します。
・ビビッドカラー
カラーをより鮮やかな色に調整します。チャート、グラフ、テキストのようなビジネスグラフィックに適用します。

●カスタム設定
ハーフトーンパターンと画質強調を選択できます。
・ハーフトーンパターン
本機はハーフトーンのパターンを変更することができます。原稿に合わせて選択することができます

フォト
写真のようなイメージに適用します。なめらかなハーフトーンを作成します。
データ処理に時間がかかりますが、写真のようなイメージでプリントできます。

クラスタ
チャート、グラフ、図のようなビジネスグラフィックに適用します。よりシャープなイメージに仕上がり、処理時間も短くなります。

・画質強調
より高品質なプリントをするためにカラーを調整します。

画質強調「ON」
より鮮やかにプリントするためイメージを自動的に補正をします。この設定を選択するとプリント時間が長くなります。

シャープネス
イメージ中の輪郭部分のシャープさを強調します。ピントがぼけたイメージを調整して、はっきりとしたイメージに調整できます。

カラー濃度
イメージ中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。イメージ全体をくっきりさせてプリントできます。

ホワイトバランス
イメージ中の白色部分の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いにプリントすることができます。

明るさ
イメージ全体の明るさを調整します。

コントラスト
イメージのコントラストを調整します。

赤・緑・青
イメージ中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
【例】全体に赤味を加えるには赤の割合を増加させます。



●プリンタドライバでの設定は
お使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。
お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

スキャナとして使う -1

Presto!™ PageManager について（Windows® 環境のみ）

Presto!™ PageManager は、書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができます。Presto!™ PageManager は、スキャナから取り込んだ文書や写真を、サムネイル表示を使って見やすく管理したり、加工したり、電子コピーとしてコンピュータに保存しておく機能を兼ね備え、電子ファイリングから電子メールまで行えます。
本ソフトの操作の詳細については、電子マニュアル（PDF ファイル）とソフトに付属しているオンラインヘルプを参照してください。
また、Presto!™ PageManager をお使いいただくために必要な環境についてはインストールの前に必ずお読みください。

●スキャナ機能ボタンの使い方と設定

スキャナ機能ボタンは操作パネル上にあります。P. 2
コンピュータが「ON」の状態でスキャニングを開始し、イメージをコンピュータに転送後、ファイリング、日本語 OCR 処理によるテキストデータへの変換、E メール送信といった指定処理を、Presto!™ PageManager を介して自動的に実行させます。
これらのボタンには初期設定によるそれぞれの機能があらかじめ割り当てられています。詳細は以下の通りです。

スキャンボタン

画像取り込み後 Presto!™ PageManager を起動し、コンピュータへの画像転送を実行します。転送された画像データは、Presto!™ PageManager のファイリング機能によって整理できます。

スキャン OCR ボタン

画像取込み後 Presto!™ MaxReader 日本語 OCR を起動し、同画像データに OCR（光学的手法による文字認識）の処理を実行します。認識処理後、MaxReader 画面にてテキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャン E メールボタン

画像取込み後 E メールソフトを起動し、コンピュータへの画像転送を実行します。転送されたデータは、自動的にメールに添付されますので、即送信が可能です。

※各ボタンの設定は変更することができます。詳しくはソフトウェアに付属の電子マニュアルをご参照ください。

内容構成

● Presto!™ PageManager は Windows® 対応です。下記ソフトウェアのバージョンは製品のヘルプメニューのバージョン情報を参照してください。
● Presto!™ PageManager［Windows® 対応］
● Presto!™ MaxReader ［Windows® 対応］

動作環境

● Pentium® プロセッサ以上を搭載した IBM PC/AT またはその互換機

● 8MB 以上の RAM （16MB 以上推奨）

● Presto!™ PageManager　61MB 以上
Presto!™ MaxReader　32MB 以上
の空きスペースを持つハードディスク、CD-ROM ドライブ

●日本語 Microsoft Windows® 95/98/98SE
Windows® 2000Professional、
Windows NT® 4.0
※ Windows® Me に対応予定
（2000 年 9 月現在）

推奨システム構成

● 256 色カラー SVGA またはそれ以上のグラフィックスボード
●イメージスキャナ
●プリンタ
● Windows® の場合：電子メールソフト
（現在サポートしている電子メールソフトの詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルをご覧ください。）



おぼえておきましょう ●スキャニングを効率よく行うにはまず使用目的をはっきりさせることが大事です。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

スキャナとして使う -2

Presto !™ PageManager の特長

- フルカラーでスキャン可能
- スキャナ、プリンタなどの様々な入出力装置を統合して、文書や写真を入出力
- スキャンしたデータのアプリケーション（電子メールソフト含む）へのダイレクト転送
- 文書スキャンおよびレイアウト保持機能
- 取り込んだ文書や写真を電子ファイリングで効率的に管理
- サムネイル表示で文書や写真が一目瞭然
- 画像を文字認識処理（OCR）して、テキストに変換
- 文書や写真に文字、メモなどを直接追加可能
- 100 種類以上のアプリケーションとのリンク機能
- Presto!™ Wrapper による画像転送（電子メール経由）※1
- PhotoNet を介した画像のアップロード／ダウンロード可能
- HTML フォーマット対応
- カラー画像での文字認識処理（OCR）、および元の画像上における文字のレイアウトの保持可能
- あいまい検索機能
- 写真を補正編集
- 写真を選んでオリジナル･スライドショー
- 撮った写真を電子メールに添付して送信



※1 Presto!™ Wrapper は、画像をビューアと一緒にパッケージできるソフトウェアです。送信したい画像を選択し、Presto!™ Wrapper を転送形式として指定して、自己ラップ型実行可能ファイルを作成すると、ファイルを電子メールメッセージに添付し送信できます。受信者はファイルを実行するだけで画像を表示できます。

画像をテキストに変換する〔OCR 機能〕

Presto!™ PageManager は、取り込まれた画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、仮名（ひらがな、カタカナ）、アルファベット、アラビア数字および図表を伴うドキュメントなどが認識可能です。また、このファイルは TXT、RTF、DOC、XLS、SLK、CSV などのファイル形式で保存でき、一般的なドキュメント処理ソフト（Microsoft® Word、Microsoft® Excel など）上で開いて編集することも可能です。さらに、ファイルを HTML 形式で保存し、ブラウザ（Microsoft® Internet Explorer®、Netscape Navigator® など）を使用して、直接開くこともできます。

1. Presto!™ PageManager のメイン画面で、サムネイルを選択します。
2. サムネイルを PageManager 画面下部アプリケーションバーに表示している MaxReader 日本語 OCR のアイコン上にドラッグ＆ドロップします。
3. ドラッグ＆ドロップした画像とともに MaxReader が起動します。[自動] ボタンをクリックすると、OCR 文字認識処理を実行できます。

●OCR 機能は、画像に保持されたテキストを編集可能なテキストに変換します。ドキュメントを選択した場合はドキュメント内に保持されている全ての画像は認識された文字となります。
テキストが認識されると、OCR が実行したテキストは［検索］機能により画像の内容の一部として見なします。したがって、ドキュメントは検索がより簡単になります。

●Presto!™ MaxReader 日本語 OCR に関する詳細はソフトウェアに付属の電子マニュアルをご参照ください。

テクニカルサポート

●ニューソフトジャパン株式会社
●東京都港区新橋 6-21-3
●ニューソフトカスタマーサポートセンター
●Tel:03-5472-7008
Fax:03-5472-7009
受付時間：10:00 ～ 12:00
13:00 ～ 17:00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
●テクニカルサポート
電子メール：　support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp



●認識されたテキストファイルのデータ量は、認識処理前の画像ファイルに比べて小さくなります。

おぼえておきましょう ●きれいな原稿のほうが読み取り率が向上します。

ご使用の前に　準備をしましょう　ファクスをする　レポート・リスト　コピーをする　ビデオプリントをする　フォトメディアキャプチャー　コンピュータと接続する　プリンタを使う　スキャナを使う　日常のお手入れ　こまったときには　用語集・索引

スキャナとして使う -3

原稿のスキャニング

● TWAIN 対応

ブラザー MFL-ProJ のスキャナドライバは TWAIN 対応です。TWAIN ドライバは、スキャナとソフトウェアアプリケーション間のプロトコルに対応しています。これにより画像を本機付属の Presto!™Page Manager に直接スキャンできます。また、TWAIN 対応の他のアプリケーション（Adobe Photoshop 等）にも直接スキャンできます。
スキャナドライバをご利用になるには、インストールが必要です。
ブラザーMFL-ProJ をスキャナドライバとして選択するには、「ファイルメニュー」の「TWAIN 対応機器の選択…」から選択してください。

●スキャナにアクセスする

Presto!™ PageManager 画面より Scan か TWAIN ボタンを選択するか、ドロップダウンメニューのファイルより Acquire を選択してください。MFL-ProJ の TWAIN ダイアログボックスを表示します。



原稿をコンピュータにスキャンする

1. ADF または原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. 必要に応じて TWAIN のダイアログボックスで下記項目を設定します。
   - 画質
   - カラータイプ（白黒、グレイ [誤差拡散方式]、256 階調グレイ、256 色、24 ビットカラー）
   - サイズ
3. TWAIN のダイアログボックスから、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを選択します。スキャニングが終了したら「ｷｬﾝｾﾙ」を押して Presto!™PageManager 画面に戻ってください。
（詳しくは、Presto!™PageManager の取扱説明書をご覧ください。）





おぼえておきましょう ●グラフィックアプリケーションに直接取り込む場合はプラグインが利用できる場合があります。

スキャナとして使う -4

TWAIN のダイアログボックスでの設定

■ TWAIN のダイアログボックスでの設定
画質のドロップダウンリストからスキャニングの画質を選択してください。画質が高くなると必要なメモリや送信時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。選択できる画質は以下のとおりです。

・100 × 100dpi　・100 × 200dpi　・150 × 150dpi
・200 × 200dpi　・300 × 300dpi　・400 × 400dpi
・600 × 600dpi　・1200 × 1200dpi　・2400 × 2400dpi
・4800 × 4800dpi　・9600 × 9600dpi

■サイズ
下記のどれかにサイズを設定してください。
・レター（8 1/2 × 11 インチ）
・A4（210 × 297mm）
・リーガル（8 1/2 × 14 インチ）
・A5（148 × 210mm）
・B5（182 × 257mm）
・エクゼクティブ（7 1/4 × 10 1/2 インチ）
・名刺（90 × 60mm）
・カスタム（8.9 × 8.9mm から 215.9 × 355.6mm まで調整できます）

■カスタム
選択したサイズを表示します。スキャンする範囲を自動的に名刺サイズにするには、名刺サイズのボックスをチェックしてください。

■用紙
画像が写真の場合は写真原稿ボックスをチェックしてください。

■ビデオキャプチャー
「ビデオキャプチャー」ボタンはビデオキャプチャーを表示します。

■カラータイプ
モノクロ：
テキストや線画にはカラータイプをモノクロに設定してください。

グレイスケール：
写真画像にはカラータイプをグレイ［誤差拡散方式］、または 256 階調グレイに設定してください。

カラー：
・256 色
・24 ビットカラー
（1,677 万色でスキャン）
のどれかを選択してください。

■調整
イメージをクリックしてください。画像の画面が表示されます。



必要に応じてカーソルを使ってインジケーターボタンを左右にドラッグして明るさやコントラストを調節してください。



● 24 ビットカラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256 カラーを使用した場合の 3 倍ほどになります。

●カスタムサイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグしてください。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。

●名刺をスキャンするには名刺（90 × 60mm）サイズの設定を選択しキャリアシートの上方の中央に名刺を置いてください。キャリアシートは市販の物をお使いください。

●ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合、濃度、モード、画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。

おぼえておきましょう
●必要以上に解像度を高く設定するとデータ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。

スキャナとして使う -5

イメージをプレスキャンする

●プレスキャンで画像を調整するには

1. ADF または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2. 「プレスキャン」ボタンを選択します。
全原稿がコンピュータにスキャンされると TWAIN のダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

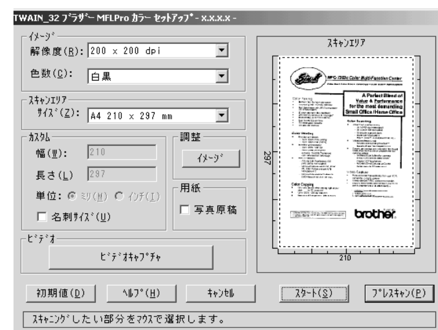
3. スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端を ドラッグします。点線を調整して スキャンしたい部分を囲んでください。

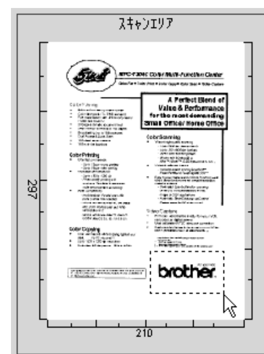
4. 必要に応じて TWAIN のダイアログボックスの画質、カラータイプ、サイズの設定を調整します。

5. 「スタート」ボタンを選択します。
原稿の選択された範囲だけが Presto!™PageManager 画面に表示されます。

6. Presto™ PageManager 画面上で画像を調整してください。
詳しくは、Presto!™ PageManager の取扱説明書をご覧ください。）

●プレスキャンは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、プレビューできる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。「プレスキャン」ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切りとってください。プレビューのとおりでよければ、スキャナ画面よりスタートを選択して画像をスキャンしてください。





メモ

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

おぼえておきましょう ●本機でプリントする場合、印字原寸で 200dpi 程度が適切です。

スキャナとして使う -6

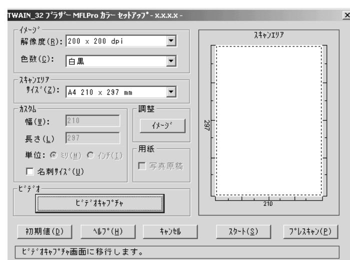
ビデオから画像を取り込む

ビデオ機器（ビデオカメラやビデオカセットレコーダーなど）で再生した映像を取りこみ、コンピュータ上の画像ファイルに変換することができます。いったん画像ファイルにすれば保存、印刷、他のファイルへの挿入が可能です。

●画像を取りこむ

TWAIN ダイアログボックスを開くには、Presto!™ PageManager または TWAIN に対応するアプリケーションからも可能です。

1. ビデオ機器を本機と接続します。
2. Presto!™ PageManager で「ﾌｧｲﾙ」メニューから「取り込む」を選択するか「取り込む」アイコンをダブルクリックします。
   TWAIN のダイアログボックスが表示されます。



3. TWAIN のダイアログボックスで「ﾋﾞﾃﾞｵｷｬﾌﾟﾁｬ」ボタンをクリックします。ビデオキャプチャーダイアログボックスが表示されます。



4. ビデオの入力ソースを選択します。
   - ビデオカメラ
   - ビデオテープ
   - レーザーディスク
   - デジタルカメラ
5. ビデオのタイプを選択します。
   - オート‥‥通常はこれを選択します。自動でどのタイプか選択されます。
   - 動画
   - 静止画
   - 画質レベル中
   - 画質レベル高
6. プレビューを選択します。
   - モノクロ‥‥モノクロ表示で 1 秒間に 4 フレームほど表示します。
   - カラー‥‥カラーで 2 秒ごとにほぼ 1 フレーム表示します。
7. 画像ファイルのサイズを選択します。
   - 1280 × 960（最高画質ですがコンピュータ上でのデータ容量も大きくなります。）
   - 750 × 562
   - 640 × 480
   - 320 × 240
8. ビデオ機器の電源を入れてビデオを再生させます。
9. キャプチャーしたい画面が出たら「一時停止」をクリックします。
   TWAIN のダイアログボックスのビューアに画像が表示されます。
10. 表示された画像をキャプチャーするときは、「OK」をクリックします。しないときは、「一時停止」をクリックしてビデオを再生します。
11. 「終了」をクリックするとビデオキャプチャーダイアログボックスは閉じます。
12. Presto!™ PageManager を起動させキャプチャーした画像のサムネイルを確認します。

●詳しくは Presto!™ PageManager の取扱説明書をご覧ください。



スキャナとして使う -7

Macintosh ® で TWAIN ドライバを使う

● Macintosh® でスキャニングするには

Macintosh® からスキャニングするには TWAIN ドライバを使用します。TWAIN 対応のアプリケーション（Adobe Photoshop® 等）からスキャニングを行います。ここでは Adobe Photoshop® を例にして説明します。

●本機と Macintosh® が USB ケーブルで確実に接続されていることを確認してください。

1.Macintosh® を起動してアプリケーションソフトを起動します。

2.ADF か原稿台ガラスに原稿をセットします。

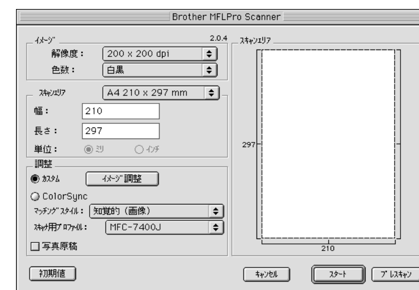
3.「ﾌｧｲﾙ」メニューから「読み込み」/「TWAIN 機器の選択」「Brother MFL Pro Scaner」を選択します。

4. 再度「ﾌｧｲﾙ」メニューから「読み込み」/「TWAIN 機器からの入力」を選択します。

5.Brother MFL Pro Scaner のスキャナウインドが表示されます。

6. 必要に応じてスキャナウインド内の項目をセットします。

7.「ｽﾀｰﾄ」をクリックします。スキャニングが終了するとアプリケーション上にイメージが現れます。



●スキャナウインドでは以下の項目が設定できます。

・解像度
・色数
・明るさ
・コントラスト
・スキャンエリア



ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

スキャナとして使う -8

スキャナウインドの設定

●イメージ

解像度　※ 1

スキャニング解像度は解像度ポップアップメニューから選択します。より高解像度を選択すると時間はかかりますが精密なイメージを取り込むことができます。
モデルによって解像度は異なります。

色数　※ 2

取り込む色数を設定します。
「白黒」………………………線画およびテキストのとき。
「ｸﾞﾚｲ（誤差拡散方式）」…写真を含む原稿で比較的階調がはっきりしている原稿のとき。
「256 階調ｸﾞﾚｲ」…………写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるとき。
「8 ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ」………256 色のｶﾗｰで取り込みます。ビジネス文書等に最適です。
「24 ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ」……1677 万色のｶﾗｰで取り込みます。「8 ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ」の約 3 倍の容量です。

●スキャンエリア

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。
また、任意の寸法を入力することも任意の範囲を指定することもできます。

●調整

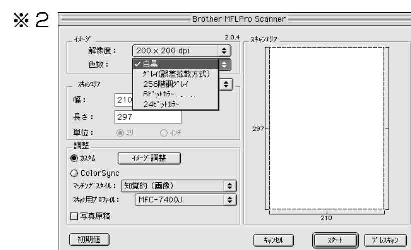
「ﾏｯﾁﾝｸﾞｽﾀｲﾙ」イメージの中で何を基準に取り込むのかを設定します。　※ 3
「知覚的（画像）」…………写真のようなイメージのとき。
「彩度ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ」……………はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき。
「相対的な色域を維持」……色と色の関係（対比）が重要なとき。
「絶対的な色域を維持」…ｼﾝﾎﾞﾙｶﾗｰのような色そのものが持つイメージが重要なとき。

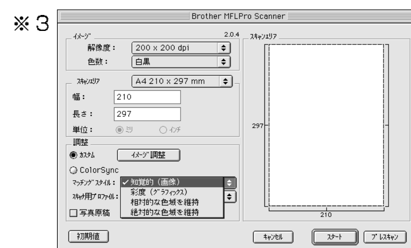
スキャナ用プロファイル　お使いの機種を選択してください。※ 4

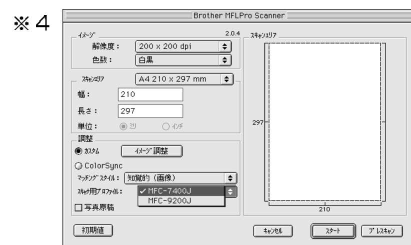
イメージ調整

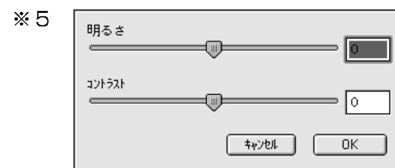
「明るさ」「ｺﾝﾄﾗｽﾄ」を調整します。※ 5
濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはｺﾝﾄﾗｽﾄを強くします。

※ 1


※ 2


※ 3


※ 4


※ 5




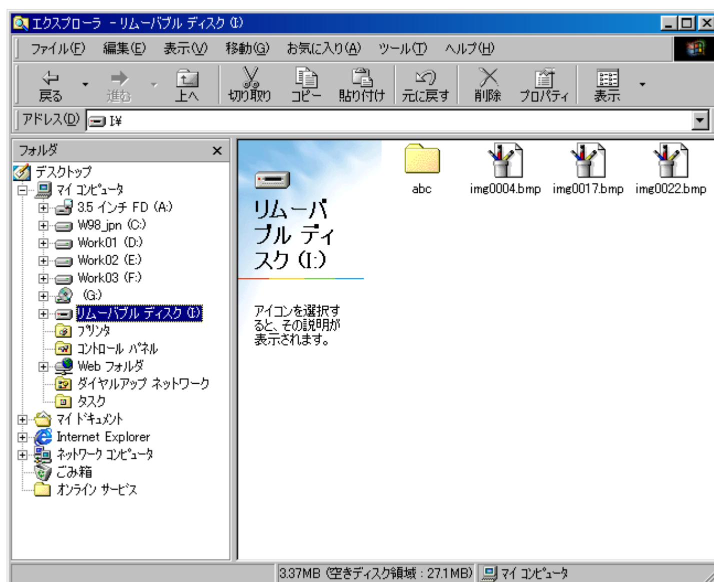
ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
レポート・リスト
コピーをする
ビデオプリントをする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こまったときには
用語集・索引

メディアカードを外付けメディアドライブとして使う

● Windows® 98/98SE/Me のみ

本機ではコンピュータと接続することによって、メディアカードスロットを外付けメディアドライブとして使用することができます。メディアカードスロットはコンピュータに「リムーバルディスク」として認識されメディアカードへのデータの読み込み、書き込みが可能です。

1. メディアカードを対応するスロットに挿入します。
2. お使いのコンピュータでタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」－「ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗ」を選択して開きます。
3. 「ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙﾃﾞｨｽｸ」アイコンをダブルクリックで開きます。



4. 上記のようにウインドウが開き、画面上にメディアカードのフォルダとファイルが表示され、メディアカードにアクセスできるようになります。

●本機をメディアドライブとしてご利用いただくには Windows® 環境で本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する必要があります。パラレル接続、Macintosh® には対応しておりません。

●一般のメディアカードリーダーと同様にご利用いただけます。デジタルカメラ等で撮影したイメージをお使いのコンピュータに取り込んで加工したり、保存することができます。

●本機のフォトメディアキャプチャー機能でお使いになれるメディアカードの詳細は P. 129 を参照してください。



● PC 上からデータを書き込んだ場合、本機側のフォトメディアキャプチャー機能では 4 階層までしか読み込むことができません。
本機の機能を利用してプリントするファイルを保存する場合は 5 階層以上のフォルダ に保存しないでください。

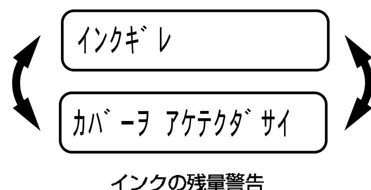
●カードからのデータ読み込み中は絶対にカードを抜いたり、ケーブルをはずしたりしないでください。
データが破損するおそれがあります。

●お使いになるアプリケーションソフトによってはカード上のファイルが読み込めない場合もあります。

インクカートリッジの交換 -1

インクカートリッジ交換の警告

本機はインクカートリッジのインク残量をインクドットカウンターにより自動的に検知し、残量が少なくなるとディスプレイに表示して、お知らせします。



インクの残量警告

メッセージが表示されたら

インクカートリッジを交換してください。



- インクが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。
  警告ランプが点滅を始めたらできるだけ早くカートリッジを交換してください。
- ディスプレイにはどの色がなくなったか表示されます。

おぼえておきましょう ●一般的なご使用の場合、黒かイエローが 1 番早くなくなります。ただし印字内容にもよります。



こんなときは……

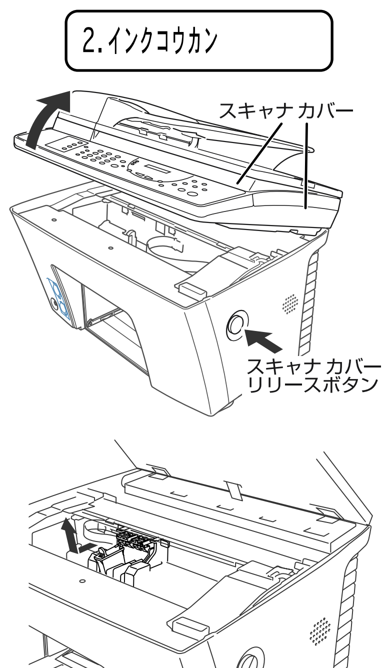
★お近くでインクカートリッジが手に入らないときは巻末のオーダーシートをご利用ください。

インクカートリッジの交換 -2

インクカートリッジ交換のしかた

インクが空になったときはディスプレイに
「ｲﾝｸｷﾞﾚ　ﾌﾞﾗｯｸ」「ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。
手順４からスタートしてください。
「ﾏﾓﾅｸｲﾝｸｷﾞﾚ」表示のときはインクカートリッジボタンを押します。

1. インクカートリッジ ◯ を押します。
2. ◀ ▶ で カABC ② を選択します。　2.ｲﾝｸｺｳｶﾝ
3. セット ● を押します。
4. スキャナカバーリリースボタンを押し、スキャナカバーをロックする位置まで持ち上げます。
5. 空になったインクカートリッジを手前に引き、上に持ち上げ取り出します。
6. 交換用のインクカートリッジを袋から取り出し、カートリッジの底からテープをはがします。
7. カートリッジを少し手前側に傾けて入れ、親指でロックする位置までしっかり押し込みます。 ※１
8. スキャナカバーを静かに閉じます。
9. ディスプレイに確認メッセージが表示されます。　ｲﾝｸ ｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ
10. 間違いなければ ア ① を押します。　ﾌﾞﾗｯｸ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ



11. クリーニングが始まります。1色について約２分間行います。クリーニングが終了すると使用できるようになります。

ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾌﾞﾗｯｸ

●インクカートリッジが残り少なくなると、ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸｲﾝｸｷﾞﾚ」と表示されます。さらに使い続けるとディスプレイに「ｲﾝｸｷﾞﾚ」と表示されます。一度この表示になるとインクカートリッジを交換しないとプリントやコピーができなくなります。ディスプレイの表示に従って正しい順序でインクを交換してください。

●手順４でプリンタヘッドがカートリッジ交換位置まで移動します。

※１ ●カートリッジホルダーの色に合わせてインクカートリッジを取り付けます。

●カートリッジの取り付けについての詳細は P. 13 を参照してください。



メモ

●必要なとき以外はインクカートリッジを交換しないでください。インク品質を損なうことがあります。さらに本機がカートリッジのインク残量を把握できなくなります。

●インクカートリッジは開封後、6ヶ月以内に使い切ってください。また、開封前の物は品質保証期限までにご使用ください。

●インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクヘッドに障害を与える可能性があります。また、保証の対象外となります。

●新品のカートリッジに交換した場合は手順 10 で交換した各色のインクドットカウンターをリセットします。ここで「1」を押さないとインクの残量を正しく表示できません。

●「ﾏﾓﾅｸｲﾝｸｷﾟﾚ」という表示が出たら巻末のオーダーシートで新しいインクカートリッジを注文します。

●ディスプレイにはどの色がなくなったか表示されます。

紙づまりについて

原稿がつまったときは

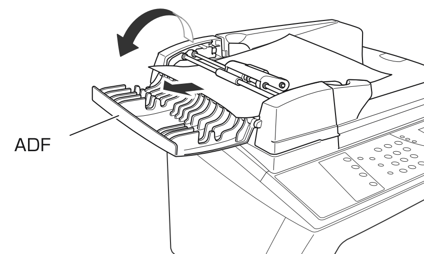
原稿がつまったときは、ブザーが鳴り、ディスプレイに下のようなエラーメッセージが表示されます。

● ADF の入り口で原稿がつまったときは

1. 繰り込まれていない原稿を取ります。
2. ADF カバーを開き、つまった原稿を左側に引き、取り除きます。
3. ADF カバーを閉じ、停止 を押します。

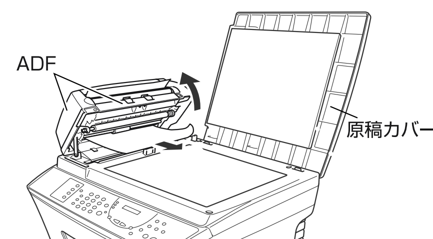
▼原稿がつまったとき

ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ



● ADF 内で原稿がつまったときは

1. ADF からつまっていない原稿を取り、原稿カバーを開きます。
2. ADF を開き、つまった原稿を右側に引き出します。
3. ADF を閉じ、停止 を押します。



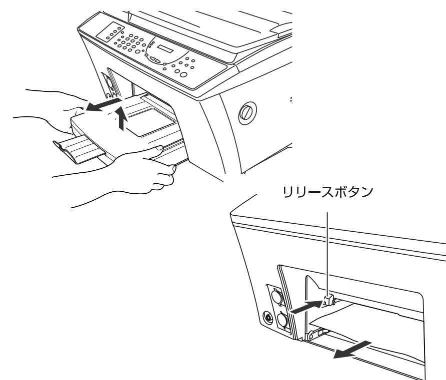


記録紙がつまったときは

1. 用紙カセットを引き抜き、つまった用紙を取り除きます。
2. 本体内部でつまったときは、左上にある青いリリースボタンを押し、用紙を手前に引き抜きます。
3. 用紙カセットを元の位置にはめ込みます。

▼記録紙がつまったとき

ｷﾛｸｼ ﾂﾏﾘ



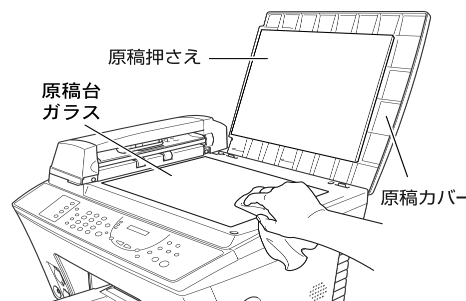


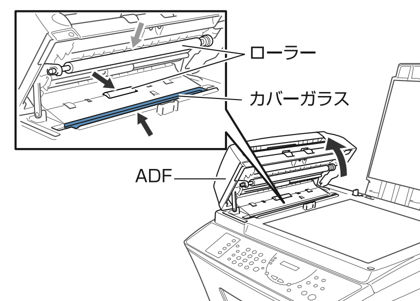
本体の掃除

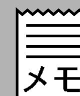
原稿台ガラスのお手入れ

●いつもきれいな画質を得るために読取部の清掃を行ってください。読取部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには読取部を清掃してください。

1. 本機の電源コードを抜いて、原稿カバーを上げます。
2. 柔らかい布に OA クリーナーを浸して、原稿台ガラスと原稿押さえ（白色のフィルム）をきれいに拭きます。
3. ADF を開きます。
4. OA クリーナーを浸した柔らかい布で白色のローラーとカバーガラスをきれいに拭きます。
5. ADF を閉じ、原稿カバーを閉じます。





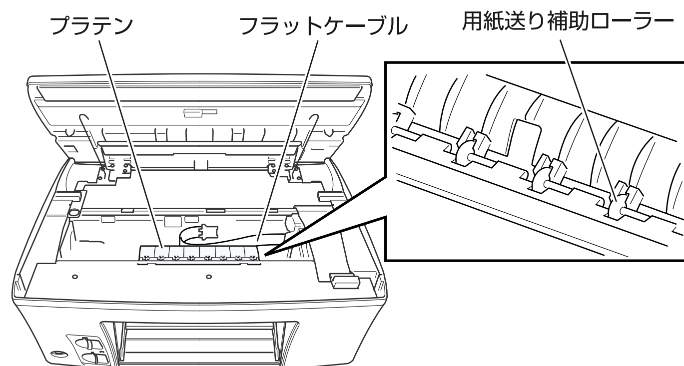


●無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなどをご使用ください。

アルコールはダメ

操作パネルはアルコールを浸した布で絶対に拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。

キャビネット内部のお手入れ



上部のプラテンと用紙送り補助ローラーを乾いた柔らかい布で軽く拭きます。
フラットケーブルには絶対さわらないでください。



用紙カセットを引き抜き、ピックアップローラーを乾いた柔らかい布で軽く拭きます。



警告



警 告

内部のお手入れをするときは、必ず電源コードをコンセントから抜き取ってから行ってください。

17 章　困ったときには

こんなときには……

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。それでも問題が解決しないときは

フリーダイヤル 0120-143410

へご連絡ください。

設定したいがどこを読んだらいいかわからない。…………… P. ⑪

ディスプレイにエラーが表示される。…………………………… P. 226

トラブルの原因がわからない。…………………………………… P. 228

本機の詳しい仕様が知りたい。…………………………………… P. 235

用語がわからない。……………………………………………………… P. 241

消耗品を注文したい。……巻末のオーダーシートをご利用ください。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常があるときにディスプレイに表示します。下記の処置を行ってもエラーが解決されないときは、フリーダイヤル 0120-143410 へ確認してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
アイテサキ　カクニン	相手のファクスから切断されました。	もう一度、送信または受信をします。
インクギレ	インクがありません。	インクカートリッジを交換します。P. 219
インク ヲ セットシテクダサイ	インクカートリッジが正しくセットされていません。	インクカートリッジを正しくセットしなおします。
ウォーミング　アップ	プリンタヘッドの温度が低い。	本機がウォームアップするまでお待ちください。
カバー　オープン	スキャナカバーが完全に閉じていません。	スキャナカバーを一度開け、閉め直します。
カバーヲ　アケテクダサイ	機械内部で用紙等が詰まりました。	スキャナカバーリリースボタンを押し、スキャナカバーを開けます。内部につまった用紙等を取り除き、スキャナカバーを閉じます。 もし、エラーメッセージが消えないときは、再度開閉します。正常な日付けの表示にならず、リセット不可能なときは「ソウチカクニン ××」が表示されます。そのときは、フリーダイヤル「0120-143410」へ連絡します。
キロクシ　カクニン	記録紙がなくなったか正しくセットされていません。	記録紙を補給してください。
キロクシ　ツマリ	本機内部で記録紙が詰まりました。	つまった記録紙を取り除き記録紙を正しくセットし直してください。
ゲンコウ　カクニン	原稿送りが適正に行われませんでした。 ADF にセットした原稿の長さが 90ｃｍ 以上ありました。	「紙詰まり」P. 221 を参照して原稿を取り除きます。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
スキャナー　ロック　カクニン	スキャナロックレバーがロックされています。	スキャナロックレバーを解除し「停止」ボタンを押します。
ツウシン　エラー	回線状態が悪い可能性があります。	少し時間がたってからもう一度かけ直します。
	相手先がポーリングモードを設定していなかった可能性があります。	相手先のポーリング設定を確認します。
トウロク　サレテ　イマセン	登録されていない、ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを選んだ可能性があります。	ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録します。 P. 51
ハナシチュウ/オウトウナシ	相手が話し中または、応答がありません。	かけた番号が正しいか調べたのち、かけ直します。
ファイルガ　アリマセン	カード上に認識できるファイルがありません。	ファイル形式を確認してください。 P. 143
マモナクインクギレ	インクが少なくなりました。	新しいインクカートリッジを注文します。 巻末のオーダーシートをご利用ください。
メディアエラー	カードが正しくフォーマットされていません。	カードを挿入し直してください。 P. 143
	カードが正しく挿入されていないかカード内にデータがありません。	カードを正しく挿入してください。 データの入ったカードをお使いください。 P. 143
メモリー　ゲンカイ	メモリーがいっぱいになりました。	プリントしてください。 P. 89
		ファクス送信の場合、原稿を分けて送信してください。
		コピーの場合、原稿を分けてコピーしてください。
ヨウシ　カセット　カクニン	カセットカバーが開いているか、またはカセットが正しく挿入されていません。	カセットカバーをしっかり閉めてください。または、用紙カセットをしっかり挿入します。
シツオンヲ　サゲテクダサイ	室温が高すぎます。	室温を下げてください。
シツオンヲ　アゲテクダサイ	室温が低すぎます。	室温を上げてください。

Q&A

本機をご使用中に起こる可能性のある問題の解決方法を説明しています。何か問題が起こったら、関連する項目を見つけて、適切な処理を行ってください。

項　目	問　題	処　　置
本機のセットアップ	本機がプリントをしない。	本機の電源が入っていますか。
		インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。
		プリンタケーブルがきちんと接続されていますか。
	電源を入れると、本機が起動しかけてノイズを出して、停止する。	スキャナロックを解除してください。
USB を標準搭載した PowerMacintosh® で MacOS8.5 以上（MacOS9 対応）に接続してご使用の方へ	MFL-ProColor がセレクタに現れない。	プリンタに電源が入っているか確認してください。
		USBインターフェースが正しく接続されているか確認してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されているマッキントッシュのプリンタドライバがｼｽﾃﾑﾌｫﾙﾀﾞ に正しくインストールされているか、セレクタで選択されているかを確認してください。
スキャン	スキャン中に TWAIN エラーが表示される。	Brother TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。 Presto!™PageManager で「ファイル / TWAIN 対応機器の選択」の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。
ビデオ	"ﾋﾞﾃﾞｵ：ｺﾋﾟｰｷｰ ｦ ｵｽ" とディスプレイに表示されない。	本機のRCAピンジャックにビデオケーブルが接続されていることを確認してください。
		ビデオ機器が信号を送信しているか確認してください。（電源が入っていて、正しい設定になっていますか。）

項　目	問　題	処　置
ｿﾌﾄｳｪｱ	「LPT1：への書き込みエラー」か「BRMFC：への書き込みエラー」というエラーメッセージが表示される。	本機の電源は入っていますか。プリンタケーブルをコンピュータに直接接続していますか？プリンタケーブルは他の周辺機器(Zip ドライブ、外付 CD-ROM、スイッチボックス等) を経由して接続しないでください。 本機がエラーメッセージを表示していませんか。 パラレルポートに接続して使用する他のデバイスドライバがコンピュータ起動時に自動で実行する状態になっていませんか。(Zip ドライブ、外付 CD-ROM のドライバ等) 原因となりそうな領域をチェックしてください。(win.ini ファイルの Load=、Run ＝コマンド行とスタートアップグループなど) コンピュータの製造元に、コンピュータの BIOS のパラレルポート設定が、双方向通信機器に対応しているか確認してください。 (パラレルポートモード—ECP)
	「MFC 接続エラー」か「MFC はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	
	「2ﾍﾟｰｼﾞ」プリントがうまくプリントできない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタドライバの設定を確認してください。
	アドビ・イラストレーターをご使用時にうまくプリントできないとき。	プリント解像度を低く設定してみてください。
	プリントされた画像に規則的に横縞（バンディング）が現れる。	プリンタドライバの「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブ内の設定で「双方向印刷」を解除してみてください。
	ATM フォント使用時に一部の文字が消えたり同じ場所に重なって印刷されるとき。	Windows95, または 98 をご使用の場合は、「ｽﾀｰﾄ」メニューからプリンタ /MFC9200 を選択し、プロパティを開きます。詳細タブの中よりスプール設定を開き、スプールデータ形式を「RAW」に設定してみてください。
	「ペイントブラシ」を使用してプリントできないとき。	ディスプレイを256色に設定してみてください。
	マイクロソフト「ｴｸｾﾙ」もしくは「ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできないとき。	プリンタドライバの設定で「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブより「印刷文書」の設定を「写真」にしてみてください。
	プリント速度が極端に遅いとき。	プリンタドライバの設定で「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブより「印刷文書」の設定を「自動切換」にしてみてください。

項　目	問　題	処　置
ソフトウェア	「画質強調」がうまく働かないとき。	プリントするデータがフルカラーでない可能性があります。フルカラー以外では「画質強調」は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも 24ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ以上をご使用ください。
プリントクォリティ	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けてプリントされてしまうとき。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブル、または電話線コードを確認してください。 それでも解決できないときは フリーダイヤル 0120-143410 にご連絡ください
	ページの中央上端にインクのシミが付着する。	用紙厚調整レバーを調節する。P. 183
	プリントした画像が明るすぎる、または暗すぎるとき。	インクカートリッジが新しいものかどうか確認してください。 カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 外装箱に有効期限が印字されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		普通紙をお使いの場合は、当社推奨紙をご利用いただくと解決する場合もあります。 P. 7
		本機の使用環境温度内でご利用ください。 P. 236
	インクがにじむとき。	普通紙をお使いの場合は、当社推奨紙をご利用いただくと解決する場合もあります。 P. 7
	印字面に白い筋がはいるとき。	ヘッドクリーニングを行ってください。 P. 183
	最終ページが汚れる。または用紙の裏側が汚れるとき。	プラテンローラー、給紙ローラーが汚れていないか確認してください。軽い汚れの場合は使用中にだんだんうすくなってきますが、堅く絞った布でローラーを 清掃します。P. 223
	垂直方向に黒い筋が入るとき。	送信相手先の読み取り装置に汚れがある場合に起こります。違う相手先に送信を依頼して全く同じ状態が起こらなければ（黒線の現れる場所の違いも確認します。）最初の送信先に依頼して問題を解決してもらってください。
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロでしかプリントされない。	カラー用のカートリッジを交換します。（カラーインクカートリッジが空かほとんど空である可能性があります。P. 219

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
原稿	原稿が繰り込まれていかない。（ADF使用時）	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度しっかり挿入します。
		ADFカバーは確実に閉まっていますか。	ADFカバーをもう一度閉じ直します。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの用紙を使用します。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスやコピーをします。
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、詰まっている原稿を取り除きます。
	原稿が斜めになってしまう。（ADF使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	しっかり用紙ガイドを原稿に合わせます。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、詰まっている原稿を取り除きます。
送信および受信	スタートボタンを押しても送信または受信しない。	原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
		外付の電話機が通話中ではありませんか。	外付電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。 P. 11
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認します。
	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。
		相手先に異常がありませんか。	別のファクスから相手先に送信してみます。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信します。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンを解除してもらいます。
		並列接続された別の電話機の受話器を上げていませんか。	極力並列接続はしないようにします。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本機の読み取り部分が汚れているか、もしくは受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。	読みとり部の清掃を行って送信します。それでも症状が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
受信	リモート起動できない。	リモート起動の設定は「ON」になっていますか。	リモート起動設定を「ON」にします。P. 77
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく設定します。P. 77
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内のジョブを確認し、プリントアウトします。P. 89
	受信しても、用紙が出てこない。	用紙は正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットします。P. 5
		用紙がつまっていませんか。	本機内部を確認します。
		用紙がなくなっていませんか。	カセットを確認します。
		スキャナカバーは確実に閉まっていますか。	スキャナカバーリリースボタンを押し、もう1度閉め直します。
		インクの残量は充分ですか。	ディスプレイを確認します。
プリント	プリントページの端や中央がかすむ。	本機が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。問題が改善されない場合は、操作パネル上のカートリッジキーを押してヘッドクリーニングを数回します。もう 1 度プリントし直しても、印刷の質がよくならない場合は、インクカートリッジを交換してください。	インクカートリッジを交換してもまだプリントの質に問題がある場合、フリーダイヤル 0120-143410 にご連絡ください。
	プリントの質が悪い。	操作パネル上の「ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ」ボタンを押してヘッドクリーニングを数回します。	それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。
*ISDN回線	電話を受けても FAX 本機のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、ずっと呼び出し続けている）	電話回線が接続されているか確認します。	しっかり本機に接続します。
		電源が入っているか確認します。	電源コードを接続します。
		TA の設定を確認してください。	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i-ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、最寄りの NTT におたずねください。
	1 ～ 2 回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除します。

*ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
*ISDN回線	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています･･･」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
			ダイヤルイン番号または i- ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合 ・ダイヤルイン番号または i- ナンバー情報を登録してください。 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
		ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認します。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号または i- ナンバー情報のアナログポートはグローバル着信を確認します。	ダイヤルイン番号または i- ナンバー情報のアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手と FAX 通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、フリーダイヤル 0120-143410 へご連絡ください。
	FAX 送受信ができない。（電話はかけることも、受けることもできる）	ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認します。異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。	回線に異常がなければ、フリーダイヤル 0120-143410 へご連絡ください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。

＊ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な仕様

●ファクシミリ

互換性	ITU-T グループ 3(G3)
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG/JPEG
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動フォールバッグ付き）
原稿サイズ幅	最大；216mm （ADF、原稿台ガラス） 最小；148mm （ADF）
原稿サイズ長さ	最大；356mm （ADF)、297mm（原稿台ガラス） 最小；127mm （ADF）
有効読取幅	208mm
用紙カセット	250 枚（64g/m^2）
用紙サイズ	A4（幅 210mmx 長さ 297mm）
電送時間	約 5 秒 *1
中間調伝送	256 階調
LCD 表示	16 桁
読取り方式	CCD による平面走査
走査線密度	主走査；8 ドット /mm 副走査；3.85 本（標準） 7.7 本（ファイン / 写真） 15.4 本（S. ファイン / 写真）
ポーリングタイプ	スタンダード / 機密
適用回線	一般電話回線

*1 A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本 /mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれてお りません。
なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況により異なります。

●プリンタ

対応コンピュータ	対応コンピュータ；PC/AT 互換機、Apple 社製 Macintosh の USB ポート搭載機
対応 OS	対応 OS；Windows®95/98/98SE/Me/ 2000Professional/NT®Workstation4.0 Mac OS 8.5, 8.5.1、8.6、9.0、9.0.4
インターフェース	IEEE1284 準拠パラレルインターフェース または USB
プリンタメモリー	8MB（最大 750 ページ）
プリント方式	インクジェット
プリント解像度	1200 × 1200dpi
プリント速度	カラー 12 枚 / 分　モノクロ 14 枚 / 分（A4）

●電源と使用環境

使用環境	温度；10～35℃、湿度；20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V ± 10V　50/60Hz
消費電力	待機時　約 15W 以下 ピーク時　約 50W 以下
稼働音	待機時；35dBA 以下 動作時；48dBA 以下
外形寸法	492（横幅）× 481（奥行き）× 372（高さ）mm （突起部を除く）
質量	約 17kg

索引

あ

アース線 9
RCA 120
ISDN 21
ECM 通信 46
インクカートリッジ
　交換 219
　取り付け 13
印刷の明るさ
　コピー 111
　ビデオプリント 125
　フォトメディアキャプチャー 141
印刷可能範囲 7
インストール 151
　スキャナドライバ 151
　プリンタドライバ 151
　Presto!™PageManager 172
インデックスプリント 133
ADF 27
NTSC 方式 119
MFL-ProJ 170
エネルギースタープログラム 235
エラー解除 226
エラーメッセージ 226
オプションボタン
　コピー 109
　ビデオプリント 121
　フォトメディアキャプチャー 135

か

海外送信 67
解除
　タイマー送信 69
　ポーリング通信 69
回線種別設定 11
拡大 / 縮小ボタン 2
画質
　画質を選択する 57
　コピー 111
　ビデオプリント 125
　フォトメディアキャプチャー 137
　ページごと 59
画質モード 57
紙づまり
　記録紙つまり 221
　原稿つまり 221
キータッチ音量の調整 37
規格 235
起動番号 77
機能案内リスト 101
機能ボタン 2
機密ポーリング受信 83
機密ポーリング送信 81
キャリアシート 42
記録紙
　規格 7
　セット 5
　つまり 221
グループダイヤル
　登録 55
　変更 55
原稿
　サイズ 41
　セット 43
　注意 42
　つまり 221
　濃度 61
　読み取り範囲 42
原稿ガイド 25
原稿台ガラス 43
コピー
　明るさ 111
　ADF 105
　拡大 / 縮小コピーする 107
　画質 111
　原稿台ガラス 107
　原稿タイプ 111
　写真をコピーする 112
　スタック 114
　ソート 114
　はがきコピーする 115
　ポスター 114
　2in1 113
　4in1 113
コピーボタン 2
コントラスト
　コピー 118
　ビデオプリント 128
　フォトメディアキャプチャー 142
コンパクトフラッシュカード 129
コンピュータ 145
　環境 147
　接続 149
　Mac 175

さ

再ダイヤル
　自動……48
　手動……47
再ダイヤル / ポーズボタン……1
時刻
　登録……17
　変更……18
自動再ダイヤル……48
シフトボタン……1
写真プリント……133
縮小受信……79
縮小率の設定……107
受信
　縮小受信……79
　外出先で……93
　転送……85
　ポーリング……83
　メモリー……89
受信のしかた……25
受信モード
　FAX 専用モード……71
　外付留守電モード……71
　電話モード……72
手動送信……45
順次同報送信……65
仕様
　電源と使用環境……236
　ファクシミリ……235
　プリンタ……235
親切受信……75
推奨紙……7
スキャナ
　画質……207
　カスタム……205
　カラータイプ……206
　サイズ……207
　調整……206
　ビデオキャプチャー……205
　用紙……205
スキャナロック……5
スタートボタン……1
スタックコピー……114
スピーカー音量の設定……37
スマートメディア……129
清掃
　キャビネット……223
　原稿台ガラス……223
　読取部……223
接続
　アース線……9
　3 極 -2 極アダプタ……9
　外付電話機……19
　電源コード……9
　電話機コード……9
設定
　海外送信モード……67
　起動番号……77
　原稿濃度……61
　時刻指定ポーリング……83
　送付書……63
　送付書のコメント……63
　タイマーポーリング受信……83
　通信管理レポートのプリント間隔……99
　ファクス転送……87
　ページごとの画質……59
　ポーリング受信……83
　ポーリング送信……81
　リモート起動……77
　リモコンアクセス……91
設定内容リスト……102
セットできる記録紙枚数……6
セットボタン……2
操作パネル……1
送信
　ADF……25
　海外送信……67
　画質……57
　原稿台ガラス……25
　自動再送信……48
　自動送信……45
　手動送信……45
　順次同報送信……65
　タイマー送信……69
　取りまとめ送信……69
　濃度……61
　ポーリング送信……81
　リアルタイム送信……67
送信可能な原稿サイズ……41
送信中断……45
送付書
　コメントの登録……63
　送信設定……63
　プリントサンプル……64
双方向印字……185
ソートコピー……105
外付電話機
　接続……19
　ファクス受信……77

索引

ソフトウェア
- インストール..151
- MFL-ProJ..170
- Presto!™PageManager.................172

た

タイマー送信
- 解除..69
- 予約..69

ダイヤル
- グループ..55
- 再ダイヤル..47
- ダイヤルボタンでダイヤルする............47
- 短縮ダイヤルでダイヤルする................48
- 電話帳でダイヤルする..........................48
- ワンタッチダイヤルでダイヤルする.....47

ダイヤル回線..11
ダイヤルリスト..101
縦罫線調整..185
短縮ダイヤル
- 送信..48
- 登録..53
- 変更..53

単色コピー..118
着信ベル回数の設定..................................73
中断
- コピー..106
- 送信..45

通信管理レポート......................................99
通信待ち確認..69
DPOF..131
停止ボタン..1
ディスプレイ..31
手差しスロット..181
テストプリント..185
デュアルアクセス......................................45
電源コード..9
転送番号の登録..87
電話回線の調べかた..................................12
電話機コード..9
電話機コンセントのタイプについて............10
電話帳 / 短縮ボタン..................................1
電話帳の使いかた......................................49
電話帳リスト..101
電話呼び出し機能......................................87
時計セット..17

ドライバ
- TWAIN ドライバ....................................205
- プリンタドライバ..................................187

な

濃度
- コピー..111
- 送信..61

は

はがきコピー..115
発信元データ
- 消去..18
- 登録..17
- 変更..18

パラレルケーブル......................................149
左矢印ボタン..2
日付
- 登録..17
- 変更..18

ビデオプリント
- 画像の取り込み......................................119
- 接続..120
- 画質..125
- 画像タイプ..123
- 設定 / 変更..119
- プリントサイズ......................................125

ファクス受信モード..................................71
ファクス出力..89
ファクス転送機能......................................87
ファクス転送番号の登録..........................87
ファクスを受信する..................................25
ファクスを送信する..................................25
フォトメディアキャプチャー..................129
プッシュ（PB）回線..................................11
プリンタケーブル......................................149
プリンタドライバのインストール
- Mac OS..175
- Windows® 2000 Professional.....156
- Windows® 95..153
- Windows® 98/98SE..............................153
- Windows NT® 4.0..................................159
- Windows® Me..153

プリント
画質 193
記録紙の種類 193
送付書 64
ドライバ 187
ビデオプリント 119
レポート／リスト 97
Presto!™PageManager
インストール 172
OCR 機能 201
コンピュータ環境 200
設定 199
TWAIN ドライバ 203
ビデオキャプチャ 205
プレスキャン 207
ページごとの画質モードの設定 59
ヘッドクリーニング 183
ベル音量の設定 39
ポーリング通信
解除 69
ポーリング受信 83
ポーリング送信 81
ホワイトバランス 197

ま

マッキントッシュ
インストール 175
MFL-ProJ 175
プリンタドライバのインストール 175
マルチファンクションセンター 145
右矢印ボタン 2
メディアカード 129
メディアドライブ 215
メモリゲンカイ 227
メモリー受信
削除 90
設定 89
プリント 89
メモリ使用状況リスト 102
メモリ代行受信 74
メモリーに入ったファクス出力 89
文字入力 15
モノクロコピーボタン 2

や

USB ケーブル 149
用紙カセット 5
読取部の清掃 223

ら

リアルタイム送信 67
リモート起動設定のしかた 77
リモコンアクセス
機能 91
コードの設定 95
コマンド 95
操作例 93
留守番電話機の設定 72
レポート／リストの種類 97

わ

ワンタッチダイヤル
ダイヤルのしかた 47
登録 51
変更 51
リスト 101
ワンタッチボタン 1

AtoZ

・ADF 25
・DPI 205
・DPOF 131
・ECM 通信 46
・FAX 受信モード 73
・ISDN 21
・Mac 145
・Mac OS 145
・MFL-ProJ 151
・NTSC 方式 119
・OCR 機能 201
・PB 11
・Presto!™PageManager 151
・RAM 147
・RCA 120
・TWAIN 205
・USB ケーブル 149
・VCCI 10
・Windows® 2000 Professional 156
・Windows® 95 153
・Windows® 98/98SE 153
・Windows® Me 153
・Windows NT®4.0 159

用語集

あ

● RCA
端子ケーブル。一般オーディオで使用されている映像と音声の接続用端子です。本機では、映像入力端子（ビデオキャプチャー）として使用しています。

● ISDN
NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの回線で 1 回線でコンピュータと電話など 1 度に 2 回線分使うことができます。

●アイコン
画面上で、ファイルやフォルダプログラムなどを示す絵文字です。

●アプリケーションソフトウェア
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● ECM 通信
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

●インクジェット
専用のインクを印刷ヘッドのノズルから用紙に吹き付けて印字する方式です。

●インターフェース
PC と周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

●ウィザード
Windows95/98/Me などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● Windows®NT
Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

● Windows®95/98/Me
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年（= Millennium edition）に発売されました。

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● NTSC 方式
日本やアメリカの TV やビデオに使われているカラー方式。ヨーロッパでは PAL 方式を使っています。

● MFL-ProJ
本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバやスキャナ機能などをもっています。

● LCD
液晶表示管です。本機ではディスプレイとして使用します。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、コンピュータの基本ソフトウェア群です。

● OCR 機能
画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● Automatic E-mail Printing
E メールを自動的にプリントしたり、定期的に新着メールを確認するソフトウェアです。

●オプション機能
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

●回線種別
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するパルス式と、周波数を検出して判別するトーン式があります。

●画質強調
解像度や明るさを自動的に調整してより鮮やかにプリントする機能です。

●機密ポーリング
受信側のファクス操作で暗証番号を入れ送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

●キャリアシート
記録紙を本機にセットする際、サイズ別に正しい向きにセットするためのシートです。

●原稿台ガラス
コピーやファクスのとき原稿を置くところで原稿を読み取ります。

●公衆回線
一般の電話回線です。

●コンパクトフラッシュ ™
Scan Disk 社が開発した Flash ATA Card 互換のコンパクトな記憶メモリーカード。
多くのデジタルカメラで使用されます。

さ

●サムネイル
ファイルの内容を表示したラベルのことです。

● 3 極ー 2 極変換アダプタ
電源コードでアース線つき（3 極コード）のものを 2 極のコンセントに差し込むときに使うアダプタです。

●順次同報送信
同じ原稿を複数の送信先を設定して 1 度に送信させる機能です。

●親切受信
ファクスを着信したときに間違えて外付電話を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。

●スキャン E メール
専用キーを押すだけで読みとって原稿を自動的に E メールに添付する機能です。

●スタックコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

●スマートメディア ™
切手大の小型メモリーカード。多くのデジタルカメラで使用されます。

●ソートコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿 1 部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

●タスクバー
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● TWAIN
Technology Without Any Interested Name の略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● DPOF
Digital Print Order Format の略でデジタルカメラの写真印刷を自動化するための統一規格です。

● 2 in1
2枚の原稿を縮小し、1枚の用紙にコピーする機能です。

●デバイス
ハードディスクやプリンタのような、コンピュータで使用されるハードウェアのことです。

●デュアルアクセス
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

●電話呼び出し機能
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

●取りまとめ送信
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

は

●ハーフトーンパターン
色を表現するインクの様相で、本機ではよりなめらかに見せるフォトとよりシャープに見せるクラスタから選択できます。

●パラレルプリンタケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。コンピュータと本機を接続します。

● PC
Personal Computer（パーソナルコンピュータ）の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

用語集

●PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ(IBM.PC/AT)の互換パソコンに付いた名称です。日本ではDOS/Vパソコンとも言われます。

●ビデオキャプチャー
ビデオ機器で再生した映像を本機に撮り込み、コンピュータ上の画像ファイルに変換したり、そのままプリントしたりできる機能です。

●ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

●４in1
４枚の原稿を縮小し、1枚の用紙にコピーする機能です。

●フォトメディアキャプチャー
メディアカードなどに保存されている画像をデータとして取り込み、本機から直接プリントできる機能です。

●プリンタケーブル
本機とコンピュータを接続するケーブルです。

●プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

●Presto!™ PageManager
書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

●ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

●ポスター
１枚の原稿を９分割して拡大し、それぞれを９枚の用紙にコピーします。

ま

●メディアカード
小型の記憶媒体。デジタルカメラなどで使用されています。

●メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取りそれをメモリーに貯えてから送信する機能です。

●メモリー代行受信
用紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

●メディアドライブ
MFC本体付属のデジタルメディアスロットが外付けリムーバブルディスクドライブとして機能し、データの読み書きが可能です。

や

●USB ケーブル
Universal Serial Bus
「ユニバーサル　シリアル　バス」の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、コンピュータの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

ら

●リアルタイム送信
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

●リモート起動
本機に接続された外付け電話機から本機を操作する機能です。

●リモコンアクセス
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

●ログオン(ログイン)
コンピュータやシステムでアクセスするときに行なう操作です。

AtoZ

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● Automatic E-mail Printing
E メールを自動的にプリントしたり、定期的に新着メールを確認するソフトウェアです。

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● DPOF
Digital Print Order Format の略でデジタルカメラの写真印刷を自動化するための統一規格です。

● ECM 通信
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● ISDN
NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの回線で 1 回線でコンピュータと電話など 1 度に 2 回線分使うことができます。

● LCD
液晶表示管です。本機ではディスプレイとして使用します。

● MFL-ProJ
本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバやスキャナ機能などをもっています。

● NTSC 方式
日本やアメリカの TV やビデオに使われているカラー方式。ヨーロッパでは PAL 方式を使っています。

● OCR 機能
画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、コンピュータの基本ソフトウェア群です。

● PC
Personal Computer（パーソナルコンピュータ）の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

● PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ (IBM.PC/AT) の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/α パソコンとも言われます。

● Presto!™ PageManager
書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

● RCA
端子ケーブル。一般オーディオで使用されている映像と音声の接続用端子です。本機では、映像入力端子（ビデオキャプチャー）として使用しています。

● TWAIN
Technology Without Any Interested Name の略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● USB ケーブル
Universal Serial Bus
「ユニバーサル　シリアル　バス」の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、コンピュータの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Windows® NT
Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

● Windows® 95/98/Me
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年（= Millennium edition）に発売されました。

〈キリトリ線〉

リモコン　アクセス

リモコンアクセスコード



あなたのリモコンアクセスコードを記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1.プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2.ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

①

3.「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4.次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5.90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意 ：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
電話呼び出し、ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952（※1）
	電話呼び出し	953（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954
メモリー受信の設定	ON	956
	OFF	957
ファクスの取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	ファクス	982
終了		90

※1：呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。

※2：「ピーピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

ご注文シート

・消耗品のご注文は、インターネット、フリーダイヤル、FAXにてご注文を承っております。
・FAXにてご注文される場合は下記オーダーシートにご記入の上、お申し込み下さい。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上（消費税加算前）の場合は全国無料です。
・5,000円未満の場合は1,000円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

〈代引き〉・・・・・・・・・・・ご注文後2～3営業日後の商品発送
〈お振込（銀行・郵便）〉・・・・ご入金確認後2～3営業日後の商品発送
　※代金は先払いとなります。
　※振込手数料はお客様負担となります。
〈クレジットカード〉・・・・・カード番号確認後2～3営業日後の商品発送
　※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。
　　又、弊社からの領収書の発行は致しかねますのでご了承願います。

【ご注文先】

ブラザー販売(株)情報機器事業部ダイレクトclub
インターネット　：　http://www.brother.co.jp/direct/
FAX　：　052-825-0311
フリーダイヤル　：　0120-118-825（土･日･祝日、長期休暇を除く9時～17時）
振込先　：　口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：さくら銀行　上前津支店　普通　6428357
郵便：振り込み番号　00860 - 1 - 27600

〈キリトリ線〉

お客様ご住所〒

お名前　　TEL　　FAX

お支払い方法　銀行振込・郵便振込・代引き・カード
カード種類　①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNo.

カード名義人名　　有効期限　年　月

品　名	部品コード	単価（税別）	ご注文数	金　額
インクカートリッジ　黒　（LC50BK）	8XC301 - 00104	￥2,200		
インクカートリッジ　シアン　（LC50C）	8XC302 - 00104	￥1,300		
インクカートリッジ　マゼンタ　（LC50M）	8XC302 - 00204	￥1,300		
インクカートリッジ　イエロー　（LC50Y）	8XC302 - 00304	￥1,300		
ハイクオリティーコート紙　200枚（BP-72CA）	58XW02 - 00204	￥2,000		
専用光沢紙　20枚　（BP-GLA）	58XW04 - 00104	￥2,000		
		送　料		
		消費税		
		合　計		

（コピーしてお使いください。）

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様MFC-9200J専用お問い合わせ窓口】

フリーダイヤル　TEL:0120ー143410

受付時間　午前10:00～11:45
　　　　　午後1:00～5:00
営業日　　月曜日～金曜日
（土日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

【添付ソフトウェア Presto!™ PageManager & MaxReader テクニカルサポート窓口】

ニューソフトジャパン株式会社
ニューソフトカスタマーサポートセンター
TEL:03ー5472ー7008
FAX:03ー5472ー7009
受付時間　午前10:00～12:00
　　　　　午後1:00～5:00
（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート　電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売 (株) 情報機器事業部　ダイレクトClub
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15ー1
TEL：(052) 824ー3410
FAX：(052) 825ー0311
インターネット：http://www.brother.co.jp/direct/

・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトClubにて対応させていただきます。
・なお、ご注文の際は、取扱説明書の「FAX消耗品等のご注文について」の注文書にてFAXなどの方法でご注文願います。
（本機のリストプリント機能の消耗品シートをご利用いただき、FAXなどの方法でご注文いただくこともできます。）



本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。

LE3618047④
Printed in Malaysia